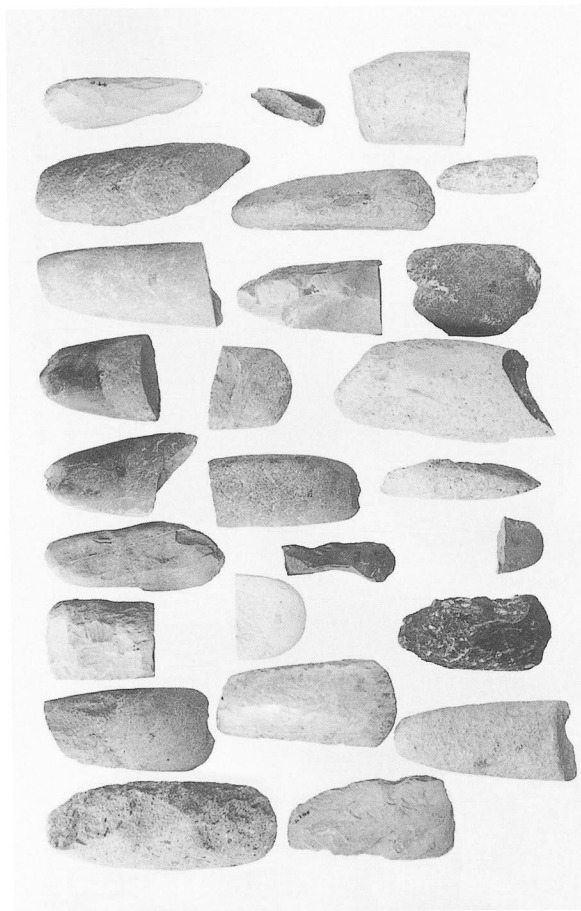
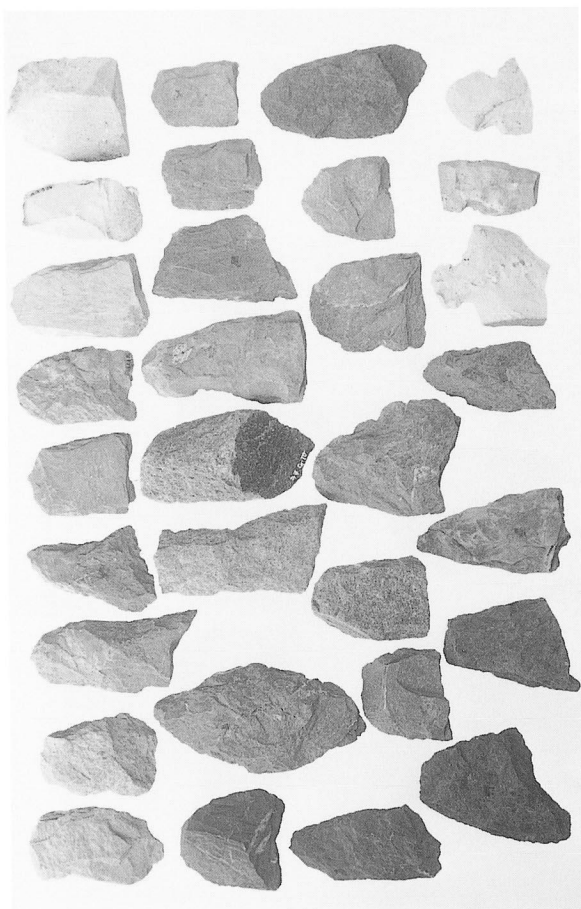


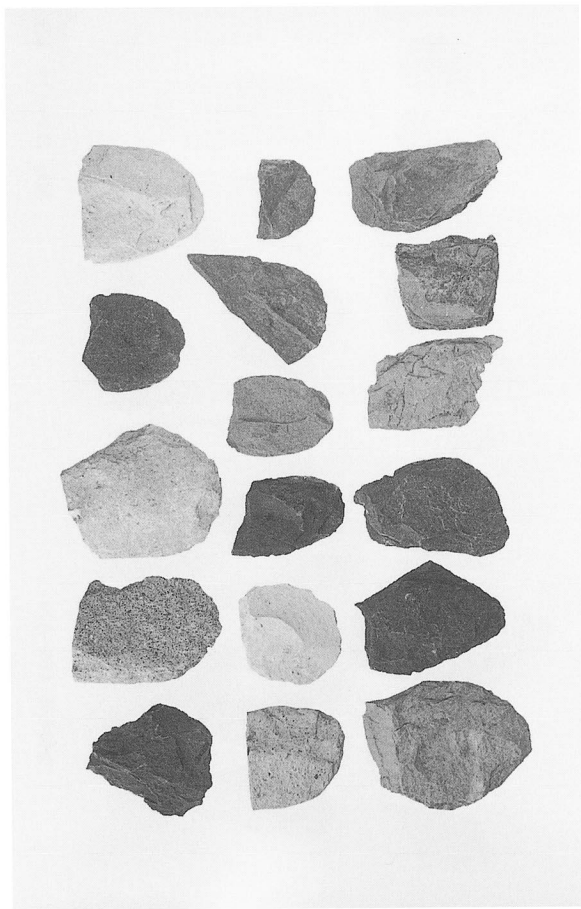
打製石斧刃部 520~536



磨製石斧 97~110、554~565



打製石斧基部 489~519

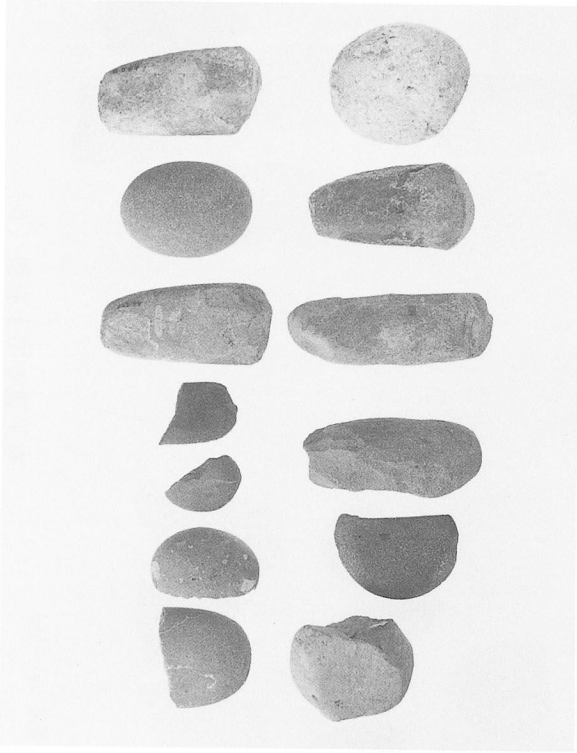


打製石斧刃部 537~550、同基部 551~553

布平遺跡出土石器 (6)



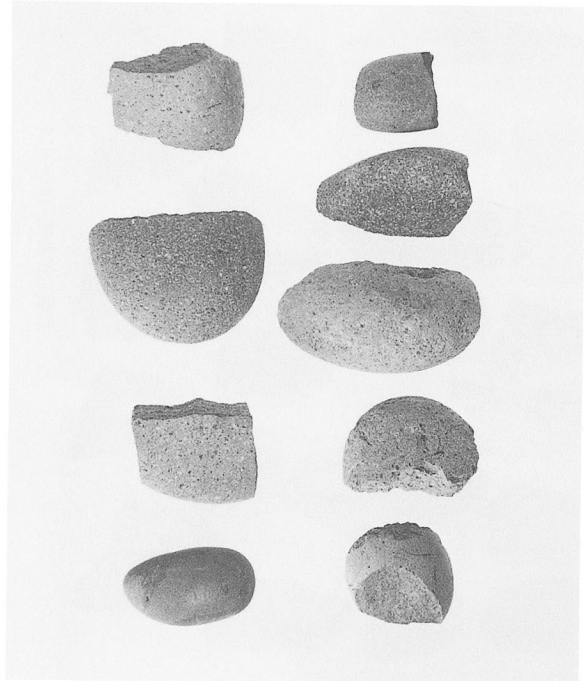
磨製石斧 566~574



敲石 111~115、575~580、582~583



敲石 581、磨・敲石 116~117、584



磨石 118、585~592



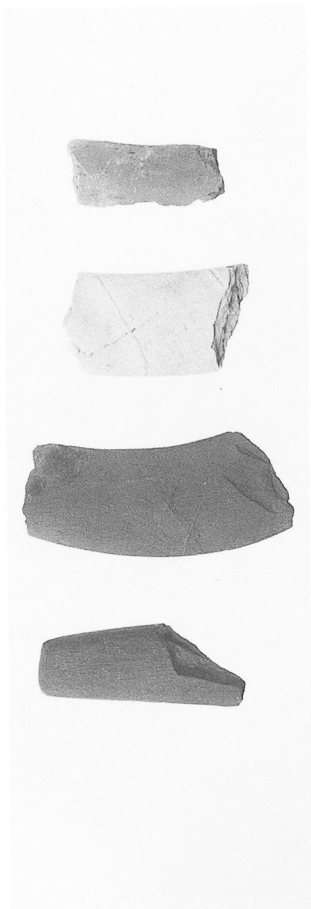
台石 593
布平遺跡出土石器(7)



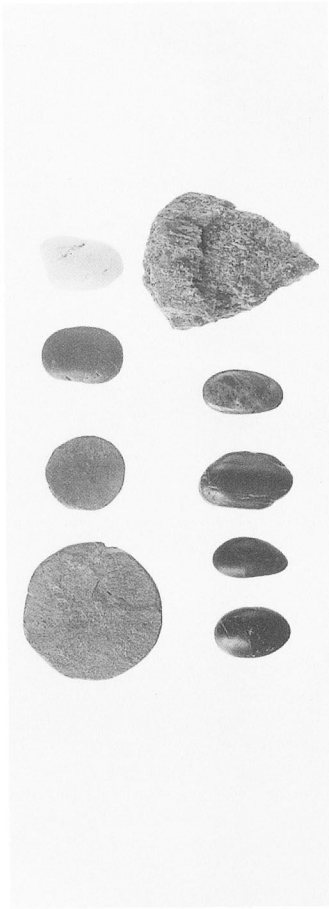
石錘 119~120、594



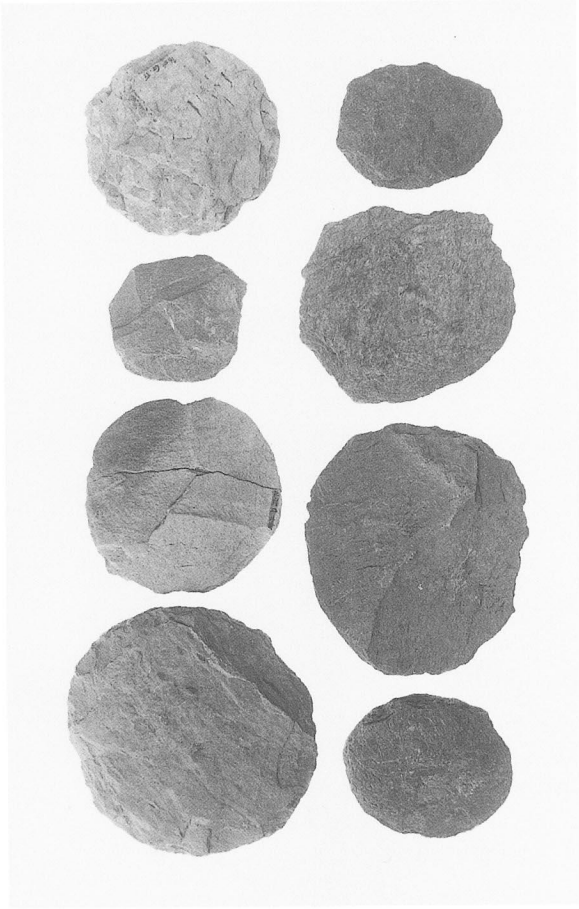
砥石 121、595~599



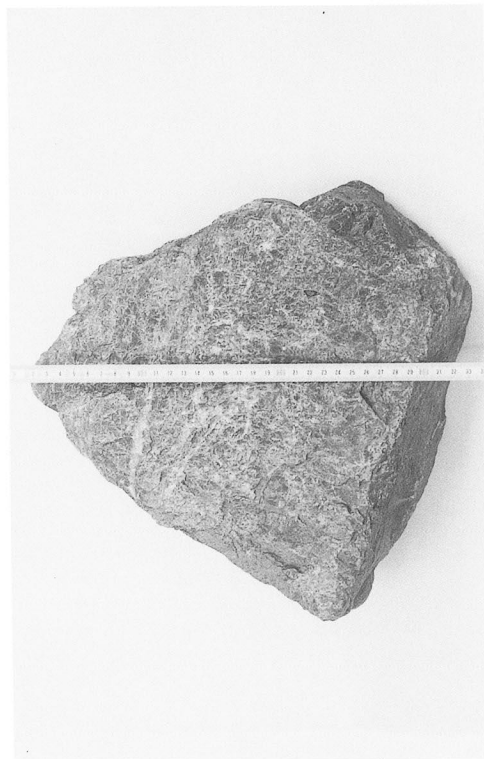
石刀 122~124、石棒片 125



円盤状石器 (磨製) 607~608、丸石 609~614、剥片 615



石製円盤 (打製) 126、600~606



SC6出土チャート原石 616

布平遺跡出土石器 (8)

第Ⅲ章 古城遺跡の調査

第1節 調査の経過

本遺跡は五ヶ瀬川の支流である岩戸川の左岸、標高約300mの東側に向かい緩やかに傾斜する河岸段丘の斜面上に展開していた。調査に着手した当時、現地は斜面を掘削し棚田状に造成されており、農業道及び生活道路などが調査対象範囲を4つに分断していた。そこで調査は、分断された調査区にあわせて1区から4区を設定し最も南に位置する1区から順に作業を進めた。

平成10年4月20日調査開始。8日間で1区から3区までの表土剥ぎを完了し、1区から精査作業に移行した。1区では第Ⅲ層の黒褐色土上面で1号溝状遺構（SE1）を検出した地点より南側では遺構をほとんど検出せず、ピット群や弥生時代の竪穴住居跡はその北側の範囲に集中していた。特に住居跡は調査区の北西隅で3軒が切り合う状況で検出され、弥生時代の集落跡が存在する可能性が指摘された。1区ではこのほかにも第Ⅲ層から二次堆積の鬼界アカホヤ火山灰がわずかに混入するⅣ層の黒褐色土にかけて縄文時代晩期の遺物も出土した。1区では第Ⅳ層下層に基本層序の第Ⅴ層に相当する鬼界アカホヤ火山灰の良好な堆積層が存在せず、その後の作業でも第Ⅵ層以下で縄文時代早期の遺構・遺物の存在を示唆する遺構・遺物の検出には至らず同区の調査を終了した。

2区の調査は1区と並行して進めたが、調査事務所を設置した一角については3区の調査をある程度消化した時点で事務所を移設した後で調査を行うことにした。2区では、1区と同じように第Ⅲ層から第Ⅳ層にかけて遺物の出土が見られ、精査を進めるにつれ弥生時代の竪穴住居跡の検出数が増えていった。また、第Ⅳ層の上面では円形の竪穴住居跡が1軒検出され、遺物等から縄文時代晩期の住居跡と認定した。8月中旬からは第Ⅳ層の精査中から大小の焼礫が確認されていた範囲を中心に縄文時代早期の調査へと移行したが、予想していたとおり当該期の土器や石器が多量に出土した。また、焼礫の本体となる集石遺構も調査区中央からやや南よりの範囲で多数検出できた。早期の包含層は良好であり、出土した遺物も比較的大きめの破片が多かった。最終的に同調査区内で確認されたおもな遺構としては、弥生時代の竪穴住居跡15軒と土坑1基、縄文時代晩期の竪穴住居跡1軒、埋土に多量の土器が混入した土坑2基があげられる。また、縄文時代早期の遺構として集石遺構を35基確認した。

3区の調査は表土剥ぎが終わった時点から少しずつ進めてはいたが、2区の縄文時代早期の調査と並行して本格化した。同区では基本層序の第Ⅴ層の鬼界アカホヤ火山灰の良好な状態での堆積しており、その上層に当たる第Ⅳ層の黒褐色土が第1遺物包含層となった。遺構・遺物は表土を剥いだ時点で一定量確認されていたが、精査を行ったところ竪穴住居跡の存在を示す方形のにじみが検出され始めた。弥生時代の住居跡は合計で7軒検出したが、ほとんどは調査区の南側半分の範囲において検出された。また、2区で一定量出土した縄文時代の後期・晩期の土器群は3区では調査面積に比してさほど多くは出土しなかった。調査はその後第Ⅵ層以下の縄文時代早期の遺構・遺物の確認へと移行した。集石遺構などの早期の遺構はそれほど多くは確認できなかったが、比較的大きな礫が調査区の南に偏位して多く分布する傾向を見出すことができ、14基の集石遺構もその近辺で大半が確認された。

平成10年12月7日、最終区となる最北端に位置する4区の調査に着手。既存道である県道7号の擁壁下まで表土を剥ぐ。調査区は他の3つの調査区と比べ比較的傾斜が急であったせいか、表土剥ぎの時点ではあまり遺物を確認することができず、その後の精査作業で遺構の検出に努めた。その結果、弥生時

代の隅丸長方形の土坑2基と複数のピットを検出するに至った。このうち4号土坑（SC4）からは、工字突帯の甕が焼土・炭化物を伴う層中から出土し、祭祀が行われた可能性が指摘できる。しかし、その他には目立った遺構の検出はなく、遺物も縄文時代晩期の土器と弥生土器がわずかに出土したのみであった。その後、縄文時代早期の遺構・遺物の存在を確認するために複数のトレンチを設定したが、流れ込みと思われる遺物が数点出土したのみで文化層は確認できなかった。

平成10年4月20日からおよそ9か月間続いた古城遺跡の調査は、この確認作業を最後にすべてを完了し平成12年1月22日をもって終了した。

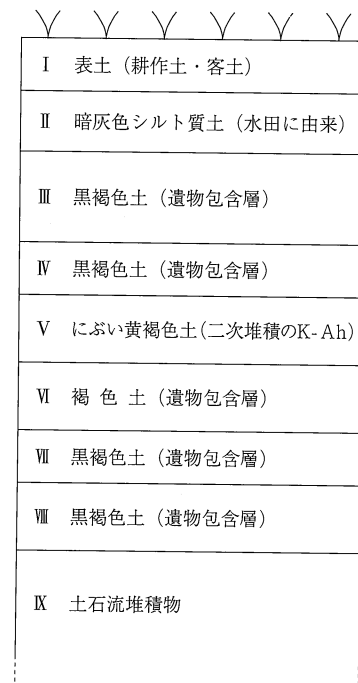
第2節 基本層序

第27図に古城遺跡の基本層序模式図を示した。

本遺跡は岩戸川の浸食により形成された河岸段丘上に位置するため、調査区は各区とも急崖のある東側に向かって傾斜している。また、調査区間の標高を比較すると、最も北に位置する4区が一番高く、1区に近づくにつれて標高が低くなる。

第I層は表土であり、平均堆積厚は約15cmである。水田もしくは畑地の耕作土である。近現代の陶磁器類が混入する。第II層は暗灰色シルト質土であり、平均堆積厚は約25cmである。層中に認められるマンガン成分により赤褐色に変色した床土と思われる層や混入した遺物から考えると調査区付近では少なくとも近世末には水田が営まれていたものと思われる。

第III層（平均堆積厚約25～30cm）と第IV層（平均堆積厚約15cm）はともに黒褐色土であり、縄文時代の後晩期、弥生時代、古墳時代にまたがる遺物の包含層である。第IV層は第V層に位置する鬼界アカホヤ火山灰（K-Ah）堆積層の漸移層であり、K-Ahに由来する黄褐色ブロックの混在率が高くなることから第III層と区別される。第V層は二次堆積の鬼界アカホヤ火山灰堆積層であり、この上面で縄文時代後・晩期以降の遺構検出を行った。鬼界アカホヤ火山灰は3区では良好な堆積を見せ、厚い所では35cm弱の堆積を見たが、その他の区では残存度はそれほど高くなかった。第VI層は褐色土であり、それに続く第VII層の暗褐色土、第VIII層の黒褐色土上面の3つの層が縄文時代早期の遺物・遺構の包含層であった。第IX層は小礫と粘質土が混ざり合う状況が確認され、土石流に由来する堆積物と考えられる。



第27図 古城遺跡基本層序模式図

第3節 遺跡の概要

縄文時代早期

49基の集石遺構を2区と3区で確認したが、1区と4区では礫の分布は散漫であった。集石遺構の礫石材は花崗斑岩と阿蘇溶結凝灰岩が多く、遺跡周辺にみられる土石流中にこの礫石材が多く含まれることから、それらが礫の供給源となっていた可能性が高い。土器は押型文土器中心で、口縁内面に原体条痕が縦走する薄手のものが少量と、大形の楕円文・山形文をもつ比較的厚手の大きな破片が数多く出土している。このほか、口縁部に瘤状の突起をもつ厚手の無文土器の大きな破片や貝殻条痕文円筒土器等が出土する。石器はチャート製の打製石鎌・尖頭器・スクレイパー類が出土する。

縄文時代後期～晩期

1～4区で確認されたが遺構の密度は低く、2区の鬼界アカホヤ火山灰(K-Ah)上面で竪穴住居跡1基(SA01)・土坑2基(SC01、SC02)が検出されたのみである。調査区内で検出された竪穴住居跡はごく一部であったが平面形態は円形プランと考えられ、埋土中より晩期土器が少量出土した。包含層中からは、北久根山式・西平式・辛川式並行の土器等がそれぞれ少量出土し、大部分は口縁帯の下部が断面三角形に肥厚し突出する無文の深鉢形土器(明確な貼付突帯文をもつ土器は少ない)といわゆる黒川式系の浅鉢で占められる。前期～中期土器の出土はない。石器はチャート製の打製石鏃・スクレイパー類等が多く、黒曜石(推定腰岳産)の原石や縦長剥片も一定量出土している。打製石斧の大半もこの時期に位置づけられよう。このほか、弥生後期の竪穴住居跡(SA24)の埋土中から、該期の勾玉が1点出土した。

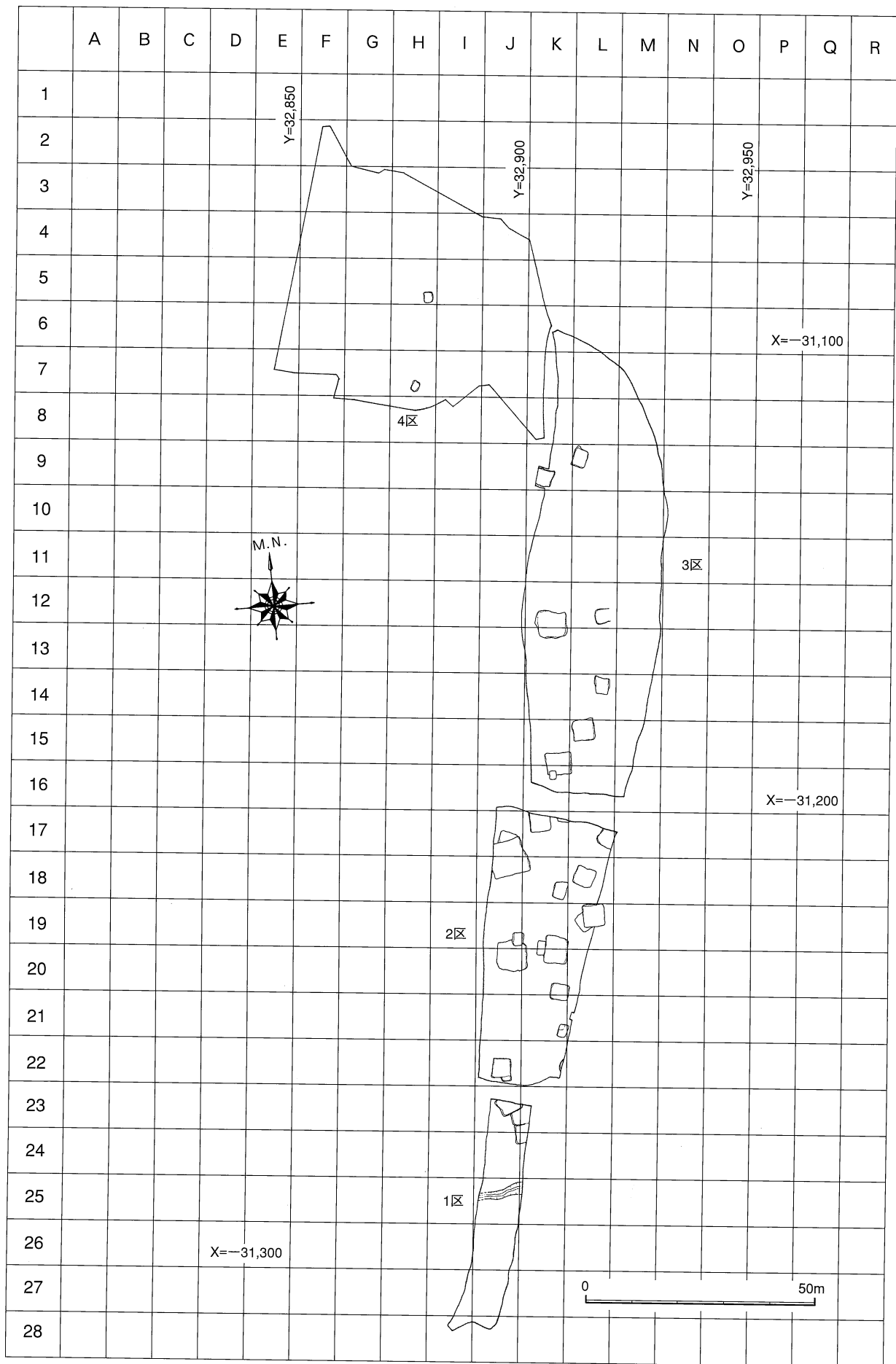
弥生時代中期末～古墳時代後期

竪穴住居跡総数25軒・土坑4軒が検出され、これらの遺構は出土遺物や重複関係、主軸などから大まかに弥生時代中期末から6世紀まで断続的に営まれており、弥生時代中期末～後期初頭を中心に3～4時期に大別される。なかでも弥生時代中期末～後期初頭の集落が主体をなし、形態は円形は見られずすべて方形を呈し支柱穴は2ないし4本で、規模では20㎡前後と50㎡前後の大型住居など格差が認められる。後期中葉以降になると集落軒数も3～4軒と減少する。土器では在地系のほか肥後系(黒髪式)、東九州系(下城式)、中国・瀬戸内系(櫛描波状文・凹線文)など他地域の影響を窺えるものも出土している。石器は磨製石鏃・同素材・同未製品・敲石・磨石・砥石・台石等が基本組成をなし、とくに磨製石鏃・同未製品・素材は、緑色系の石材を用いたものが大量に出土している。そのほか鉄鏃や碧玉製管玉等の玉類も出土している。

中世

本遺跡で確認された中世の遺構としては、2区で検出された1条の道状遺構があげられる。遺構は傾斜に沿って調査区を横切るように検出され、広いところでは約2m程度の幅を有する。また、遺構に伴う遺物としては同安窯系の櫛描蓮弁文などが出土している。限られた範囲における検出であったために遺構の性格付けは難しいが、2区と3区を分断していた道路脇の中世の五輪塔、岩戸川の浸食により形成された調査区東側の急崖付近に鎮座する妙見神社(水神)などの存在から、それらの信仰の対象を包括していた集落が展開していたとも考えられ、それに伴うものである可能性が指摘できる。

このほか、本遺跡が位置する大野原地区周辺の中世期の様相を物語るものとしては、大正寺跡五輪塔群や亀山城跡があげられる。大正寺跡については中世の動向を記した文書等の記録が少なく詳でないが、亀山城跡は中世の高千穂を領した三田井氏の家臣富高弥十郎長義の居城であり、遺構も良好に残存している。高千穂では、三田井氏の本城である仲山城を中心にして、島津氏と中世日向の覇権を争った伊東氏が構築した伊東48壘と同じように「高千穂48壘」が存在し、同城跡は岩戸方面を抑える上での主要な位置を占めていたと考えられる。しかしながら、同城は秀吉の九州仕置により縣の地に封ぜられた高橋元種により天正年間に攻め落とされる。調査区内で出土した15～16世紀の青磁碗や青花はこの城跡の存亡期と重複しており、城跡周辺の当該期の様相を考える上での資料として有用である。

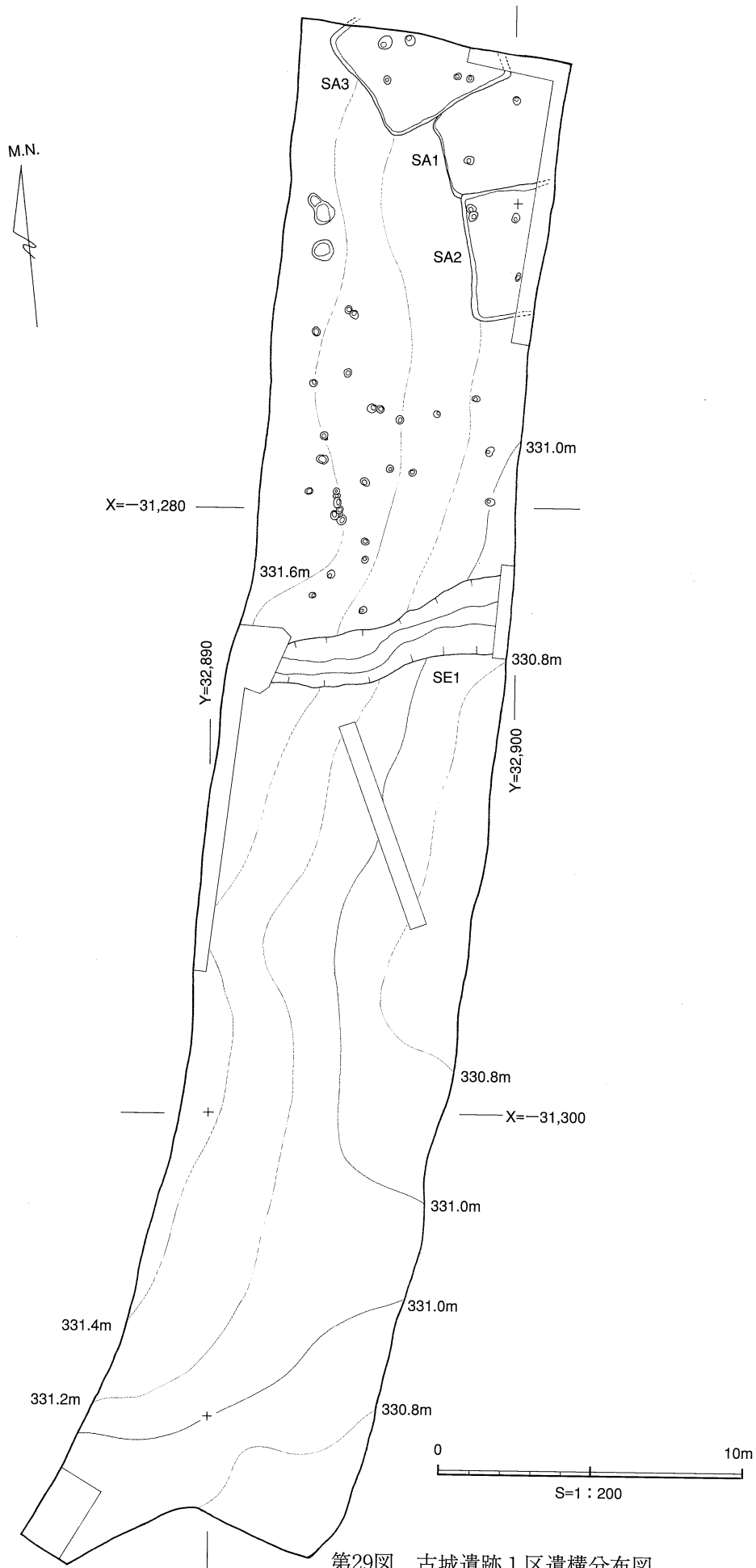


第28図 古城遺跡グリッド配置図 (S = 1/1,200)

表9 古城遺跡縄文時代・弥生時代竪穴住居跡一覧表

※ 表中の数値で斜体表示のものは、推定値であることを示す。

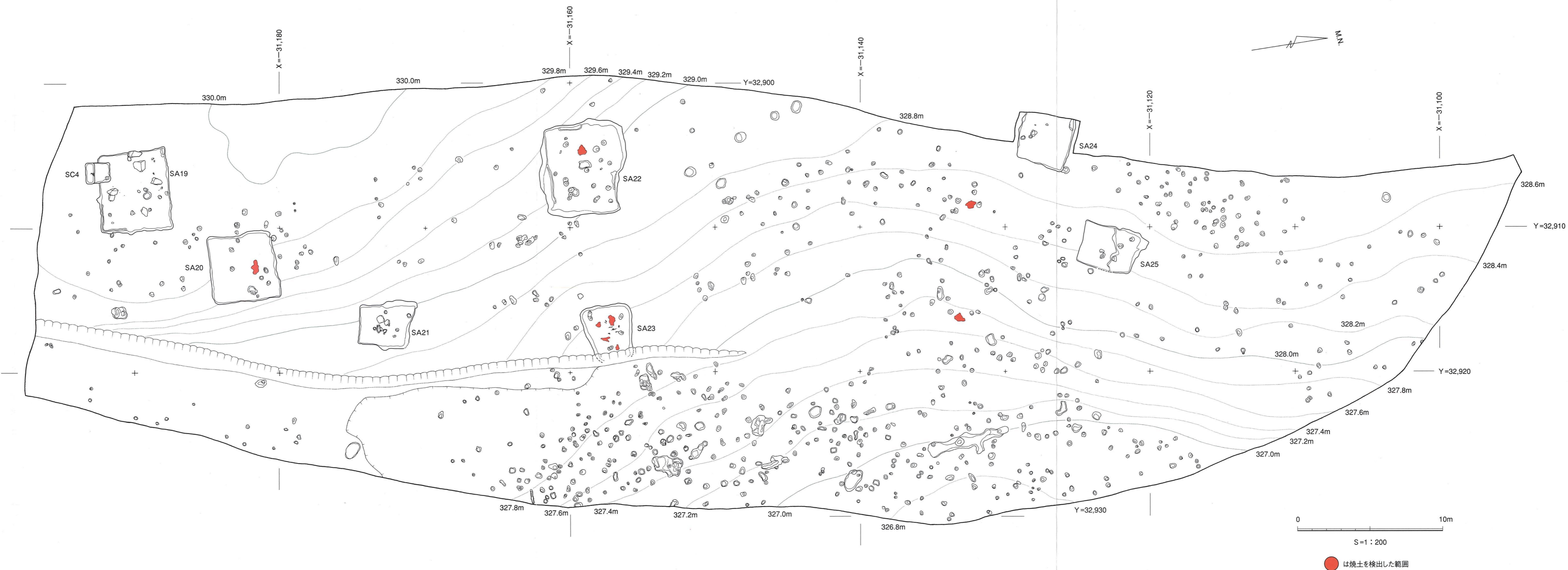
| 住居番号 | 調査区 | 時期 | 平面形態 | 柱数(主柱) | 規模 (m) | | | 床面積 (㎡) | 主な出土遺物 | 備考 | | |
|------|-----|------------------|------------|--------|--------|-------|------|---------|--------|--------------------------------|--|-------------|
| | | | | | 主軸最大長 | × 最大幅 | × 深さ | | | | | |
| SA01 | 2区 | 縄文時代 晩期 | 円形 | 不明 | — | × | — | × | — | 無刻目突帯文土器 ・1/6程度を完掘(残りは調査区外) | | |
| SA1 | 1区 | 不明 | 隅丸方形? | 不明 | — | × | — | × | 0.16 | 在地系甕 ・SA2とSA3に切られる。 | | |
| SA2 | 1区 | 不明 | 隅丸方形 | 4? | — | × | 1.98 | ≦ | × | 0.44 | 在地系甕 ・SA1を切る。 | |
| SA3 | 1区 | 不明 | 隅丸方形 | 不明 | 4.85 | × | 4.58 | ≦ | × | 0.13 | 在地系甕 ・SA1を切る。 | |
| SA4 | 2区 | | 方形+α | 2 | 4.49 | × | 5.22 | × | 0.54 | 23.4 | 磨製石鏃・未製品 ・ベッド状の張り出しを有する。 ・焼土検出 ・壁帯溝を確認 | |
| SA5 | 2区 | 終末~古墳前葉 | 隅丸長方形 | 4 | 4.26 | × | 3.52 | × | 0.59 | 15.0 | 磨製石鏃未製品 ・壁帯溝を確認 ・焼土検出 | |
| SA6 | 2区 | 弥生時代 中期末~後期前葉 | 不整形な方形 | 4 | 7.55 | × | 6.96 | × | 0.67 | 52.5 | 磨製石鏃・未製品 工字突帯甕 ・SA7に切られる。 ・焼土検出 ・壁帯溝を確認 | |
| SA7 | 2区 | 弥生時代 後期中葉~後葉 | 隅丸長方形 | 1 | 2.78 | × | 2.43 | × | 0.74 | 6.8 | ・SA6を切る。 | |
| SA8 | 2区 | 弥生時代 中期末~後期前葉 | 方形? | 不明 | 3.22 | × | — | × | 0.57 | — | 敲石 ・SA9に切られる。 ・焼土検出 | |
| SA9 | 2区 | 終末~古墳前葉 | 隅丸長方形 | 2 | 5.96 | × | 5.05 | × | 0.79 | 30.1 | タタキ甕 ・SA8を切る。 ・壁帯溝を確認 | |
| SA10 | 2区 | 弥生時代 中期末~後期前葉 | 隅丸方形 | 不明 | 3.90 | × | 4.30 | × | 0.39 | 16.8 | 複合口縁壺 磨製石鏃 ・SA11に切られる。 | |
| SA11 | 2区 | 弥生時代 後期中葉~後葉 | 隅丸方形 | 4 | 4.63 | × | 5.11 | × | 0.71 | 23.7 | 長頸壺 ・SA10を切る。 ・焼土検出 ・壁帯溝を確認 | |
| SA12 | 2区 | 終末~古墳前葉 | 隅丸長方形 | 2 | 2.86 | × | 4.12 | × | 0.59 | 11.8 | タタキ甕 ・掘削により1/8程度が消失 | |
| SA13 | 2区 | 不明 | 不整形な方形 | 2? | 4.56 | × | 4.31 | × | 0.42 | 19.7 | | |
| SA14 | 2区 | 弥生時代 後期中葉~後葉 | 隅丸方形 | 4 | 8.13 | × | 8.71 | × | 0.68 | 70.8 | 複合口縁壺 鉄鏃 鈍 鉄片 ・SA15を切る。 ・焼土検出 ・一部未確認(調査区外) | |
| SA15 | 2区 | 弥生時代 中期末~後期前葉 | 方形? | 不明 | 4.05 | × | 3.09 | ≦ | × | 0.39 | — | ・SA14に切られる。 |
| SA16 | 2区 | 弥生時代 後期中葉~後葉 | 方形? | 不明 | 4.63 | × | 4.48 | × | 0.24 | 20.7 | ・焼土検出 | |
| SA17 | 2区 | 不明 | 隅丸方形? | 不明 | — | × | — | × | 0.25 | — | ・一部のみ確認(調査区外) | |
| SA18 | 2区 | 不明 | 不整形な方形 | 不明 | — | × | — | × | — | — | 下城式土器 磨製石鏃・未製品 ・3/5?程度を確認(調査区外) | |
| SA19 | 3区 | 弥生時代 中期末~後期前葉 | 方形 | 不明 | 5.82 | × | 5.08 | × | 0.25 | 29.6 | 敲石 ・SC4に切られる。 ・壁帯溝を確認 | |
| SA20 | 3区 | 不明 | やや不整形な隅丸方形 | 2? | 4.69 | × | 4.67 | × | 0.63 | 21.9 | 下城式土器 磨製石鏃未製品 ・壁帯溝を確認 | |
| SA21 | 3区 | 弥生時代 中期末~後期前葉 | 不整形な方形 | 不明 | 3.42 | × | 3.88 | × | 0.53 | 13.3 | 工字突帯甕 磨製石鏃 | |
| SA22 | 3区 | 弥生時代 中期末~後期前葉 | 隅丸方形 | 4 | 7.48 | × | 5.84 | × | 0.33 | 43.7 | 管玉 磨製石鏃・未製品 ・壁帯溝を確認 ・焼土検出 | |
| SA23 | 3区 | 弥生時代 中期末~後期前葉 | 隅丸台形? | 不明 | 3.56 | ≦ | 3.46 | × | 0.48 | — | 管玉 磨製石鏃 ・1/5程度が掘削により消失 ・焼土検出 | |
| SA24 | 3区 | 弥生時代 中期末~後期前葉 | 方形 | 不明 | 3.72 | ≦ | 4.06 | × | 0.31 | — | 黒髪式土器 玉 磨製石鏃 鉄鏃 ・一部未確認(調査区外) | |
| SA25 | 3区 | 弥生時代 中期末~後期前葉 | 隅丸方形 | 不明 | 3.26 | × | 4.58 | × | 0.42 | 14.9 | 工字突帯甕 | |



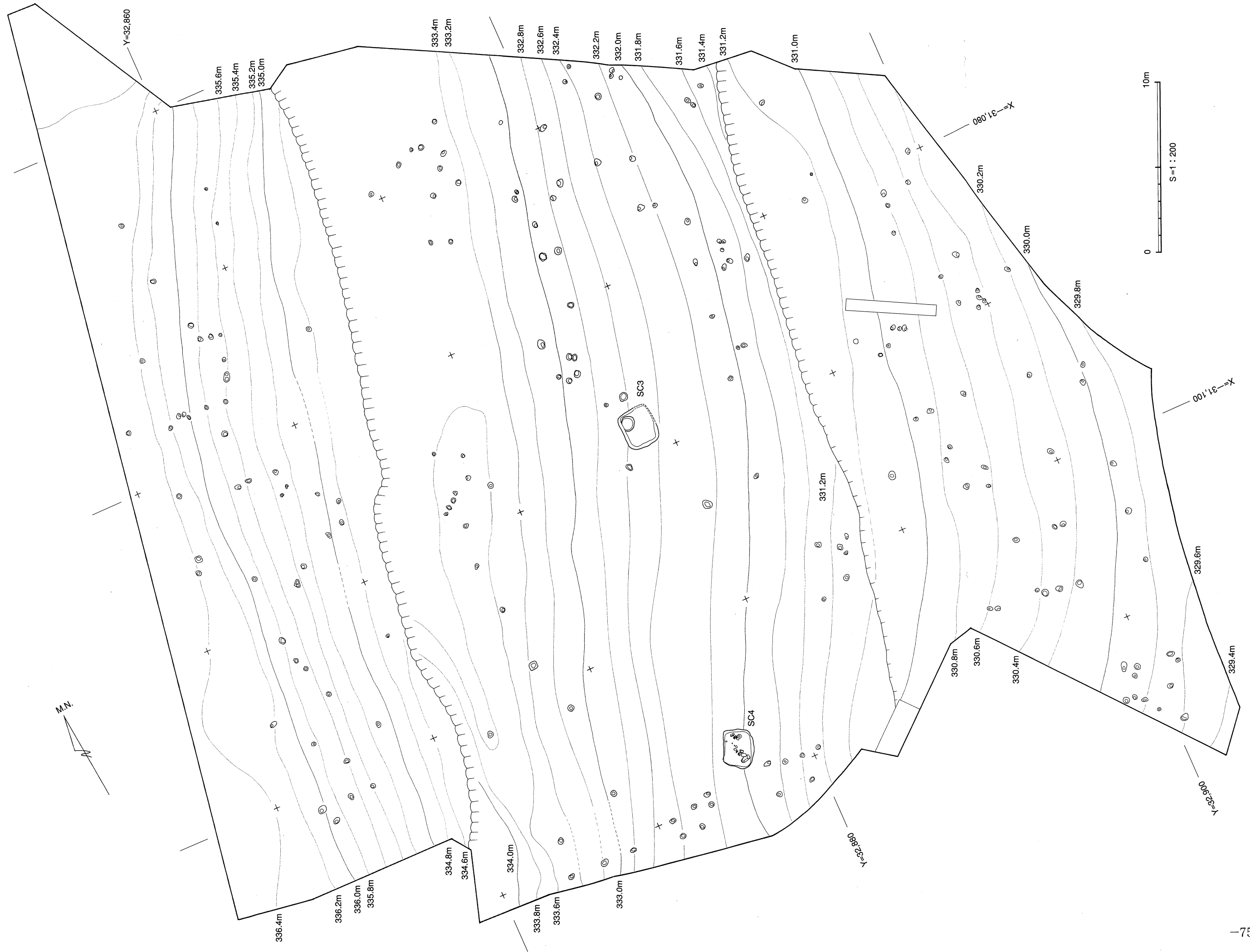
第29图 古城遺跡 1 区遺構分布図



第30図 古城遺跡2区遺構分布図



第31図 古城遺跡3区遺構分布図（等高線はVI層上面）



第32图 古城遺跡4区遺構分布图

第4節 縄文時代早期の遺構と遺物

1 集石遺構（第38～39図）

鬼界アカホヤ火山灰層下位のⅥ層中で、集石遺構が49基検出された。2区と3区のみに見られ、特に緩斜面をなす2区に多い。その2区ではいくつかの分布のまとまりが看取できる。一方、3区は散漫な分布状況を示している。

個別の図は掲げていないが、掘り込みを有するものが45基（全体の92%）に及ぶ。また12基で炭化物が検出されている。S I 23は配石を有する。構成礫は花崗斑岩、阿蘇溶結凝灰岩がほとんどで、S I 23のみ砂岩が用いられる。このS I 23は特異な存在なのであろう。なお、集石遺構に関する詳細は、表11を参照されたい。

2 土器（第33～37図）

主としてⅥ層より出土している。Ⅶ層・Ⅷ層より出土している資料もあるが、時期差を読みとることはできない。押型文系土器が多数を占める他、縄文・撚糸文系、円筒形条痕文系に属する個体も若干量見られる。さらに貝殻文系塞ノ神式や微隆起突帯を有する条痕文土器もごく少量認められる。

押型文系土器は、楕円文・山形文のほか、わずかに平行文が認められる。27や28の菱目文は手向山式に特徴的に見られる文様である。多くは内面の口縁上部を文様帯とするが、文様の無い個体も少量ある。内面の文様は外面同様の押型文である場合が多いが、縦位の短沈線文（いわゆる原体条痕も含まれる）を施す場合もあり、17などは斜方向の長めの沈線文を施文している。5のように短沈線文と押型文を組み合わせるものもある。また口唇部を文様帯とし、押型文や刻目を付す個体もある。器形の全容の窺い知れる個体はほとんどないが、①直口をなすもの、②胴部が張ることなく底部に至ると考えられるもの、③胴部が張るもの、④胴部が鈍く屈曲するものなどがあり、出土状況から窺い知ることにはできないもの、おそらく器形の違いは時期差に因るのであろう。なお、図化していないが、押型文を施す平底の底部が出土しているが、それなどは類例から見て③に属する可能性が高い。

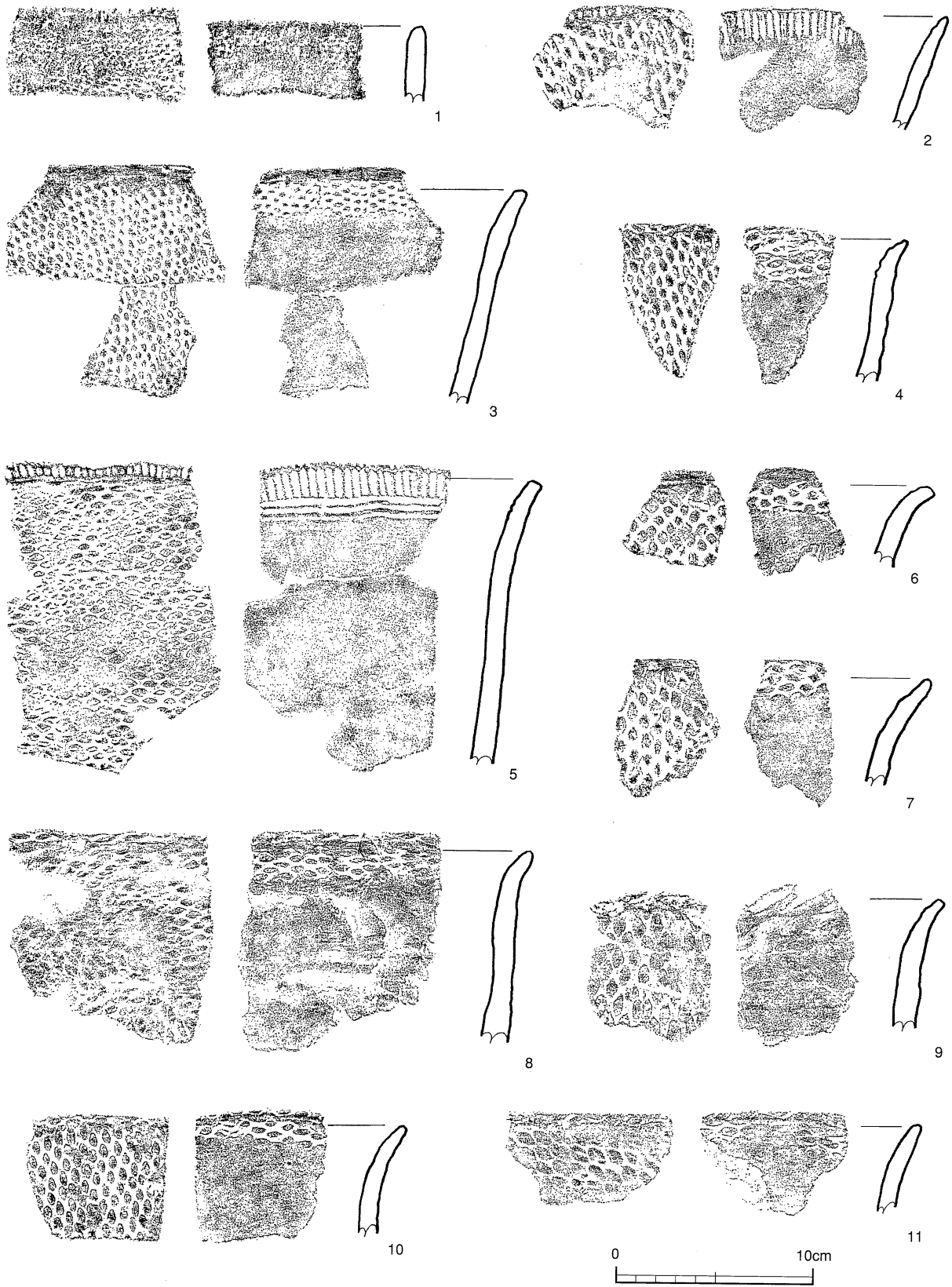
縄文・撚糸文系土器は、器形や内面の口縁上部を文様帯とするところなど、押型文系土器と共通する特徴が見られる。33は手向山式の器形であり、外面には綾杉状の単節の縄文を施す。結束部は明瞭でないが、2本の縄を結束させたものか。

円筒形条痕文系に該当するものは、36・37である。いずれも、外面にわずかに波打つ条痕文を施す。内面は丁寧なナデ調整を行い、平滑な器面を形成している。

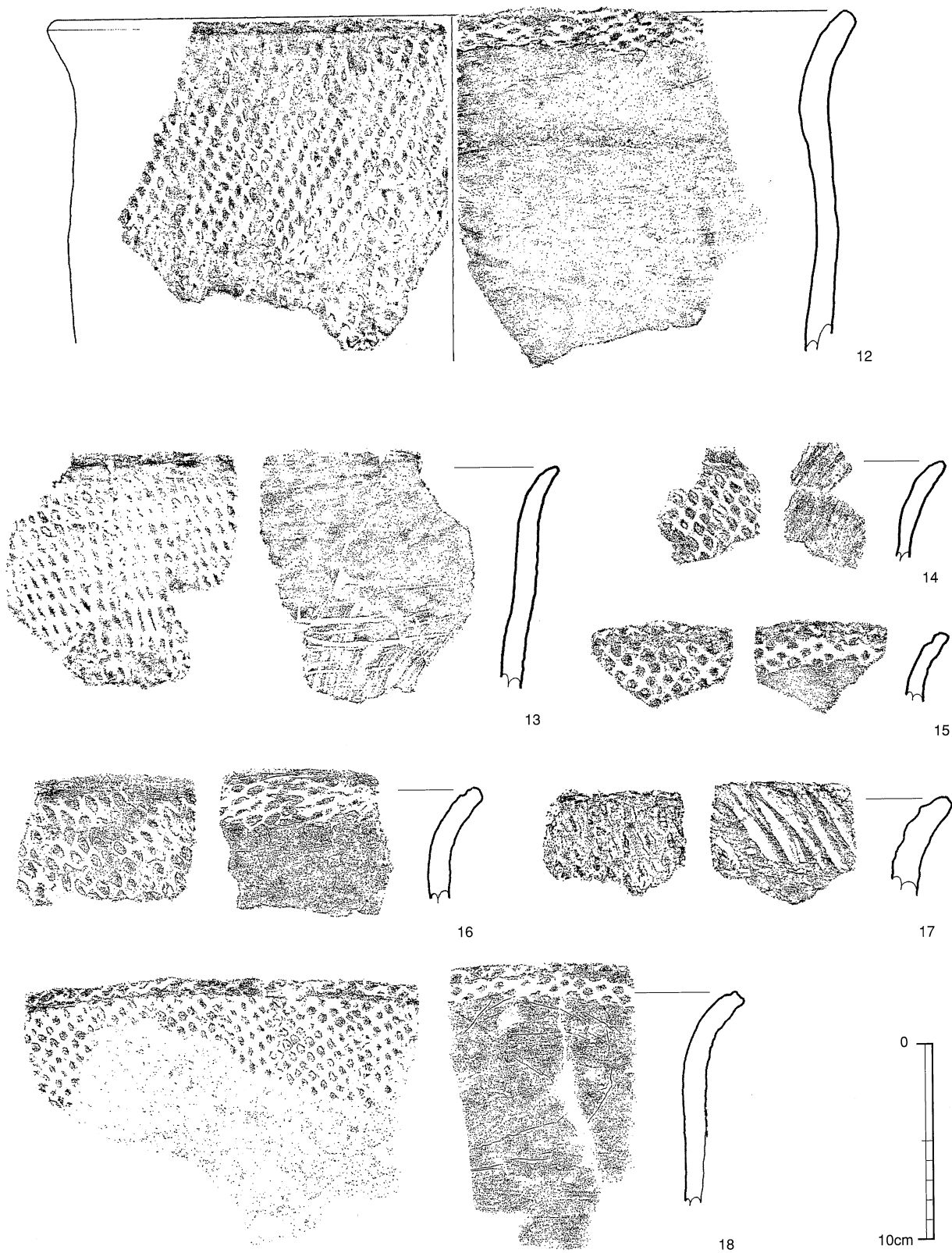
貝殻文系塞ノ神式に属する個体は38の1点のみである。口縁下部と見られ、貝殻縁による圧痕文を施文する。

また微隆起突帯を有する条痕文土器も、44の1点のみであるが、同じ特徴を有する条痕文土器が少量認められる。突帯は貼り付けではなく、器面を削りだした結果形成されるものである。

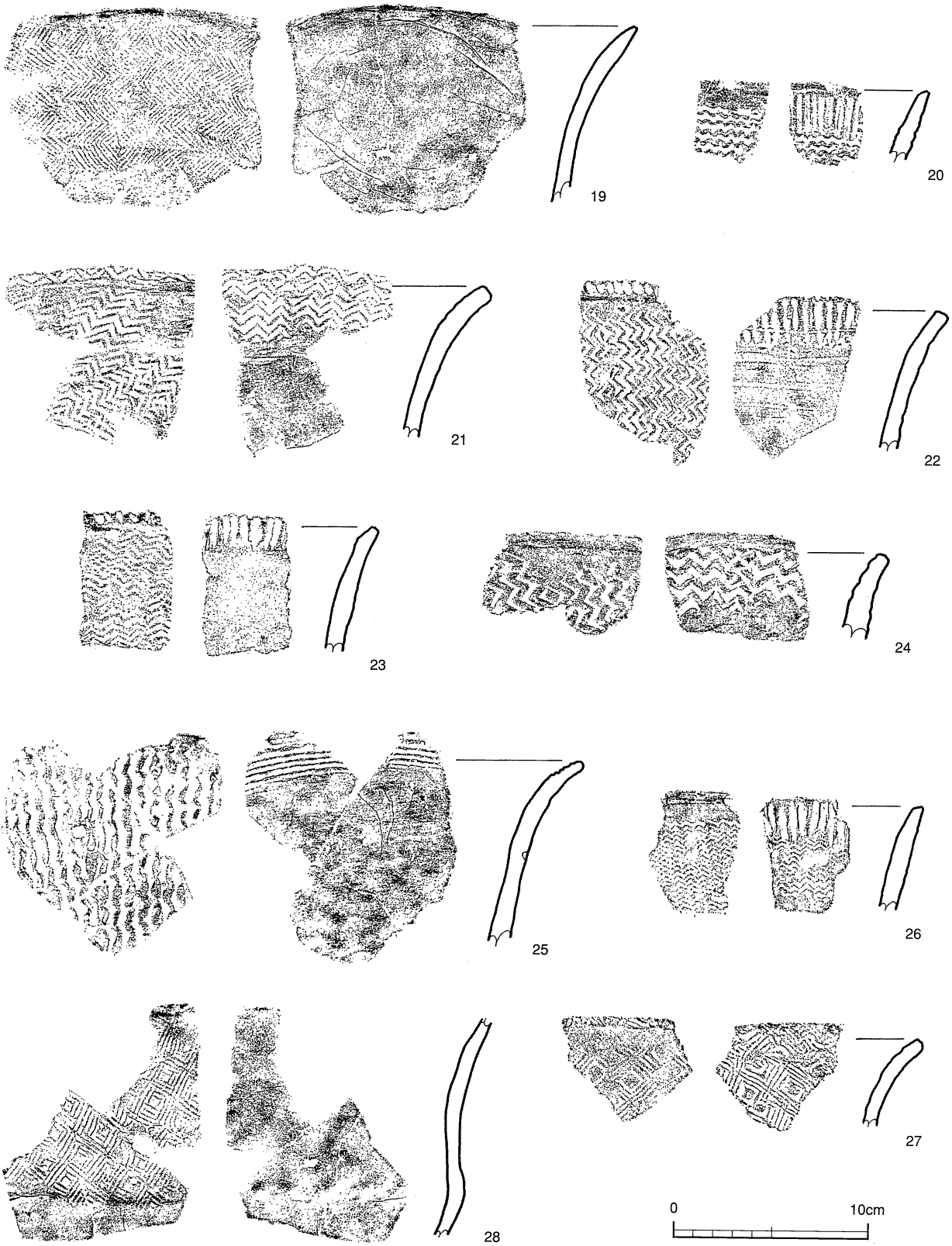
以上の他、Ⅵ～Ⅷ層中から一定量の無文土器が出土している。39～43がそれである。口縁部の形態のみ見ても、①外反するもの、②直口、③内湾するもの、と多様で、所属型式を推定することはできない。ただし、図化できていないが、口縁部に瘤状の突起を付す個体があり、何らかの手がかりとなる可能性があるであろう。



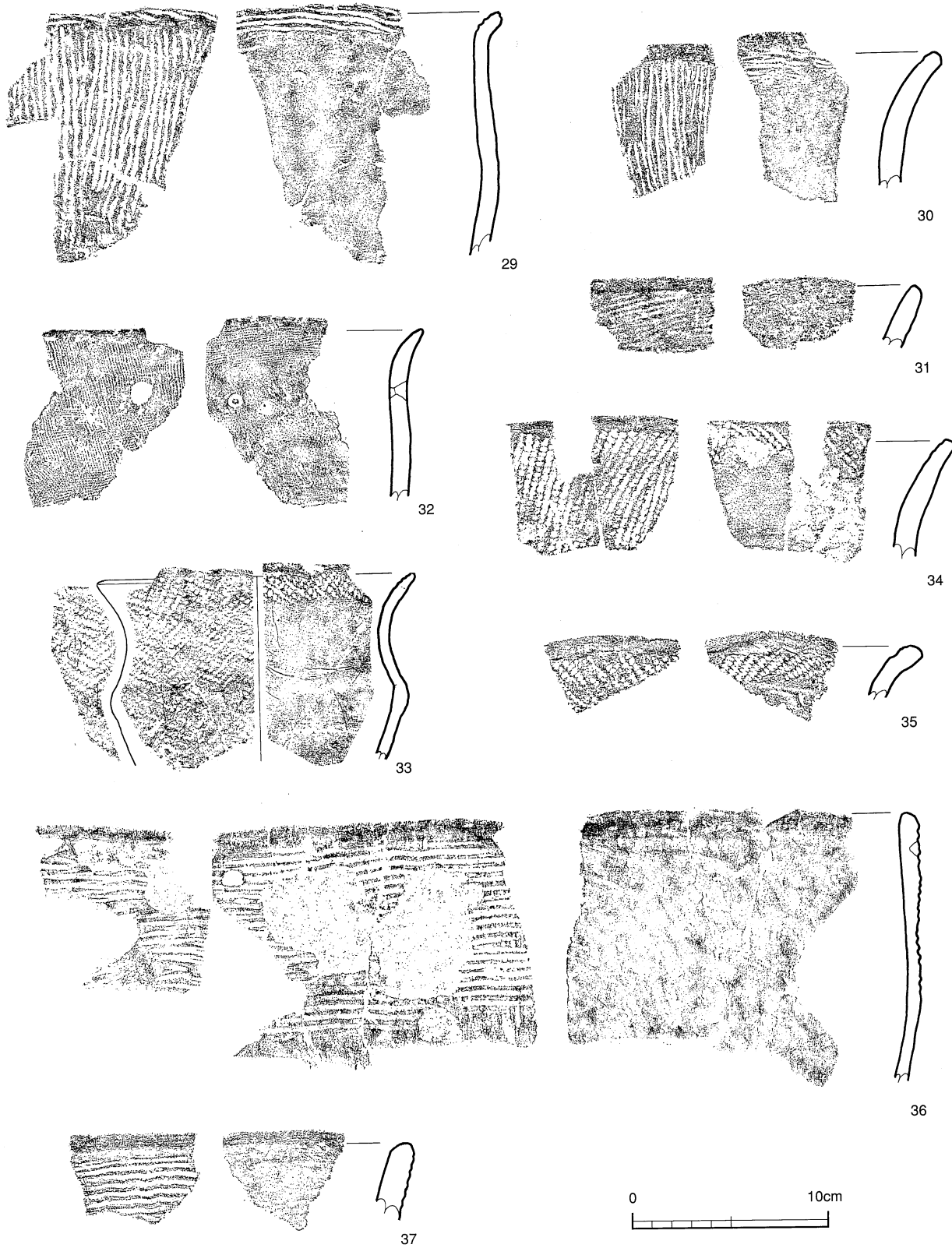
第33图 古城遺跡出土繩文土器実測図(1)



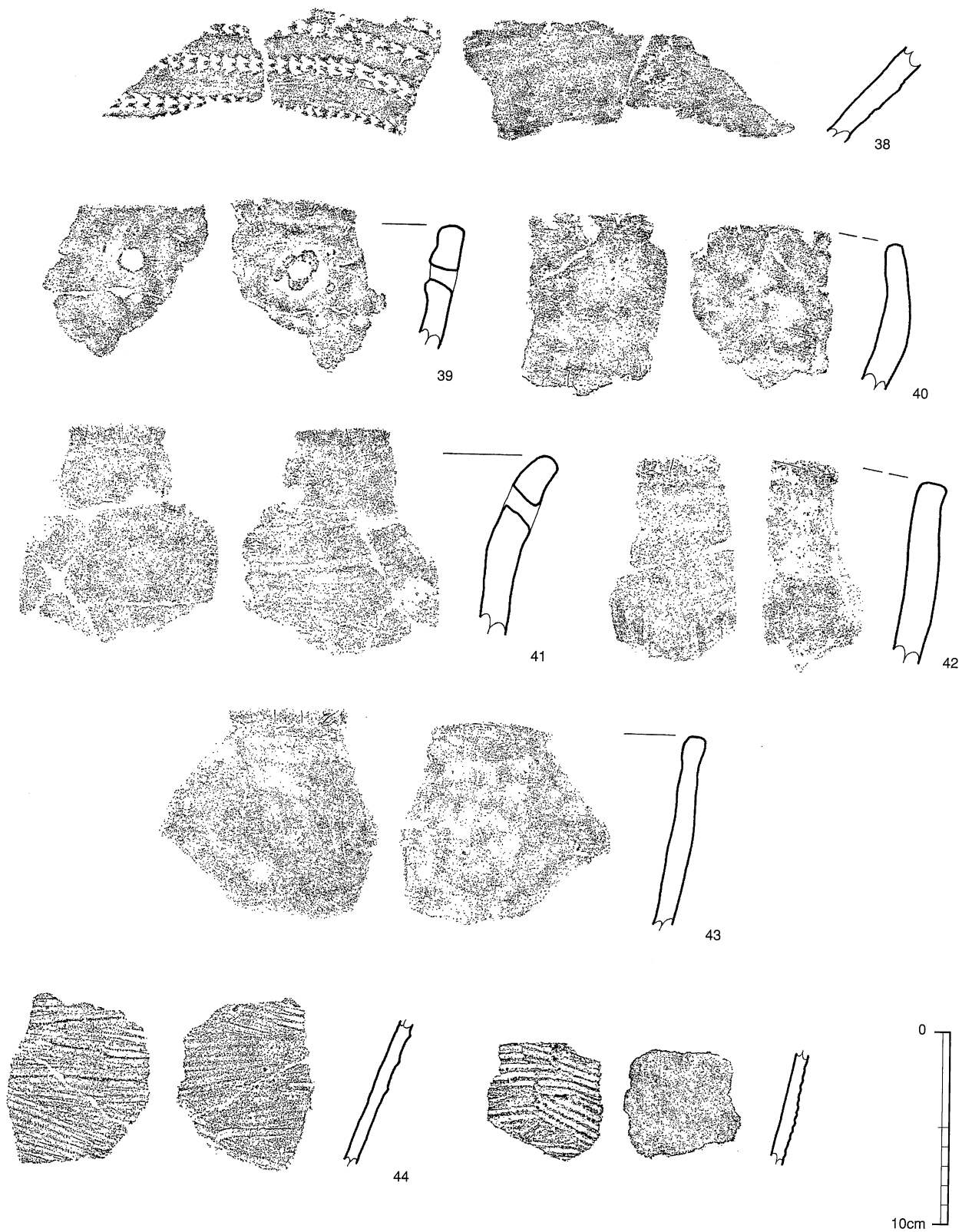
第34図 古城遺跡出土縄文土器実測図（2）



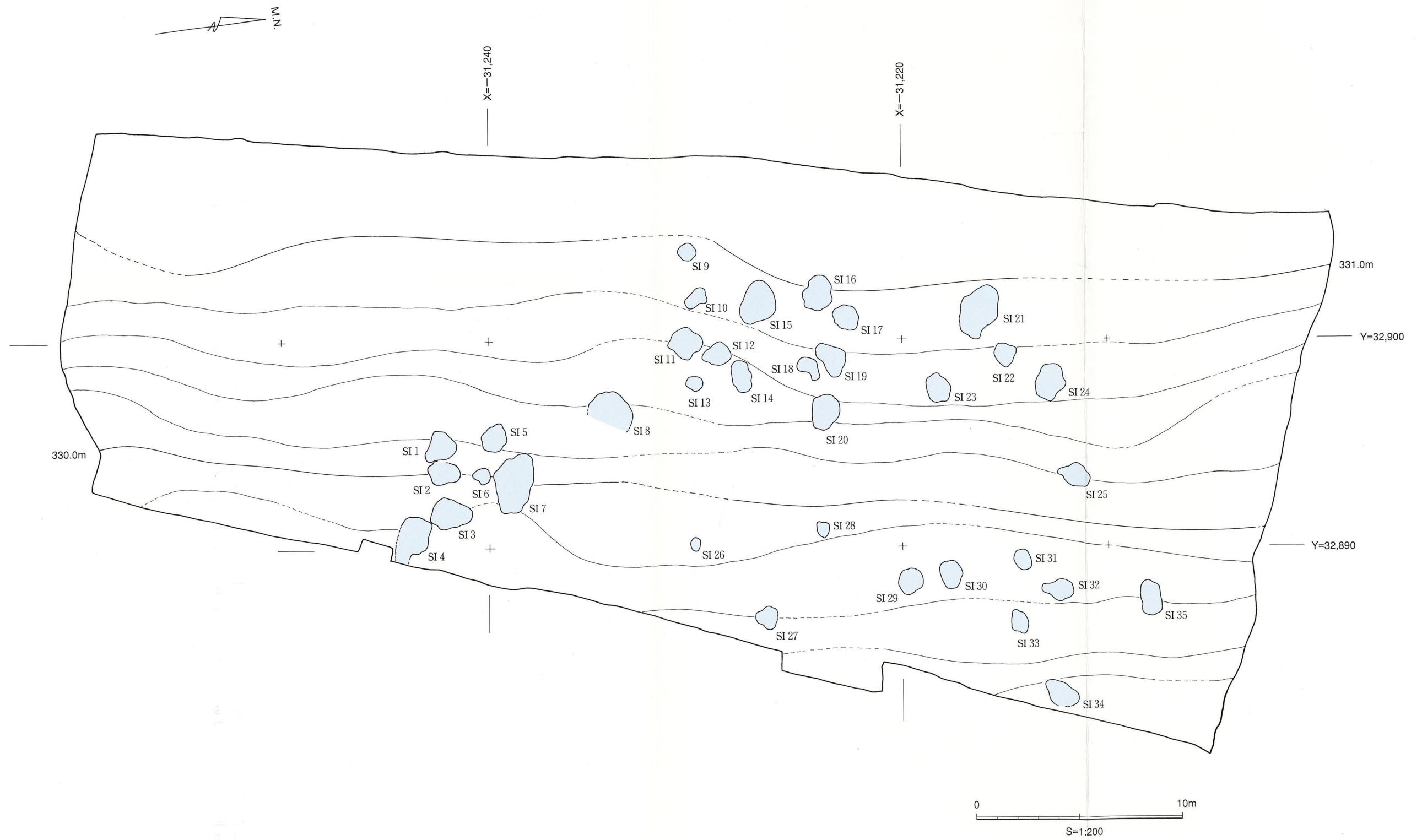
第35図 古城遺跡出土縄文土器実測図（3）



第36図 古城遺跡出土縄文土器実測図(4)



第37図 古城遺跡出土縄文土器実測図（5）



第38図 古城遺跡2区 縄文時代早期集石遺構分布図 (右図中の等高線はVI層上面)



第39図 古城遺跡3区 縄文時代早期集石遺構および礫の分布図（右図中の等高線はVI層上面）

表 10 古城遺跡縄文時代早期遺物観察表

| No. | 器種・部位 | 出土位置 | 出土層 | 文様・調整(外) | 文様・調整(内) | 色 調 | 備 考 |
|-----|--------------|------|-----|-----------|---------------------|---------------------|------------|
| 1 | 深鉢・口縁部 | 1区 | Ⅳ | 押型文(楕円) | 押型文(楕円)・ナデ | 黄褐 | |
| 2 | 〃 | 2区 | Ⅶ | 押型文(楕円) | 沈線文・ナデ | にぶい黄橙, 黄灰 | |
| 3 | 〃 | 2区 | Ⅷ | 押型文(楕円) | 押型文(楕円)・ナデ | 黄褐, 褐灰 | |
| 4 | 〃 | 2区 | Ⅶ | 押型文(楕円) | 押型文(楕円)・ナデ | にぶい黄褐 | |
| 5 | 深鉢・口縁～ 胴部 | 3区 | Ⅷ | 押型文(楕円) | 押型文(平行文)・沈線 文・ナデ | にぶい黄橙 | |
| 6 | 深鉢・口縁部 | 3区 | Ⅶ | 押型文(楕円) | 押型文(楕円)・ナデ | 明褐, にぶい褐 | |
| 7 | 〃 | 3区 | Ⅷ | 押型文(楕円) | 押型文(楕円)・ナデ | にぶい褐 | |
| 8 | 〃 | 3区 | Ⅵ | 押型文(楕円) | 押型文(楕円)・ナデ | にぶい黄褐, 灰褐 | |
| 9 | 〃 | 2区 | — | 押型文(楕円) | 沈線文 | 暗褐, 褐 | |
| 10 | 〃 | 2区 | Ⅶ | 押型文(楕円) | 押型文(楕円)・ナデ | にぶい黄褐 | |
| 11 | 〃 | 3区 | Ⅵ | 押型文(楕円) | 押型文(楕円)・ナデ | にぶい黄橙, 灰黄橙 | |
| 12 | 深鉢・口縁～ 胴部 | 2区 | Ⅵ | 押型文(楕円) | 押型文(楕円)・工具 によるナデ | にぶい黄褐 明黄褐, にぶい黄橙 | |
| 13 | 深鉢・口縁部 | 2区 | Ⅵ | 押型文(楕円) | ナデ, 工具によるナデ | 灰褐, にぶい赤褐 | |
| 14 | 〃 | 2区 | Ⅵ | 押型文(楕円) | 工具によるナデ | 暗褐 | |
| 15 | 〃 | 2区 | Ⅵ | 押型文(楕円) | 工具によるナデ | 暗褐 | |
| 16 | 〃 | 2区 | — | 押型文(楕円) | 押型文(楕円)・ナデ | 黒褐, 暗褐 | |
| 17 | 〃 | 2区 | Ⅵ | 押型文(楕円) | 沈線文・工具ナデ | にぶい褐, 灰黄褐, 橙 | |
| 18 | 〃 | 2区 | Ⅶ | 押型文(楕円) | 押型文(楕円)・ナデ | 灰褐, 黄褐, 明黄褐 | |
| 19 | 〃 | 3区 | Ⅵ | 押型文(山形) | ナデ | 黒褐, 灰黄褐 | |
| 20 | 〃 | — | — | 押型文(山形) | 沈線文・押型文(山形) | 黒褐, 灰黄褐 | |
| 21 | 〃 | 2区 | — | 押型文(山形) | 押型文(山形)・ナデ | 黒褐, 灰黄褐 にぶい黄, 橙 | |
| 22 | 〃 | 2区 | — | 押型文(山形) | 押型文(山形)・ナデ | 褐灰, にぶい橙 | |
| 23 | 〃 | 3区 | Ⅷ | 押型文(山形) | 沈線文・ナデ | 灰黄褐, にぶい黄橙 | |
| 24 | 〃 | 3区 | Ⅵ | 押型文(山形) | 押型文(山形)・ナデ | にぶい黄橙 にぶい黄褐 | |
| 25 | 〃 | 2・3区 | Ⅷ | 押型文(山形) | 押型文(平行文)・ナデ | 灰黄, 暗灰黄 | 穿孔(非貫通) |
| 26 | 〃 | 2区 | Ⅵ | 押型文(山形) | 沈線文・押型文(山形) | にぶい褐, 灰黄褐 | |
| 27 | 〃 | 2区 | Ⅵ | 押型文(菱目) | 押型文(菱目) | 灰褐, にぶい赤褐 | |
| 28 | 深鉢・胴部 | 3区 | Ⅵ | 押型文(菱目) | ナデ | 黒褐, 褐 | |
| 29 | 深鉢・口縁～ 胴部 | 2区 | Ⅶ | 捺糸文 | 捺糸文・ナデ | にぶい黄橙, 灰黄褐 | 口唇部にも施文 |
| 30 | 深鉢・口縁部 | 2区 | Ⅵ | 捺糸文 | 捺糸文・ナデ | 褐, 灰黄褐 | |
| 31 | 〃 | — | — | 捺糸文? | 捺糸文?・ナデ | にぶい黄橙 | |
| 32 | 〃 | 3区 | — | 捺糸文 | 捺糸文・ナデ | にぶい赤褐, にぶい褐 | 穿孔 |
| 33 | 深鉢・口縁～ 胴部 | 2区 | Ⅵ | 縄文(結束) | 縄文・ナデ | にぶい黄橙 | |
| 34 | 深鉢・口縁部 | 2区 | Ⅵ | 縄文 | 縄文・ナデ | にぶい黄, にぶい黄橙 | |
| 35 | 〃 | — | — | 縄文 | 縄文・ナデ | にぶい黄橙, 暗褐 | |
| 36 | 深鉢・口縁～ 胴部 | 3区 | Ⅵ | 条痕文 | 丁寧なナデ | にぶい橙 | 推定口径18.0cm |
| 37 | 深鉢・口縁部 | 2区 | Ⅵ | 条痕文 | 丁寧なナデ | 灰黄褐, にぶい黄褐 | |
| 38 | 〃 | 2区 | Ⅵ | 貝殻圧痕文 | ナデ | にぶい褐 | |
| 39 | 〃 | 2区 | Ⅶ | ナデ | ナデ | 赤褐 | 穿孔, 波状口縁か |
| 40 | 〃 | 2区 | Ⅵ | ナデ | ナデ | 褐, 暗褐 | |
| 41 | 〃 | 2区 | Ⅵ | ナデ | ナデ | 褐 | 穿孔 |
| 42 | 〃 | 2区 | Ⅵ | ナデ | ナデ | 赤褐, にぶい黄褐 | 波状口縁か |
| 43 | 〃 | 2区 | Ⅵ | ナデ | ナデ | にぶい赤褐, 黄褐 | |
| 44 | 深鉢・胴部 | 2区 | Ⅶ | 条痕, 微隆起突帯 | 条痕 | にぶい黄橙 | |

表11 古城遺跡縄文時代早期集石遺構一覽表

| 番号 | 遺構番号 | 調査区 | 層位 | 時期 | 出土遺物 | サイズ 礫の範囲(m) | 礫の 密度 | 掘込み の有無 | 掘込みの 深さ(m) | 配石 有無 | 炭化物 有無 | 礫個数 | 備 考 |
|----|------|-----|----|------|-------------|----------------|----------|------------|---------------|----------|-----------|-------|-------------------------------------|
| 1 | SI1 | 2区 | VI | 縄文早期 | | 1.58×1.42 | | ○ | 0.356 | × | | — | |
| 2 | SI2 | 2区 | VI | 縄文早期 | | 1.61×1.1+α | | ○ | 0.128 | × | | — | |
| 3 | SI3 | 2区 | VI | 縄文早期 | 土器 | 1.94×1.5 | 密 | ○ | 0.123 | × | | 約90点 | 赤変した礫(凝灰岩)が多い |
| 4 | SI4 | 2区 | VI | 縄文早期 | 土器 | 2.1+α×1.4 | 散 | ○ | 0.173 | × | | — | 一部攪乱により消失 |
| 5 | SI5 | 2区 | VI | 縄文早期 | | 1.38×1.19 | 散 | ○ | 0.258 | × | | — | |
| 6 | SI6 | 2区 | VI | 縄文早期 | | 0.9×0.81 | 密 | ○ | 0.259 | × | | — | |
| 7 | SI7 | 2区 | VI | 縄文早期 | | 3.12×1.88 | 密 | ○ | 0.24 | × | | — | |
| 8 | SI8 | 2区 | VI | 縄文早期 | | 1.24×1.56 | | ○ | — | × | | — | 構成礫のすべてが花崗斑岩 |
| 9 | SI9 | 2区 | VI | 縄文早期 | | 0.92×0.84 | | ○ | — | × | | — | 構成礫は花崗斑岩(約5割)、砂岩 |
| 10 | SI10 | 2区 | VI | 縄文早期 | | 1.2×0.6 | | ○ | — | × | | — | 構成礫は花崗斑岩(約6割)、砂岩 |
| 11 | SI11 | 2区 | VI | 縄文早期 | | 1.52×1.4 | | ○ | — | × | | — | 構成礫は主に花崗斑岩、一部砂岩 |
| 12 | SI12 | 2区 | VI | 縄文早期 | 土器 | 1.36×1.04 | | ○ | — | × | | — | 構成礫のすべてが花崗斑岩 |
| 13 | SI13 | 2区 | VI | 縄文早期 | | 0.82×0.74 | | ○ | — | × | ○ | 69点 | すべて破砕礫、凝灰岩で構成されている |
| 14 | SI14 | 2区 | VI | 縄文早期 | | 1.54×1.0 | 散 | ○ | 0.135 | × | | 約110点 | ほとんどが砂岩で構成(4点のみ花崗斑岩) |
| 15 | SI15 | 2区 | VI | 縄文早期 | | 2.18×1.64 | | ○ | — | × | | — | 構成礫のほとんどが10cm前後の花崗斑岩 |
| 16 | SI16 | 2区 | VI | 縄文早期 | | 1.76×1.44 | | ○ | — | × | | — | 構成礫のすべてが花崗斑岩 |
| 17 | SI17 | 2区 | VI | 縄文早期 | | 1.28×1.14 | | ○ | 0.102 | × | | — | |
| 18 | SI18 | 2区 | VI | 縄文早期 | | 1.02×0.66 | | ○ | — | × | | — | 花崗斑岩・砂岩等で構成 |
| 19 | SI19 | 2区 | VI | 縄文早期 | | 1.48×1.42 | | ○ | — | × | | — | 構成礫のほとんどが花崗斑岩 |
| 20 | SI20 | 2区 | VI | 縄文早期 | | 1.78×1.36 | | ○ | — | × | | — | 構成礫のほとんどが花崗斑岩 |
| 21 | SI21 | 2区 | VI | 縄文早期 | | 2.6×1.84 | | ○ | — | × | | — | 構成礫の約7割が花崗斑岩 |
| 22 | SI22 | 2区 | VI | 縄文早期 | | 1.03×1.0 | | ○ | 0.201 | × | ○ | — | ほとんどが砂岩で構成 |
| 23 | SI23 | 2区 | VI | 縄文早期 | 石核、砥石 | 1.73×0.98 | | ○ | 0.228 | ○ | ○ | 約250点 | ほとんどが破砕礫(砂岩)で構成 |
| 24 | SI24 | 2区 | VI | 縄文早期 | 土器、石核? | 1.82×1.44 | 密 | ○ | 0.248 | × | ○ | 約180点 | 全体的に赤変が著しい。凝灰岩で構成されている |
| 25 | SI25 | 2区 | VI | 縄文早期 | | 1.62×1.08 | 密 | ○ | — | × | | — | 構成礫のほとんどが花崗斑岩 |
| 26 | SI26 | 2区 | VI | 縄文早期 | 土器、剥片 | 0.7×0.48 | 散 | ○ | 0.110 | × | ○ | 21点 | すべて破砕礫、凝灰岩で構成されている。 赤変しているものが少ない |
| 27 | SI27 | 2区 | VI | 縄文早期 | | 1.1×1.08 | | ○ | 0.186 | | | 138点 | |
| 28 | SI28 | 2区 | VI | 縄文早期 | | 0.72×0.64 | | ○ | 0.169 | | | 61点 | 構成礫のほとんどが砂岩 |
| 29 | SI29 | 2区 | VI | 縄文早期 | 剥片 | 1.28×1.18 | | ○ | 0.236 | × | | 約90点 | 構成礫(砂岩・花崗斑岩)の大半が赤変している。 |
| 30 | SI30 | 2区 | VI | 縄文早期 | | 1.34×1.03 | 密 | ○ | 0.274 | × | ○ | 約160点 | ほとんどが破砕礫(花崗斑岩が多い)で構成 |
| 31 | SI31 | 2区 | VI | 縄文早期 | | 1.02×0.78 | 散 | ○ | 0.308 | × | | 約40点 | ほとんど赤変していない凝灰岩で構成されている |
| 32 | SI32 | 2区 | VI | 縄文早期 | | 1.56×1.06 | 散 | ○ | 0.153 | × | ○ | 約200点 | 構成礫の約1/4が花崗斑岩 |
| 33 | SI33 | 2区 | VI | 縄文早期 | | 1.26×0.86 | 散 | ○ | 0.254 | × | | 約140点 | ほとんどが破砕礫(主に砂岩)で構成 |
| 34 | SI34 | 2区 | VI | 縄文早期 | | 1.8×1.08+α | 散 | ○ | 0.207 | × | ○ | 約150点 | 構成礫の大半が砂岩、約3/4が赤変している |
| 35 | SI35 | 2区 | VI | 縄文早期 | | 1.4×1.12 | | ○ | — | × | ○ | — | 構成礫のほとんどが花崗斑岩 |
| 36 | SI36 | 3区 | VI | 縄文早期 | 土器、石器 | 0.9×0.84 | 散 | × | | × | | 32点 | |
| 37 | SI37 | 3区 | VI | 縄文早期 | | 1.36×1.08 | | ○ | 0.138 | × | | — | 構成礫のほとんどが花崗斑岩 |
| 38 | SI38 | 3区 | VI | 縄文早期 | | 1.7×0.76 | | ○ | — | × | | — | |
| 39 | SI39 | 3区 | VI | 縄文早期 | 石核? | 0.98×0.6 | | ○ | 0.098 | × | | 約20点 | 構成礫の約1/4が花崗斑岩、他は砂岩。約1/2が赤変している |
| 40 | SI40 | 3区 | VI | 縄文早期 | 土器 | 3.44×2.56 | | ○ | 0.270 | × | | 約200点 | 構成礫のほとんどが花崗斑岩 |
| 41 | SI41 | 3区 | VI | 縄文早期 | | 0.6×0.54 | | ○ | 0.075 | × | | 約20点 | 構成礫の約半数が花崗斑岩。ほとんどが破砕礫。 |
| 42 | SI42 | 3区 | VI | 縄文早期 | 土器 | 0.68×0.48 | | ○ | 0.107 | × | | 約20点 | 構成礫のほとんどが花崗斑岩(破砕礫) |
| 43 | SI43 | 3区 | VI | 縄文早期 | 石器? | 2.03×1.3 | 散 | ○ | 0.120 | × | ○ | 123点 | 赤変した礫は掘り込み下部に多く認められる。花崗斑岩が多い |
| 44 | SI44 | 3区 | VI | 縄文早期 | | 0.76×0.62 | 散 | ○ | 0.700 | × | | 50点 | |
| 45 | SI45 | 3区 | VI | 縄文早期 | 土器 炭化種子? | 1.64×1.26 | 散 | ○ | 0.900 | × | ○ | 136点 | |
| 46 | SI46 | 3区 | VI | 縄文早期 | 土器 | 1.46×1.44 | 密 | × | | × | | 158点 | |
| 47 | SI47 | 3区 | VI | 縄文早期 | 土器 | 1.29×1.02 | 密 | ○ | 0.160 | × | | 176点 | |
| 48 | SI48 | 3区 | VI | 縄文早期 | 土器、剥片 | 1.4×1.32 | 密 | × | | × | ○ | 162点 | |
| 49 | SI49 | 3区 | VI | 縄文早期 | | 1.66×1.2 | 散 | × | | × | | 約90点 | |

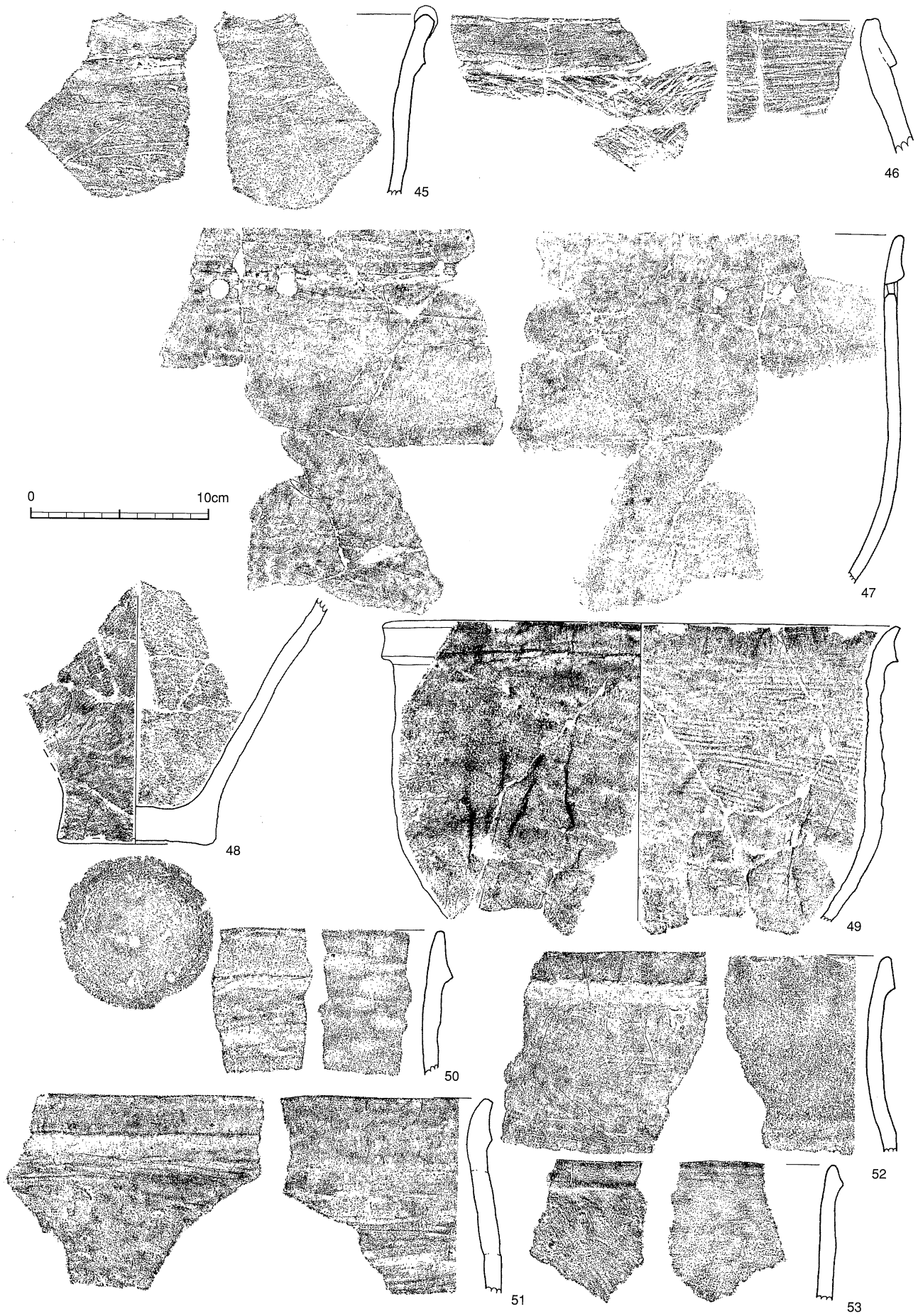
第5節 縄文時代晩期の遺物（土器 第40～43図 表12）

古城遺跡では、概要でふれたように後期から晩期の土器が多量に出土している。これらの土器の中から調査担当者が図化するために選んでおいた土器を概観する限りでは、後期の土器は前半と考えられる沈線文系の土器や中葉～後半の北久根山式の深鉢形土器口縁部などがごく少量、若干多いのは西平式に代表される磨消縄文土器系の口縁部で辛川式併行期・西平式期などがある。しかし、次の太郎迫式・三万田式・御領式などは極めて少ない。特に県内の黒色磨研土器にはよく見られる凹線文間に特徴的な稜線を持つ鳥井原式土器は殆ど見られない。今回図化できなかった土器を観察していないので正確さに欠けるが、存在したとしても少量であろうと考えている。

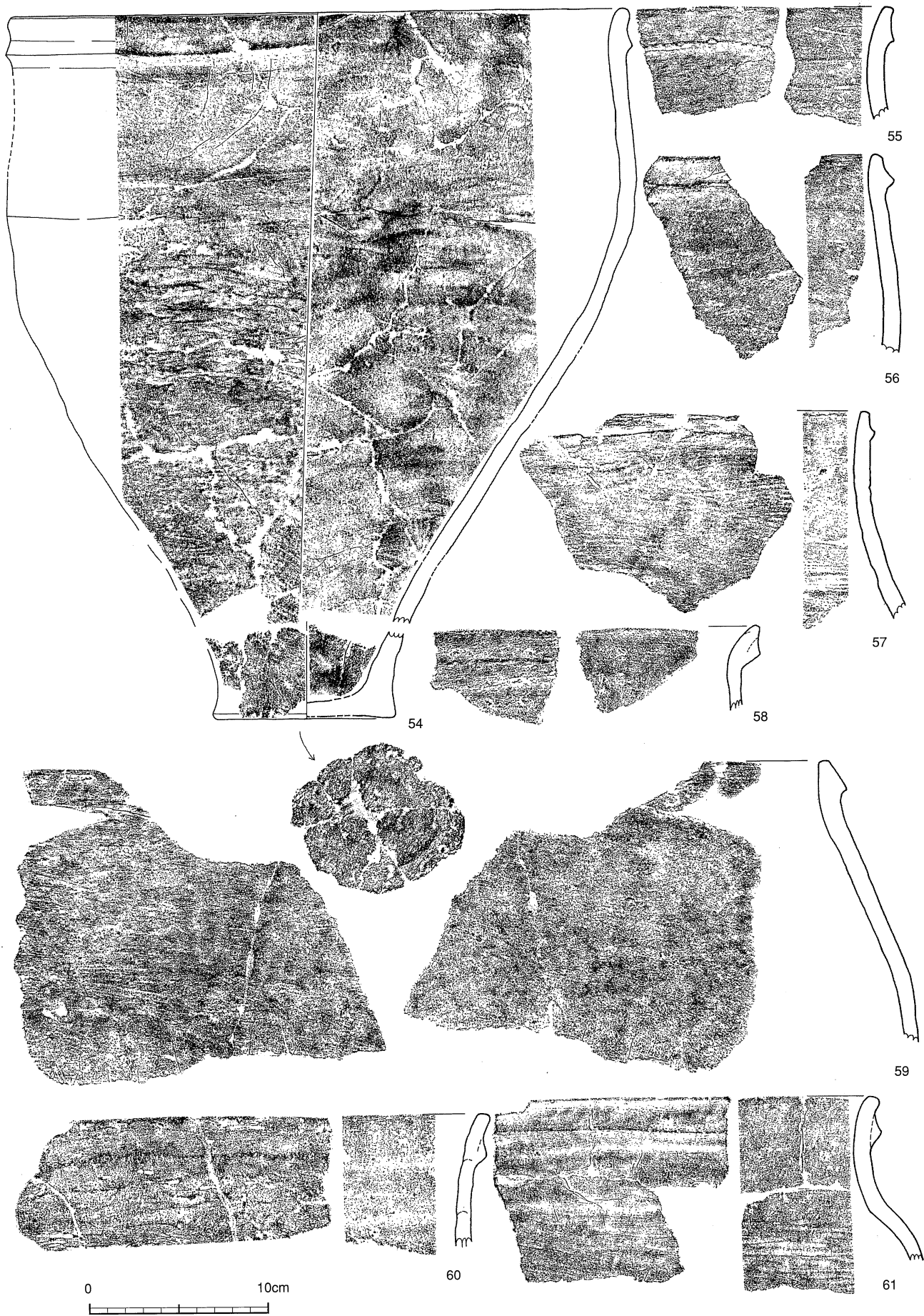
一方晩期の深鉢形土器では、前半の幅広の口縁部に多条の沈線文を施す土器（もしくは無文のまま）が少なく、中葉ぐらゐと考えられる幅の狭い口縁部下端部を断面三角形に肥厚させた土器が多い。その中で明確な貼付突帯を持ついわゆる無刻目突帯文土器は比較的大きな破片が少ないように思われる。また、精製磨研の浅鉢形土器では、前半の口縁部が長く伸び口縁端部の内外に1条の沈線を施すものなどが少なく、肩部の丸く張ったいわゆる黒川式の浅鉢形土器が多く見られる。そこで本報告では、この量的に多い晩期の二者の土器のうち比較的大きな破片を中心に形態ごとに報告することとし、その他の土器は時間の制約上割愛する。では先ず遺構出土の土器、そしてIV層を中心とした包含層出土の土器について述べる。

古城遺跡では縄文時代の竪穴住居跡が1軒検出されている。第40図45は2区の縄文住居S A01出土の土器である。口縁部の下部が断面三角形に肥厚する形態で口唇部にリボン状突起が貼り付けられる。このほか同住居跡からは底部片が出土している。47・48は縄文時代の土坑S C01出土である。47は口縁部下端部が肥厚するもので補修孔と思われる焼成後穿孔が2か所と穿孔しようとして途中で止めたような未貫通孔が1か所見られる。49・54は同S C02出土の深鉢で口縁部が断面三角形に肥厚し口縁部をなすものと肥厚部分が突帯状に見えるものとが出土している。この口縁部に見えるか突帯に見えるかはやや曖昧で感覚的などころもあるが、詳細な出土状況は不明ながら大きな破片の両者が同一遺構から出土していることから両者は供伴する可能性もある。このほか46・50～53・55～67は包含層や弥生時代の竪穴住居跡などから出土した深鉢である。出土層位の分かっているものは殆どIV層出土であるが、59はVI層出土となっている。古城遺跡はV層上面でクラックが多く見られたというのであるいは乾燥した際に落ち込んだものかも知れない。これらの深鉢は口縁部が直口又は外反するものが多くわずかに内傾するものもある。調整は横ナデなどのナデ調整が施されるが、一部にナデの前に貝殻条痕を施すものも見られる。また、明確な突帯を有する65～67のように口縁部内面に後期の沈線の名残のようなごく細い沈線文を巡らすものも見られる。出土状況が不明なのでこれら二者の口縁形態の深鉢が供伴するものか否かは不明である。

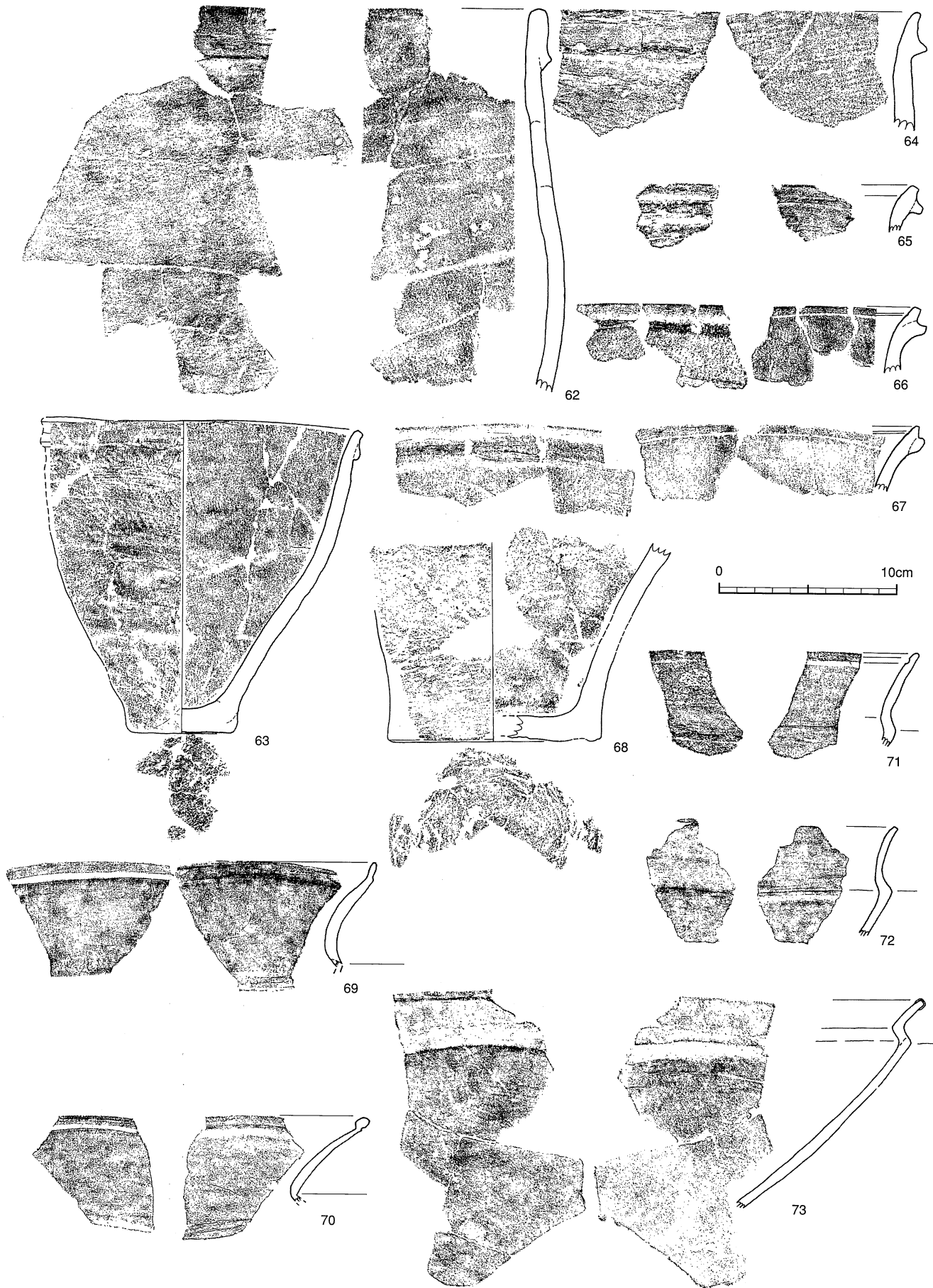
一方、浅鉢も出土状況がはっきりしないためこれらの深鉢とどれが供伴するのか不明だが、個体数が多いのは先述のように76～80・82のような浅鉢である。このほか69～75のような浅鉢もわずかだが出土している。これらの浅鉢はいずれも器壁の内外にミガキが施された精製磨研土器である。一般に69～71が古く76～80・82は新しいとされているが、古城遺跡での先後関係は不明である。



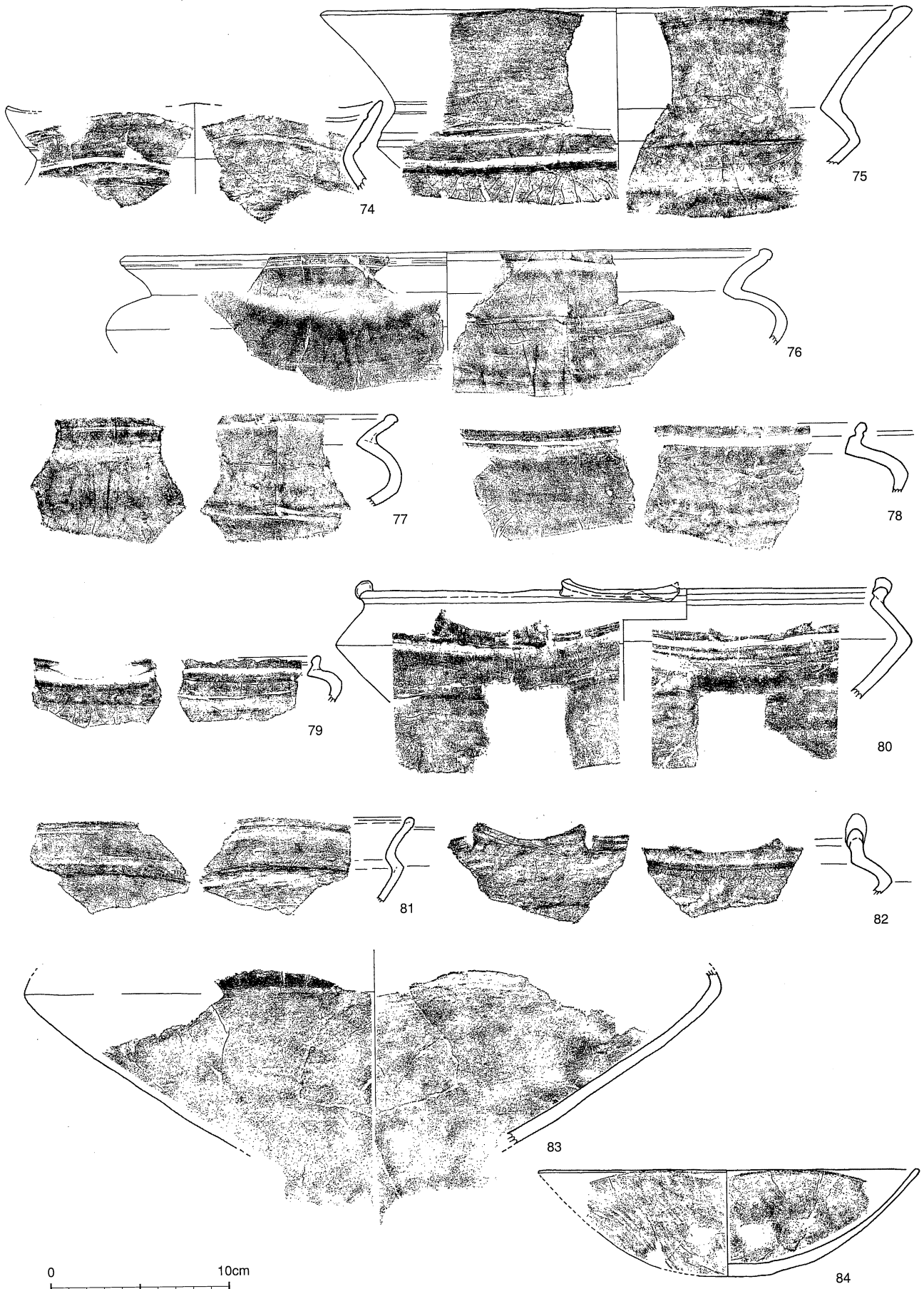
第40図 古城遺跡出土縄文土器実測図(6)



第41図 古城遺跡出土縄文土器実測図（7）



第42図 古城遺跡出土縄文土器実測図（8）



第43図 古城遺跡出土縄文土器実測図(9)

表 12 古城遺跡縄文時代晩期土器観察表

| 報告書番号 | 出土区 | 部位 | 文様 | 調整 | 色調 | | 備考 |
|-------|--------------|-----------|------------------------------|--|----------------|--------------|--|
| | | | | | 外面 | 内面 | |
| 45 | 2区 SA01 | 深鉢口縁部 | 口唇部にリボン状突起、無文の口縁帯 | 内外面とも横ナデ | 黒褐 | にぶい黄褐 | |
| 46 | 2区、3区SA23 | 深鉢口縁部 | 無文の口縁帯 | 外面 口縁帯横ナデ、下部横斜方向の条痕文 内面 横方向の条痕文、板ナデか | 明褐褐 | 赤褐 | |
| 47 | 2区 SC01 | 深鉢口縁～胴部下半 | 無文の口縁帯 | 内外面とも横ナデ | 灰褐 黒褐 | にぶい褐 | 2か所の円形の補修孔、未貫通孔が1か所。外面に部分的にスス付着 |
| 48 | 2区 SC01 | 深鉢底部 | | 外面 斜め又は横方向のナデ、一部貝殻条痕文らしい斜方向の条痕ナデか 内面 横・斜方向の貝殻条痕文の上を部分的に横ナデ 底面 ナデ | にぶい赤褐 | 黒褐 | 内面の一部に炭化物付着、底径 8.5 cm |
| 49 | 2区 SC02 | 深鉢口縁～胴部下半 | 無文の口縁帯 | 外面 横又は斜方向のナデ 内面 横・斜方向の貝殻条痕文の上を部分的に横ナデ | にぶい赤褐 黒褐 | にぶい褐 黒褐 | 外面に部分的にスス付着、内面下部にわずかに炭化物付着 |
| 50 | 2区 | 深鉢口縁部 | 無文の口縁帯 | 内外面とも横ナデ | にぶい褐 にぶい黄褐 | 褐 | |
| 51 | 3区 | 深鉢口縁部 | 無文の口縁帯 | 外面 横ナデ 内面 横方向の貝殻条痕文のち上部ナデ | 暗褐 黒褐 | 褐 | 外面下部にスス付着、内面上端部に炭化物付着 |
| 52 | 2区 IV層 | 深鉢口縁～胴部 | 無文の口縁帯 | 内外面とも横ナデ、外面の一部に横又は斜方向の貝殻条痕文が残る | 黒褐 | 暗灰黄 | 外面にスス付着 |
| 53 | 2区 | 深鉢口縁部 | 無刻目突帯文 | 外面 横ナデ、斜方向のナデ 内面 横ナデ | 黒褐 | 褐 | |
| 54 | 2区 SC02 | 深鉢口縁～底部 | 無刻目突帯文 | 外面 横ナデ、横又は斜方向の貝殻条痕文の上を横ナデ。下部は粗いナデ 内面 横ナデ、一部横方向の貝殻条痕文 底面 ナデ | 明褐 にぶい褐色 | 褐 | 外面上部にスス付着、内面下部に炭化物付着 |
| 55 | 2区 IV層 | 深鉢口縁部 | 無文の口縁帯 | 内外面とも横ナデ | にぶい橙 黄灰 | にぶい褐 褐灰 | 外面にスス付着 |
| 56 | 2区 IV層 | 深鉢口縁部 | 無刻目突帯文 | 内外面とも横ナデ | にぶい黄褐 | にぶい黄褐 | 外面にスス付着 |
| 57 | 2区 | 深鉢口縁部 | 無刻目突帯文 | 外面 突帯横ナデ、下部は横方向の貝殻条痕文の上を横ナデ 内面 横ナデ、下部は横方向の条痕文 | にぶい黄褐 黒 | 黒 | |
| 58 | 3区 IV層 | 深鉢口縁部 | 貼付の無刻目突帯文 | 内外面とも横ナデ | 橙 | 橙 | |
| 59 | 3区 VI層 | 深鉢口縁～胴部 | 無文の口縁帯 | 内外面とも横ナデ | 黒褐 | 暗灰黄 黄褐 | 外面下部を中心にスス付着 |
| 60 | 2区 IV層 | 深鉢口縁部 | 貼付の無刻目突帯文 | 内外面とも横ナデ | にぶい黄橙 にぶい黄褐 | にぶい黄褐 | 外面下部にスス付着 |
| 61 | 3区 SA19 | 深鉢口縁～胴部 | 貼付の無刻目突帯文 | 内外面とも横ナデ | 灰黄褐 黒褐 | にぶい黄橙 黒褐 | |
| 62 | 2区 IV層 | 深鉢口縁～胴部 | 無文の口縁帯風 | 内外面とも横ナデ | にぶい赤褐・橙 橙 | にぶい黄橙・橙 橙 | 外面下部にスス付着 |
| 63 | 2区 SA11+SA13 | 深鉢口縁～底部 | 貼付の無刻目突帯文 | 外面 横ナデ、粗い横ナデ 内面 横ナデ 底面 ナデ | 黒褐 にぶい赤褐 | 黒褐 褐 | 外面上部にスス付着、内面下部に炭化物付着、口径17.5cm、底径5.65cm、器高17.65cm |
| 64 | 2区 IV層 | 深鉢口縁部 | 無刻目突帯文 | 外面 横ナデ 内面 横方向の貝殻条痕文の後一部横ナデ | にぶい赤褐 | 灰褐 | |
| 65 | 2区 SA8 | 深鉢口縁部 | 貼付の無刻目突帯文、内面に細沈線文か | 内外面とも横ナデ | 橙 | 橙 浅黄橙 | |
| 66 | 2区 SA6+SA9 | 深鉢口縁部 | 無刻目突帯文、内面に1条の細沈線文 | 内外面とも横ナデ | 明赤褐 黒褐 | 褐 | |
| 67 | 2区 SA6+IV層 | 深鉢口縁部 | 貼付の無刻目突帯文、内面に1条の細沈線文 | 内外面とも横ナデ | 褐 黒褐 | 褐 | |
| 68 | 2区 IV層+SA9 | 深鉢底部 | 底面に沈線か | 外面 斜方向のナデ、横ナデ 内面 横ナデ 底面 ナデ | 明赤褐 | 明赤褐 | 外面に部分的にスス付着、内面に部分的に炭化物付着、底径約19cm いびつである |
| 69 | 1区 IV層 | 浅鉢口縁部 | 1条の沈線文 | 内外面とも横方向のヘラミガキ | にぶい黄橙 | にぶい黄橙 | |
| 70 | 2区 VI層 | 浅鉢口縁部 | 1条の沈線文 | 内外面とも横方向のヘラミガキ | 黒褐 | 黒褐 | |
| 71 | 3区 | 浅鉢口縁～胴部 | 口縁部内面に1条の沈線文 | 内外面とも横方向のヘラミガキ | にぶい褐 黒褐 | にぶい黄橙 褐灰 | 外面の一部にスス付着 |
| 72 | 2区 VI層 | 浅鉢口縁～胴部 | | 内外面とも横方向のヘラミガキ | 暗灰黄 | 黒褐 灰黄 | |
| 73 | 1区 III層+IV層 | 浅鉢口縁～胴部 | 口唇部にヒレ状突起の剥離痕と思われる土の膨らみ | 内外面とも横あるいは斜方向のヘラミガキ | 黒褐 明赤褐 | 暗赤褐 | 外面に部分的にスス付着 |
| 74 | 2区 SA5+SA6 | 浅鉢口縁～胴部 | 外面頸部の上に1条の沈線文、内面口縁部に1条の浅い沈線文 | 内外面とも横方向のヘラミガキ | 灰黄褐 オリーブ黒 | にぶい橙 褐灰 | 波状口縁 |
| 75 | 2区 IV層 | 浅鉢口縁～胴部 | 頸部にごく浅い2条の沈線文、胴部に1条の浅い沈線文 | 内外面とも横方向のヘラミガキ | にぶい赤褐 にぶい褐 | 褐 黒 | 推定口径33.0cm |
| 76 | 2区 SA8 | 浅鉢口縁～胴部 | 1条の浅い細沈線文 | 内外面とも丁寧な横方向のヘラミガキ | 黒褐 褐灰 | 黒褐 褐灰 | 推定口径36.4cm |
| 77 | 2区 | 浅鉢口縁～胴部 | 1条の浅い細沈線文 | 内外面とも丁寧な横ナデもしくはミガキの風化したもの | 明赤褐 | 明赤褐 | |
| 78 | 2区 SA7+SA14 | 浅鉢口縁～胴部 | 口縁部内外面に1条の沈線文 | 外面 横方向のヘラミガキ 内面 口頸部横方向のミガキ、胴部は横ナデ | にぶい橙 灰褐 | 暗灰黄 黒褐 | |
| 79 | 1区 IV層 | 浅鉢口縁～胴部 | 口縁部内面に1条の段落ち | 外面 横方向の丁寧なヘラミガキ 内面 横方向のヘラミガキ | オリーブ黒 | オリーブ黒 | |
| 80 | 2区 IV層+SA8 | 浅鉢口縁～胴部 | 内面に1条の沈線文、口唇部にリボン状突起 | 外面 丁寧な横方向のヘラミガキ 内面 粗い横方向のヘラミガキ | にぶい赤褐 灰褐 | にぶい赤褐 褐灰 | 推定口径28.6cm |
| 81 | 2区 SA6 | 浅鉢口縁～胴部 | ごく浅い1条の沈線文 | 内外面とも丁寧な横方向のヘラミガキ | オリーブ黒 | 黒褐 | |
| 82 | 2区 SA14 | 浅鉢口縁～胴部 | 口唇部にリボン状突起 | 内外面とも丁寧な横方向のヘラミガキ | 赤褐 褐 | 黒褐 | |
| 83 | 3区 IV層 | 浅鉢口縁～胴部下半 | | 内外面とも横方向のヘラミガキ | 暗赤褐 赤褐 | 暗赤褐 黒褐 | 推定胴部径38.8cm |
| 84 | 2区IV層+3区IV層 | 浅鉢口縁～底部 | | 外面 斜方向の貝殻条痕文の上を斜方向の粗いミガキ 内面 横又は斜方向に粗いミガキ | 暗赤褐 黒褐 | 黒褐 | 外面の一部黒変、推定口径21.2cm、推定器高5.9cm |

第6節 弥生時代以降の遺構と遺物

遺構

遺構としては、住居跡25軒、土坑4基、溝状遺構1条、道路状遺構1条のほか、柱穴が各区から検出された。住居や土坑は弥生時代中期末から古墳時代初頭の時期に、道路状遺構や多くの柱穴が中近世に属すると考えられる。

住居跡は1区の北隅から3区北側部分までの範囲に分布し、細かくは1～4号、5～23号、24・25号の3箇所に分かれる。また、331mから328mあたりのやや緩斜面の標高線に位置し、傾斜のきつい4区では検出されていない。住居は方形を基調とし、14号の70㎡を最大とし、20～30㎡(中型)、10㎡代(小型)に、柱穴は4本あるいは2本となる。主軸は大まかには、1類:西東からやや南に振れるもの(2・4・6・11・16・19・20・22・23)、2類:西東からやや北に振れるもの(5・9)、3類:西東から20近く北に振れるもの(12・13・24・25)の三つに分かれるが、当遺跡最大の14号は15°程度西東から南にずれている。1類は1・2区に、2類は2区南隅に、3類は2区北側から3区にかけて分布する。焼土については掘り込みをもたず床面のみが赤く焼けており10軒の住居跡で確認され、14号の大型住居以外にも5・8・23号など小型のものにも見られる。また、4・5・9・22号では一部に壁帯溝が検出されている。土坑は住居より規模が小さく約1m×約1.5mの長方形を呈し、焼土等も確認されず、出土遺物も少ないが、4号土坑から工字突帯をもつ在地系甕が出土している。7号住居についても規模から見て土坑に含まれる可能性が高い。溝状遺構は1区の中央に等高線に直交して東西に延びている。幅約2m、深さ1mを測る。道状遺構は2区14号住居周辺で硬化面が検出され、幅約2mを測る。柱穴は溝状遺構より北側にのみ分布する。ほかにK・L-10グリッドの2箇所焼土面が確認され、平地式の住居や消失した竪穴住居に伴う可能性もある。

出土遺物

出土遺物としては、遺構内や包含層中から弥生土器、土師器、須恵器、青磁等の陶磁器類、鉄鏃や刀子・鈍などの鉄製品、磨製石鏃・敲石などの石器、管玉などが出土している。

土器

古城遺跡では、26基の遺構から2000点程度の弥生土器が出土しているが、それらの多くは遺構への流れ込みの結果であり、完形に近いものは5点と非常に少ない。このため、形式分類という方式はとらず出土土器を形態・胎土・色調や文様などから時期別に分類しその特徴を記すことにする。遺物は中期末葉から後期前半、後期中葉～後半葉、終末～古墳時代前葉、6世紀代、13世紀代と大きく分かれ、中期末葉から後期前葉の遺物が多くを占めている。

中期末葉から後期前半の遺物として、在地系の甕は、厚手で胎土や色調が特徴的で、口縁部が断面三角形に近いもの(38)、L字をなすもの(82)、口縁部が外反し頸部下に3～4条の突帯で工字突帯をなす(3・83・84・102・104)、沈線になるもの(49)がある。これよりやや薄手で外面を丁寧に仕上げるものがあり口縁部下に刻目突帯を1条付し平底をなすもの(80)、くの字を呈するもの(5・41)がある。ほかに口縁部が内側に張り出す黒髪式の特徴を有し、口縁上面が平坦気味のもの(9・7・71・113)やくの字状をなすもの(2・20・27・36・68・114)、厚手で大型のもの(8)がある。また、くの字に強く屈曲し頸部下に浅い沈線を施すもの(79)、直口する口縁下に刻目突帯をもつ下城式(6・69・95・96)や凹線文が施された瀬戸内系の土器(116～118)も出土している。底部は在地系のものは突出気味

で不安定な平底 (39・40・81・106)、充実した底部 (59)、平底 (97)、やや上げ底気味 (98) や、黒髮式の甕底部としては脚状を呈し外面は細かなハケ目が施される (4・10・18)。壺類は形態や文様など特徴的なものが多く種類は豊富だが出土量としては、甕と比較し圧倒的に少ない。肥後系壺としては胴部中位にある刻目突帯部分のみを確認した (19・45) にすぎず非常に少ない。その他の壺類として、鋤先状口縁の上端に円形浮文をもつもの (26)、比較的薄手で大きく外方に開くもの (67)、口唇部に山形文をもつもの (85)、口縁部が下方に拡張されるもの (86・87)、小型の短頸壺 (74) などが出土している。そのほか複合口縁壺の胴部 (75) や丹塗りの長頸壺 (93)、瀬戸内あるいは中国地方の影響を受けたと考えられる頸部突帯下に沈線及び胴部に複数の櫛描波状文を施すもの (23・24・48・100・101) や胴部上半に数条の沈線が見られるもの (89~91) などとも同時期と考えられる。

後期中葉から後葉では、くの字状の口縁部を持つ甕 (35・77)、小さな平底になる在地の甕 (28)、複合口縁壺 (42~44)、外面ヘラミガキされ円形透かしを有する高坏あるいは鉢の脚部と推定されるもの (119) などあるが量的には少ない。

終末から古墳時代前半の遺物は、甕が、口縁部が外方にのび、丸底を呈するもの (33)、口縁部が長く外方にのび長胴になるもの (109)、やや薄手で外反するもの (53)、タタキを有するもの (120)、布留式の影響を受けたもの (52) があり、在地系甕の底部は尖底 (107・108) となる。

6世紀代としては須恵器杯蓋 (121)、須恵器甕 (122・123) のみで同時期の土師器については確定できなかった。そのほか13世紀代として同安窯系青磁 (125) や東播系こね鉢 (126~128) などが出土している。

このように、出土量からみて本遺跡の中心となる中期末葉から後期前葉では下城式土器などの東九州系、肥後系、瀬戸内系、在地系の粗製甕で構成されているが、時代が下るにつれ土器の出土量は減少している。これに比例し遺構の数も中期末葉から後期前半を中心に営まれ、後期中葉~後半葉以後は僅かな住居で集落を構成していると考えられる。出土遺物からみた各住居の時期は下記のように推定される。

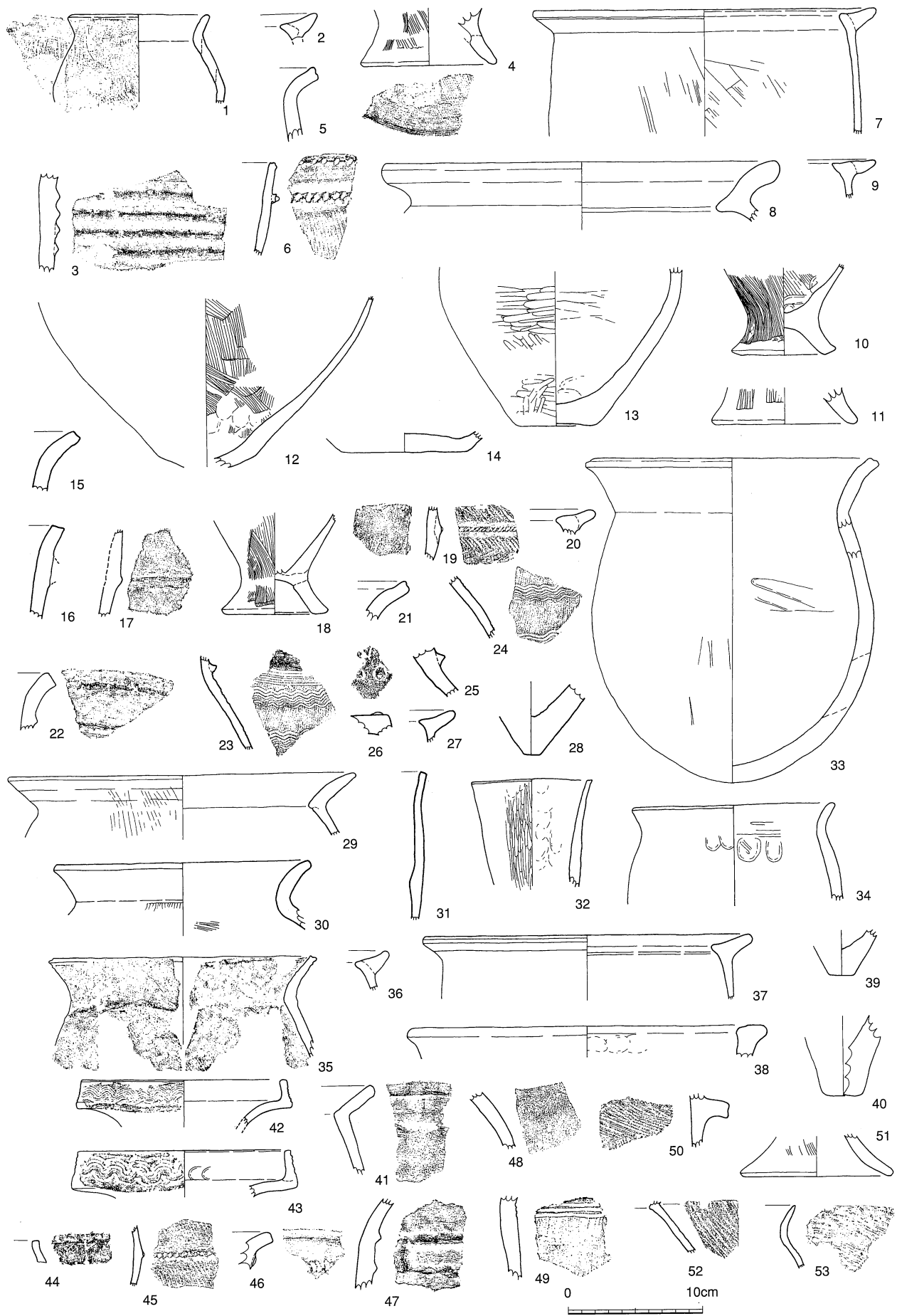
中期末~後期初頭 SA 6・8・10・15?・19・22・23?・24

後期中葉~後葉 SA 7・11・14・16?

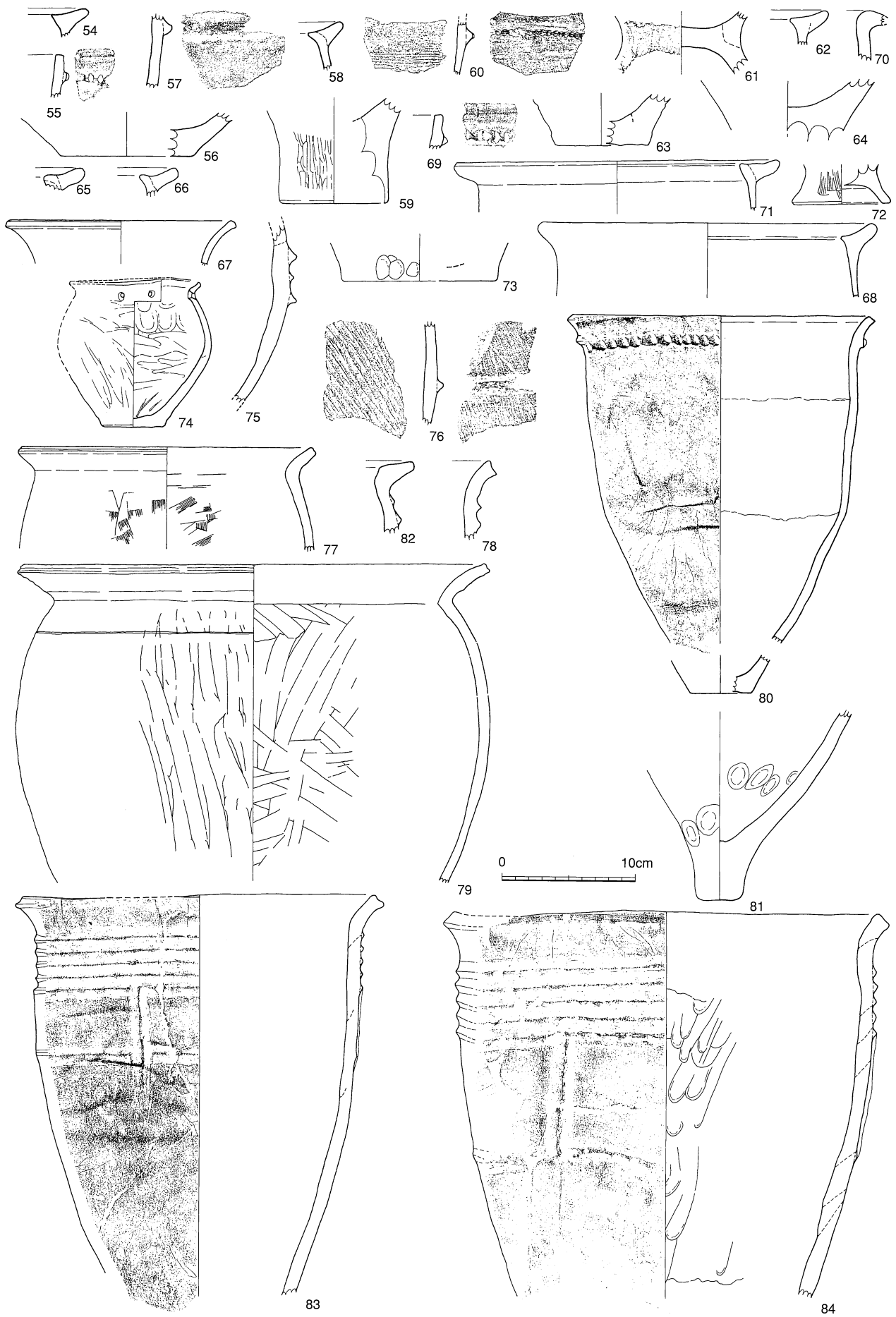
終末~古墳前半 SA 5・9・12

集落は、中期末~後期初頭では限られた箇所重複することなく散漫に9軒±αが分布し、22号・23号や24・25号など同時期と考えられる2軒の住居が主軸をそろえて位置している状況も推定される。後期中葉~後葉および終末~古墳時代前半になると3~4軒に減少し、2区の北側にまとまっていく傾向が認められる。

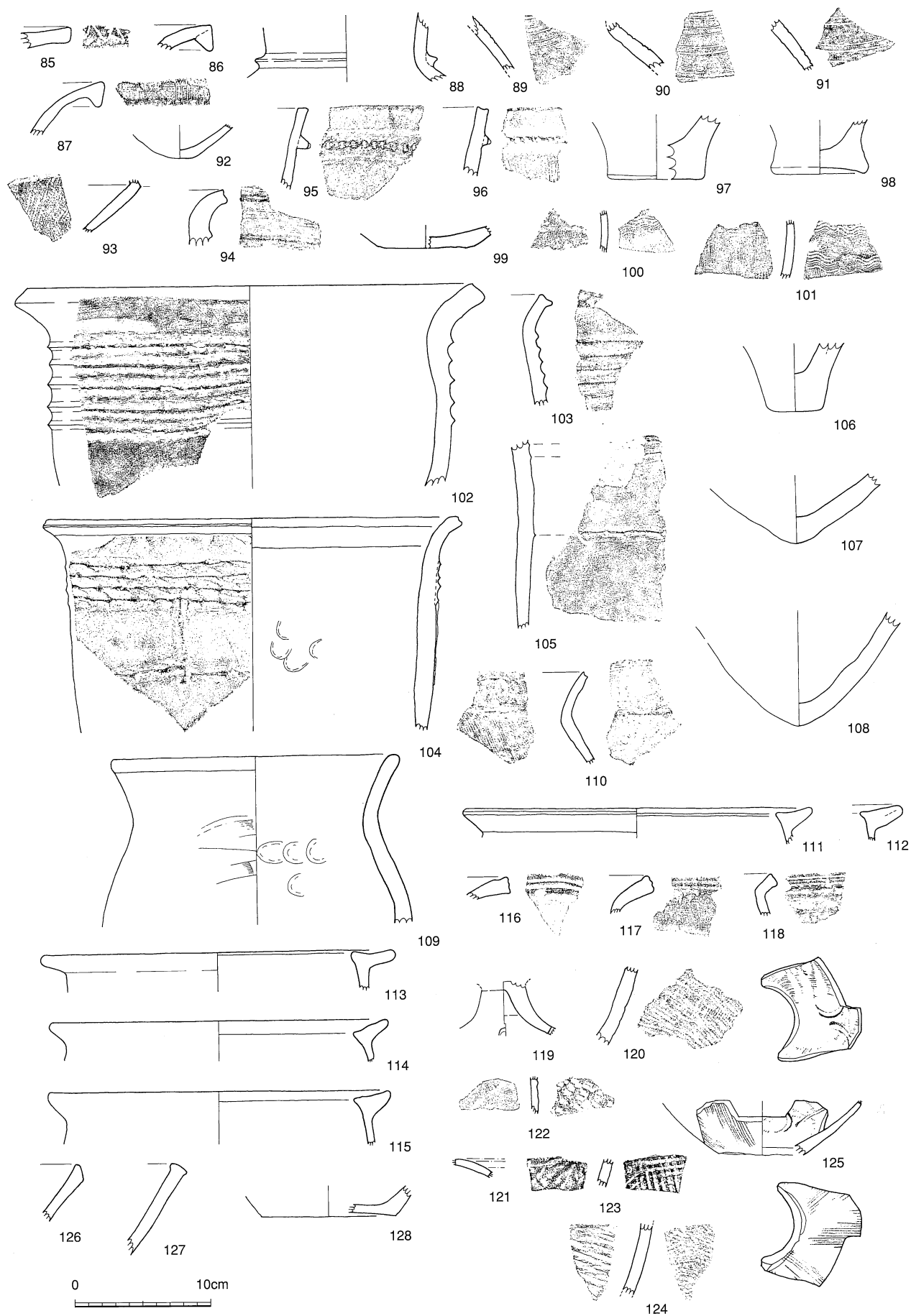
出土遺物や住居の規模からみると、中期末~後期初頭では、規模に拘わらず管玉 (22・23号) や鉄鏃 (24号)、刀子 (19号) を有する住居が存在する。一方後期中葉~後葉では、面積最大の14号住居で多量の土器や鉄鏃・鈍や鉄片のほか、磨製石鏃・その未製品・磨製石斧などの石器も豊富に出土しており住居の優位性や特異性が看取される。なお、磨製石鏃やその未製品については、時期及び住居の規模に関係なく出土しており、各住居で磨製石鏃の製作が行われていたことが考えられる。



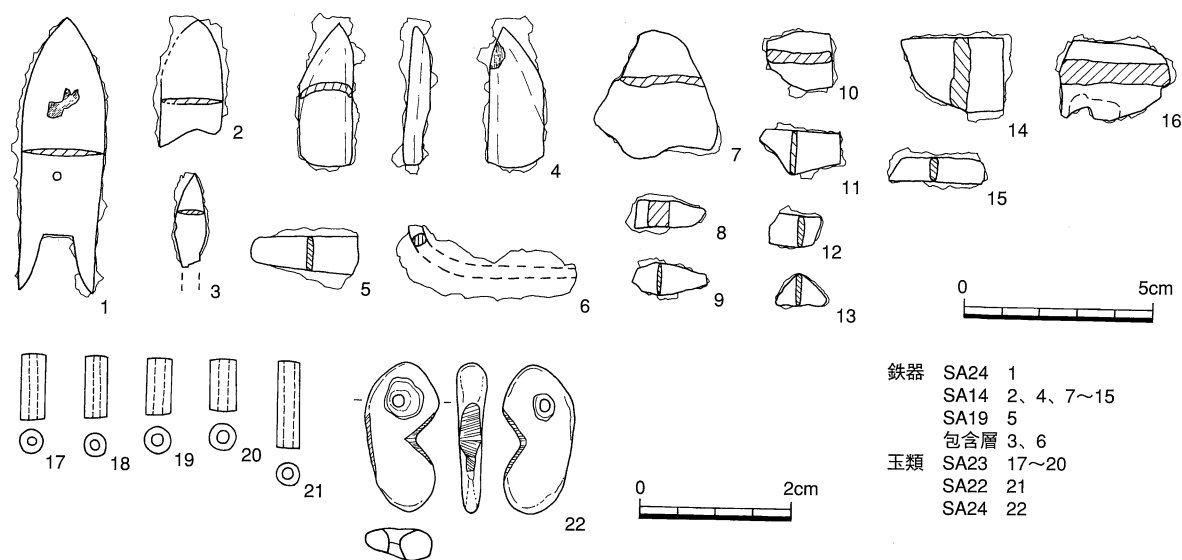
第44图 古城遺跡出土弥生時代以降土器実測図(1)



第45图 古城遺跡出土弥生時代以降土器実測図(2)



第46图 古城遺跡出土弥生時代以降土器実測图 (3)



第47図 古城遺跡出土弥生時代鉄器及び玉類実測図

鉄器 (第47図 1~16)

S A24の第2層より出土し、長さ7.8cm、幅2.2cm、厚さ0.2cmの大型の無茎三角鏃（1）は基部がまっすぐで両端は脚状になり、やや外開きの逆刺状である。中心軸から少しずれたところに直径0.2cmの円形の透かし穴を1つ持ち、一部に木質が残存している。S A14より出土し、長さ3.4cm、幅1.6cm、厚さ0.2cmの小型の無茎三角鏃（2）は基部のえぐりがやや深く両端が脚状になり逆刺状である。片側の脚は短い。3区のIV層より出土し、残存長さ2.5cm、幅0.8cm、厚さ0.2cmの柳葉鏃（3）は鏃身部のみ残存している。S A19からは残存長2.9cm、幅1.0cm、厚さ0.2cmの刀子（5）の柄の部分のみ出土している。S A14より出土した鉈（4）は長さ3.8cm、幅1.5cm、厚さ0.2cmで、身部の断面は刃部と同様の浅い三日月形を呈し、一部に木質が付着している。刃と柄とが機能的に分化していない状態で、刃の研磨を繰り返して短くなっても繰り返し形の変わらない刃がつくられる構造になっていると考える。鉄片はS A14（7~15）と2区の調査区一括（16）から出土している。鉄片の重さが0.3~2.27gと軽いものが大半であるのに対し14は5.78g、16は8.63gと重く、厚みもあるために铸造品の可能性もある。不明鉄器（6）は錆がかなりひどいく不鮮明であるが、観察した結果、比較的新しいものではないかと考える。

玉類 (第47図 14~19)

玉類は住居埋土中から管玉5点、勾玉1点出土している。管玉は碧玉製で17~20が23号住居、21が22号住居出土。17は現存長0.9cm、重さ0.1g、18は現存長0.8cm、重さ0.1g、19は現存長0.75cm、重さ0.1g、20は現存長0.65cm、重さ0.1g、18は現存長1.5cm、重さ1.1gを測る。22は24号住居出土で、黒褐色を呈す極細粒砂岩製で穿孔は両側から行われており現存長1.95cm、重さ0.7g。

表13 古城遺跡弥生時代以降土器観察表

| 報告書 番号 | 出土区 | 遺構 | 器種 部位 | 調 整 | 胎 土 | 色 調 | | 備 考 |
|-----------|-----|------|------------|---|---|---------------|--------------|--------------------------------------|
| | | | | | | 外 面 | 内 面 | |
| 1 | 1区 | SA1 | 壺 口縁~胴部 | 外面 やや斜方向の粗いハケ目の後横方向のナデ 内面 粗い斜・横方向のナデ | 微細な無色光沢粒 4mm以下の柱状黒色光沢粒、 灰白色、白色半透明粒 | 黄褐 暗褐 | 黄褐 | 外面にスス付着 |
| 2 | 1区 | SA1 | 壺 口縁 | 外・内面 横方向にナデ | 1mm以下の柱状光沢粒、灰白色 微細な透明光沢粒を多く含む | にぶい黄褐 黄灰 | 灰黄 | 黒変あり |
| 3 | 1区 | SA3 | 壺 胴部 | 外・内面 ナデ | 5mm大の灰白色粒を数個 2mm以下の黒色光沢粒、 1mm以下の褐・灰白色粒を含む | にぶい褐 | 灰黄褐 | 外・内面に僅かにスス付着 4条突帯 粗製甕 |
| 4 | 2区 | SA4 | 壺 脚部 | 外面 斜方向にハケ目あと横方向にナデ 内面 横方向のナデ | 4.5mm以下の浅黄色粒 1.5mm以下の柱状で黒色 光沢粒、微細な光沢粒 | にぶい黄褐 | にぶい黄褐 | 外面 スス付着の痕跡あり 内面 スス付着? |
| 5 | 2区 | SA1 | 壺 口縁 | 外・内面 横ナデ | 6mm以下の灰白色粒 2mm以下の黒・透明柱状の光 沢粒 | 黒褐 | にぶい褐 | 全体が黒変 |
| 6 | 2区 | SA6 | 壺 口縁部 | 外面 ハケ目あと横ナデ 内面 丁寧なナデ | 3mm大の白色不透明粒 1.5mm以下の白色、 茶褐色、黒色鋭光沢で角柱状の粒 | 黒 明黄褐 | 明黄褐 | 外面 スス付着 内面一部黒変 刻み目突帯 下城式 |
| 7 | 2区 | SA6 | 壺 口縁~胴部 | 外・内面 斜方向にハケ目あと横方向にナデ | 3mm以下の黒く光る柱状を多く含む | にぶい黄褐 | にぶい黄褐 | 外・内面 スス付着 |
| 8 | 2区 | SA6 | 壺 口縁 | 外・内面 横方向のナデ | 2.5mm以下の灰白 1mm以下の半透明、 微細な黒色光沢粒を含む | 灰黄褐 | にぶい黄褐 | 外・内面 うすくスス付着 |
| 9 | 2区 | SA6 | 壺 口縁 | 外・内面 横方向のナデ | 1.5mm以下の灰白色光沢粒、半透明、褐色粒 微細な光沢粒 | にぶい橙 | にぶい橙 | 外・内面全体にスス付着 の痕跡あり |
| 10 | 2区 | SA6 | 壺 脚部 | 外面 横方向のナデ | 1mm以下の柱状の黒色光沢粒、灰白色粒 | にぶい黄褐 | にぶい黄褐 | 外面 赤変? 内面 炭化物付着 外・内面全体に黒変の痕跡あり |
| 11 | 2区 | SA6 | 壺 脚部 | 外面 工具による横ナデの上に縦方向のハケ目 内面 工具による横ナデ | 3mm以下の灰白、黒、光沢のある細粒を含む | にぶい橙 褐灰 | にぶい黄褐 | 全体が黒変している |
| 12 | 2区 | SA6 | 壺 胴部~底部 | 外面 ナデ 内面 ハケ目。指押さえナデ(底面) | 1.5mm以下の灰白色粒、浅黄褐色粒微細な透明光沢 粒を多く含む | にぶい黄褐 | 褐灰 灰黄褐 | 外面 スス付着 全体に黒変、風化気味 |
| 13 | 2区 | SA6 | 壺 胴部~底部 | 外面 横方向のヘラミガキ(上部)、横・縦方向の ヘラミガキ(下部) 内面 粗いナデ(上部)、横方向の指ナデ(下部) | 4mm以下の灰色、褐色、白灰、黒灰の粒 1.5mm以下の黒色光沢粒、微細な透明光沢粒を多く 含む | 橙 黄褐 | 灰黄 黒褐 | 外面 部分的に風化著しい 外・内面 黒変 |
| 14 | 2区 | SA6 | 壺 底部 | 外・内面 ナデ | 4mm以下の褐灰、半透明、黒色、にぶい黄褐色の粒 1mm以下の灰白色粒、光沢粒を含む | にぶい黄褐 | 黄灰 | 外面 スス付着 |
| 15 | 2区 | SA8 | 壺 口縁部 | 外面 横ナデ 内面 横ナデ、ナデ | 5.5mm大の灰色の粒、2.5mm大の灰白色の粒 微細な無色透明、黒色の光沢粒を多く含む | オリーブ黒 | 褐 | 外面 スス付着? |
| 16 | 2区 | SA8 | 壺 口縁 | 外面 横・斜方向のナデ 内面 横方向のナデ | 1mm以下の灰の粒を多数含む | にぶい橙 | にぶい橙 | 突帯(剥離) |
| 17 | 2区 | SA8 | 壺 胴部 | 外・内面 ナデ | 4mm以下の灰白、灰黄、灰褐色、黒色光沢粒を含む | にぶい褐 | にぶい褐 | 内面 上部風化 突帯 |
| 18 | 2区 | | 壺 底部 | 外面 ハケ目、横ナデ 内面 ナデ、横ナデ | 0.1mm以下の黒色、白色の砂粒を多く含む | 灰黄褐 | 黒褐・黒 褐灰 | |
| 19 | 2区 | SA9 | 壺 胴部 | 外面 横ナデ 内面 横ナデ、横ナデの後に社方向にナデ? | 2mm以下の灰白粒、黒褐色、灰褐色の粒 微細な光沢のある透明の粒 | にぶい黄褐 | 橙 | 刻み目突帯 |
| 20 | 2区 | SA9 | 壺 口縁 | 外・内面 横方向のナデ | 2.5mm以下の透明光沢粒、柱状黒色光沢粒、 灰・白・乳白色の粒を多く含む | 浅黄 黄灰 | 浅黄・橙 黒褐 | 外面 黒変ぎみ 内面 赤変? |
| 21 | 2区 | SA9 | 壺 口縁 | 外・内面 横方向のナデ | 1mm以下の灰白、褐、黒色、透明、半透明光沢粒 | にぶい橙 | にぶい黄褐 | 外面 少しスス付着 |
| 22 | 2区 | SA10 | 壺 口縁 | 外・内面 横方向のナデ 口縁に粗いナデ調整あり | 6mm以下の灰白色粒、2.5mm以下の灰色、茶褐色、 黒色光沢、透明光沢、柱状透明光沢粒を含む | にぶい褐色 | にぶい褐色 | 外面 スス付着 黒変 |
| 23 | 2区 | SA10 | 壺 頸部 | 外面 縦方向のハケ目 内面 粗いナデ | 3mm以下のにぶい黄褐、柱状黒色光沢粒、透明光沢 な微細粒を含む | にぶい黄褐 | にぶい黄褐 | 内面 炭化物付着 頸部三角突帯 櫛歯直線文と櫛歯波状文 |
| 24 | 2区 | SA11 | 壺 胴部 | 外面 縦方向のハケ目 内面 ナデ | 2mm以下の柱状黒色光沢粒、透明光沢粒を含む | にぶい黄褐 黒 | にぶい黄褐 | 櫛歯直線文と櫛歯波状文 |
| 25 | 2区 | SA11 | 壺 頸部 | 外面 全体的に風化著しく調整が不明瞭。突帯部分は 横ナデ 内面 横方向に指ナデか | 3.5mm以下の灰白粒、1mm以下の灰褐色、微細な透 明の光沢粒 | にぶい黄褐 | 橙 | 全体的に風化著しい 三角突帯 |
| 26 | 2区 | SA11 | 壺 口縁 | 外・内面 横ナデ | 5mm以下の灰褐色の岩片、4mm以下の不透明の灰白 の鉱物粒、2mm以下の灰白及び灰褐色の砂粒 | 橙 | 橙 | 円形浮文 |
| 27 | 2区 | SA11 | 壺 口縁 | 外・内面 横方向のナデ | 6mm大の灰白色粒、1mm以下の褐色、灰白色、 黒色、透明光沢粒 | にぶい黄褐 | にぶい黄褐 | 一部スス付着 |
| 28 | 2区 | SA11 | 壺 底部 | 外面 縦方向のナデ 内面 ナデ。指押さえ? | 5mm大の褐色 4mm大の灰色粒 3mm以下の灰、褐、淡黄、黒色粒 1mm以下の淡黄、黒色光沢、透明光沢粒 | 黄褐 暗黄 | にぶい黄褐 | |
| 29 | 2区 | SA11 | 壺 口縁~胴部 | 外面 斜方向にハケ目あと横方向にナデ 内面 横方向にナデ | 8mm以下の白色粒を多く含む、2mm以下の灰色、 黒色光沢粒を少し含む | にぶい橙 | にぶい橙 | 外面 一部分にスス付着 黒変 |
| 30 | 2区 | SA11 | 壺? 口縁 | 外面 横方向のナデ。ハケ目の上からナデ 内面 横方向のナデ | 4mm以下の灰白色粒、1mm以下の褐色粒、黒色光沢 粒を含む | にぶい黄褐 にぶい橙 | 灰黄褐 | 外面 一部スス付着 内面 全体的にスス付着 |
| 31 | 2区 | SA11 | 壺 口縁 | 外面 横方向のナデ 内面 ナデ | 4mm大の灰白色粒、2mm以下の灰白色粒を多数含む | にぶい黄褐 | 黄褐 | 外・内面 スス付着 |
| 32 | 2区 | SA11 | 長頸壺 口縁 | 外面 横方向のナデ、縦方向のミガキ 内面 横方向のナデ 指オサエ | 4mm以下の灰白色粒、3mm以下の橙色粒を含む | にぶい黄褐 | にぶい黄褐 | |
| 33 | 2区 | SA9 | 壺 | 外面 丁寧なナデ、横ナデ 内面 ナデ | 3mm以下の灰色、黒色、肌色、褐色、白色、灰白色、 黒色光沢粒、透明光沢粒を含む | にぶい黄褐 黒 | にぶい黄褐 褐黒褐 | 外面 スス付着 内面 炭化物付着 |
| 34 | 2区 | SA12 | 口縁~胴部 | 外面 横・斜方向のナデ 内面 | 2mm以下の灰白、褐色粒 | 橙 | 橙 | 外面 うすらスス付着 |
| 35 | 2区 | SA10 | 壺 口縁~頸部 | 外面 斜方向のハケ目の後ナデ 内面 指押さえの後斜方向のハケ目 | 5mm以下の褐色粒、4mm以下の灰白色粒を含む | にぶい黄褐 | 浅黄橙 | 外・内面 スス付着 |
| 36 | 2区 | SA10 | 壺 口縁 | 外・内面 横方向のナデ | 1mm以下の黒色鋭光沢粒、微細な灰白、 褐色粒を含む | 灰黄褐 | にぶい黄褐 | 外・内面 スス付着 |
| 37 | 2区 | SA10 | 壺 口縁~胴部 | 外面 横方向のナデ 内面 斜方向のナデ、斜方向のハケ目の後、横方向の ナデ | 3mm以下の茶色、2mm以下の黒、茶、褐色粒を多く 含む | 明黄褐 | 明黄褐 | 外面 スス付着 内面 少しスス付着 |
| 38 | 2区 | SA10 | 壺 口縁 | 外面 横ナデ 内面 指オサエ | 3mm以下の灰白、橙、灰、褐色粒 微細な透明光沢粒を含む | にぶい褐 褐灰 | にぶい黄褐 | スス付着 粗製甕 |
| 39 | 2区 | SA10 | 壺 底部 | 外・内面 指ナデ | 3mm以下のにぶい褐色、黒褐色、乳白色の粒 1mm以下の柱状黒色光沢粒、透明光沢粒を含む | にぶい黄褐 | にぶい赤褐 | 粗製甕 |
| 40 | 2区 | SA10 | 壺 底部 | 外面 ナデ 内面 粗いナデ | 7ミリ以下の灰色の粒 3mm以下の褐色、黒色光沢の粒 1.5mm以下の透明光沢の粒を含む | にぶい褐 | にぶい黄褐 | 内面 炭化物付着 粗製甕 |
| 41 | 2区 | SA10 | 壺 口縁~胴部 | 外・内面 斜方向のハケ目の上からナデ。横方向のナデ | 2mm以下の茶、灰白色粒 1mm以下の半透明光沢粒 | 灰黄褐 | にぶい黄褐 | 外面 全体にスス付着 |

| | | | | | | | | |
|----|----|-------------|------------------|--|--|-------------|---------------|---|
| 42 | 2区 | SA10 | 複合口縁壺 口縁～頸部 | 外・内面 横ナデ | 3mm以下の黒褐色及び灰白の砂粒 2mm以下の灰白で光沢のある鉱物粒 微細な透明で光沢のある鉱物粒 | 黄橙 | 黄橙 | 風化している。 一部黒変あり。 柳描波状文 |
| 43 | 2区 | SA10 | 複合口縁壺 口縁～頸部 | 外・内面 横ナデ | 6mm以下の灰褐色、明褐色の岩片 4mm以下の赤褐色、黒褐色の砂粒 微細な透明で光沢のある鉱物粒 | 浅黄橙 | 浅黄橙 | 全体的に風化 柳描波状文 |
| 44 | 2区 | SA10 | 複合口縁壺 口縁部 | ナデと思われるが風化気味 | 3mm以下の黒褐色の砂粒 2mm以下の灰色の砂粒 | 浅黄橙 | 浅黄橙 | 柳描が見えるが全体的に 風化している |
| 45 | 2区 | SA10 | 壺 胴部 | 外面 斜方向の粗いハケ目の後に横ナデ 内面 横ナデ | 3mm以下の乳白色の粒 1mm以下の光沢のある透明な粒、 黒い光沢のある粒 | 暗灰黄 | にぶい黄橙 | 外面 スス付着 内面 炭化物付着 刻目貼付突帯 |
| 46 | 2区 | SA10 | 壺 口縁 | 外・内面 横方向のナデ | 4mm以下の茶褐色の粒 2mm以下の灰色、乳白色、黒褐色の粒 | にぶい褐 | 褐灰 | スス付着痕か 頸部刻目 |
| 47 | 2区 | SA10 | 壺 口縁 | 外・内面 横ナデ | 5mm大の褐と灰の粒、2mm以下の灰・灰白、 1mm以下の黒と透明の柱状の光沢粒を含む | 褐 黒褐 | にぶい赤褐 | 粗製壺 |
| 48 | 2区 | SA10 | 壺 胴部 | 内面 斜方向のハケ目。やや斜方向のナデ | 1mm以下の淡黄・灰・茶色・透明粒を含む | にぶい橙 | 黄褐 | 浅い柳描直線文と 柳描波状文 |
| 49 | 2区 | SA10 | 壺 頸部付近 | 外面 縦（一部横）方向のハケ目の上をナデ 内面 横方向のナデ | 3mm以下の茶、灰白色粒 2mm以下の黒色光沢粒 | にぶい黄褐 | にぶい黄褐 | 外面 全体にスス付着 内面 一部スス付着 3条の沈線 |
| 50 | | SA10 | 壺 胴部 | 外面 横ナデの上を縦方向にハケ目。横ナデ 内面 斜方向にハケ目 | 1mm以下の灰白の細粒を含む | にぶい黄橙 | にぶい黄橙 | 外面 一部黒変 台形突帯 |
| 51 | 2区 | SA10 | 壺 脚部 | 外面 やや斜方向のハケ目。横方向のナデ 内面 横方向のナデ | 1mm以下の褐色粒を含む | にぶい黄橙 | 浅黄 | 外・内面 少しスス付着 |
| 52 | 2区 | SA10 | 壺 頸部 | 外面 斜方向にハケ目 内面 横方向にナデ | 3mm以下の灰白・灰色粒を多く含む | にぶい黄橙 | にぶい橙 | 外面 スス付着の痕跡あり 布留式系 |
| 53 | 2区 | SA10 | 壺 口縁 | 外面 斜方向のタタキの上から縦方向のナデ 内面 横方向のナデ | 6mm以下の黒褐色粒を多く含む 3mm以下の灰・褐色粒を含む | 暗灰黄 | 浅黄 | 外・内面 スス付着 |
| 54 | 2区 | SA16 | 壺 口縁 | 外・内面 横方向のナデ | 2mm以下の柱状で黒色光沢粒 1mm以下の茶褐色粒 0.5mm以下の透明光沢粒を多く含む | にぶい黄橙 黒褐 | にぶい黄橙 黄灰 | スス付着。部分的に黒変 |
| 55 | 2区 | SA18 | 壺 口縁 | 外面 縦方向のハケ目 内面 横方向のナデ | 2mm以下の透明な光沢粒 1mm以下の半透明、灰白色の粒 | にぶい黄橙 | にぶい黄褐 | 外面 スス付着 刻目突帯 下城式 |
| 56 | 3区 | SA19 | 壺 底部 | 外面 不定方向にミガキ 内面 工具による粗いナデ | 5mm以下の黒褐色の粒、4mm以下の灰白の粒 2mm以下の赤褐色の粒 | にぶい黄橙 | にぶい黄橙 | |
| 57 | 3区 | SA19 | 壺 胴部 | 外面 横ナデ。縦ナデの後ミガキ 内面 斜方向の粗いナデ | 2mm以下の灰白色、黒褐色の粒 | にぶい赤褐 | にぶい黄橙 | 貼付突帯 |
| 58 | 3区 | SA19 | 壺 口縁 | 外・内面 横方向のナデ | 1mm以下の灰白色、褐色粒 | 暗灰黄 | 浅黄 | スス付着 |
| 59 | 3区 | SA19 | 壺 底部 | 外面 ミガキ 内面 ナデ | 7mm以下の灰白色、褐色粒。 3mm以下の柱状の黒色光沢粒 微細な透明光沢粒を多く含む | にぶい褐 | にぶい赤褐 | 外面 スス付着 |
| 60 | 3区 | SA20 | 壺 胴部 | 外面 横ナデ。斜方向にハケ目。ハケ目の後に横ナデ。 内面 横ナデ。横方向にハケ目か。 | 9mm以下の灰褐色の礫 6mm以下の灰白で光沢のある粒 | にぶい黄褐 | にぶい褐 | 外面 スス付着 刻目突帯 |
| 61 | 3区 | SA20 | 壺 底部 | 外面 縦方向の板状工具によるナデ（工具痕あり） 内面 斜方向の板状工具によるナデ（工具痕あり） 指頭痕。ナデ | 6mm以下の乳白色の粒 3.5mm以下の灰色の粒 | にぶい橙 | 褐灰 | |
| 62 | 3区 | SA12 | 壺 口縁 | 外・内面 横方向にナデ | 2mm以下の黒色光沢粒、1.5mm以下の褐色粒 1mm以下の灰白色粒、0.5mm以下の透明光沢粒 | にぶい橙 | にぶい橙 | |
| 63 | 3区 | SA12 | 壺 底部 | 外面 粗いナデ 内面 ナデ | 8ミリ以下の灰色、白く光沢のある礫 5.5mm以下の褐色粒 1.5mm以下の黒色の粒 | 橙 にぶい橙 | 褐灰 | |
| 64 | 3区 | SA12 | 壺 底部 | 外・内面 ナデ | 4.5mm以下の灰白粒。 2mm以下の柱状で黒色光沢粒 1mm以下で金色に光る粒 | 灰黄褐 | 褐灰 | 外面 スス付着 内面 炭化物付着 |
| 65 | 3区 | SA22 | 口縁 | 外・内面 横方向のナデ | 2mm以下の白色、黒色光沢粒、 1.5mm以下の透明光沢粒 微細な茶褐色、白色光沢粒を多く含む | にぶい黄橙 黒褐 | にぶい黄橙 | 外面 黒変 |
| 66 | 3区 | SA22 | 口縁 | 外・内面 横方向のナデ | 2mm以下の灰白、褐、黒色粒 1mm以下の黒色光沢粒 | にぶい橙 | にぶい橙 | 外面 全体的にスス付着 内面 うすくスス付着 |
| 67 | 3区 | SA22 | 壺 口縁～頸部 | 外面 横ナデ 内面 ミガキか | 1mm以下の褐色、赤色の砂粒を含む | 浅黄橙 | 浅黄橙 | |
| 68 | 3区 | SA22 | 壺 口縁 | 外・内面 横方向のナデ | 2.5mm以下の柱状黒色光沢粒、 2mm以下の茶褐、鈍灰色の粒 微細な透明光沢粒を多く含む | 明黄褐 褐灰 | にぶい黄橙 褐灰 | 部分的に薄い黒斑 |
| 69 | 3区 | SA23 | 壺 口縁 | 外・内面 横ナデ | 5mm程度の灰白粒 灰白の1mm以下の微粒 | にぶい褐 | にぶい黄褐 | 口唇部付近少く黒変。 全体的に薄く黒変。 刻目突帯 |
| 70 | 3区 | SA23 | 壺 口縁部 | 外面 粗い横ナデか 内面 丁寧なナデか | 3mm以下の灰白及び黄灰の粒 1mm以下の黒色光沢の粒 | にぶい黄褐 | にぶい黄褐 | |
| 71 | 3区 | SA23 | 壺 口縁 | 外面 粗い横方向のナデ 内面 横方向のナデ | 2mm以下の褐色粒 1mm以下の黒灰褐色粒 | 明黄褐 | 明黄褐 | 外・内面 スス付着 |
| 72 | 3区 | SA23 | 壺 脚部 | 外面 ナデ 内面 横ナデ | 5mm程度の灰白粒1コ 2mm以下の灰白・灰・褐の粒 | にぶい黄橙 | にぶい黄 | 全体的にスス付着 粘土のつなぎ？あり |
| 73 | 3区 | SA23 | 壺 底部 | 外面 ミガキ風ナデ 内面 ミガキ風ナデ | 4.5mm以下の灰色の粒 3mm以下の赤褐色、黒褐色の粒を含む | 黄灰 | | 外・底面 粘土のつなぎ 目あり |
| 74 | 3区 | SA24 | 壺 口縁～底部 | 外面 縦・横・斜方向のミガキ 内面 指ナデ。ミガキ。工具痕あり | 3mm以下の灰白色、黒色粒 2mm以下の赤褐色粒 | 黄橙 | 黄橙 | 頸部に2箇所穿孔 |
| 75 | 3区 | SA24 | 壺 胴部 | 外面 粗いナデ。横ナデ。斜方向に粗いナデ。 内面 斜方向にナデ | 6mm以下の灰白粒、3mm以下の灰褐色、赤褐色粒 1mm以下の透明で光沢のある粒 | 褐灰 | にぶい褐 | 外面 全体的にスス付着 内面 一部炭化物がみら れる3条の三角突帯 |
| 76 | 3区 | SA24 | 壺 胴部 | 外面 横方向にナデ。斜方向にハケ目。 内面 斜方向にハケ目 | 7mm以下の白色、5mm以下の粉っぽい白色（軽石？） 2mm以下の灰色の粒を多く含む | にぶい橙 | にぶい橙 | 貼付突帯 |
| 77 | 3区 | SA24 | 壺 口縁～胴部 | 外面 横ナデ。単位不明瞭だがハケ目。その後ナデか。 内面 横方向のハケ目？単位不明瞭だがハケ目 | 5mm大の灰白粒1コ 2mm以下の灰白の粒を多く含む | にぶい黄橙 黒褐 | 暗灰黄 黒褐 | 全体的に黒変している |
| 78 | 3区 | SA24 | 壺 口縁 | 外・内面 横方向のナデ | 3mm以下の灰色粒 2mm以下の褐色、黒色光沢粒を含む | にぶい褐 | 灰黄褐 | 突帯 粗製壺 |
| 79 | 3区 | SA24 | 壺 口縁～胴部 | 外・内面 横方向のナデ | 7mm以下の灰白色粒、4mm以下の白色粒、 2mm以下の白色、柱状黒色粒、微細な光沢粒を多く含む | 明褐色 | にぶい黄橙 | 外・内面 黒変 頸部下に浅い沈線 |
| 80 | 3区 | SA24 十四層 | 壺 口縁～底部 | 外面 丁寧なナデ。斜方向のミガキ | 2mm以下の灰色の砂粒が多く見られる | 黒褐 にぶい褐 | にぶい褐 | 外面スス付着 内面 炭化物付着 刻目突帯 粗製壺 |
| 81 | 3区 | SA24 | 壺 胴部～底部 | 外面 縦方向の粗いナデ。縦方向にミガキ 内面 粗いナデ | 7mm以下の灰褐色の粒、5mm以下の灰白の粒 2mm以下の柱状黒色光沢粒を含む | 褐 | 褐 | 外面 一部スス付着 内面 炭化物付着 粗製壺 |
| 82 | 3区 | SA25 | 壺 口縁～胴部 | 外面 横方向にナデ 内面 ナデ | 4mm以下の褐色粒 2mm以下の白色、柱状黒色光沢粒 1mm以下の透明光沢粒を多く含む | にぶい赤褐 | にぶい赤褐 | 外面 黒変。一部にスス 付着の痕跡あり 粗製壺 |
| 83 | 4区 | SC4 | 壺 口縁～底部 付近 | 外面 ナデ 内面 横方向にナデ | 6mm以下のにぶい褐色の石粒 1mm前後の黒色光沢粒や微細な茶褐色の砂粒を含む | にぶい褐 | にぶい褐 | 外面 全体にスス付着 内面 黒く変色している 工字突帯 |
| 84 | 4区 | SA25 | 壺 口縁～胴部 | 外面 横ナデ。縦方向に工具ナデ。縦方向にナデ。 内面 斜方向に指ナデ。所々斜方向に工具ナデ。 | 8mm以下の濁白色粒、6mm以下の青みがかった灰色粒、 5mm以下の灰色粒、 4mm以下の薄茶色粒、透明、柱状の光沢粒を多く含む | 赤褐 | にぶい赤褐 極暗赤褐 | 外面 薄く黒変 内面 黒変、炭化物付着 工字突帯 |

| | | | | | | | | |
|-----|----|------|-------------|---|---|---------------|--------------|------------------------------------|
| 85 | 2区 | | 壺口縁 | 外面 ナデ 内面 粗いナデ | 5mm以下の灰色の粒 4mm以下の橙の粒 | にぶい橙 | 橙 | 口唇部に山形文 |
| 86 | 2区 | | 壺口縁 | 外・内面 横ナデ | 3mm以下の灰白の光沢のない好物料 1mm以下の透明な光沢のある鉱物粒及び赤褐色の砂粒 | にぶい橙 | にぶい黄橙 | |
| 87 | 3区 | IV層 | 壺口縁 | 外・内面 ナデ | 2mm以下の黒色、灰褐色の粒 微細な光沢粒を含む | 橙 | にぶい橙 | 拡張部に縦方向の沈線 |
| 88 | 3区 | IV層 | 複合口縁壺頸部 | 外面 横方向のナデ 内面 丁寧なナデ | 2.5mm以下の赤色の岩片? 灰褐色、赤褐色の砂粒 2mm以下の黒色で光沢があり、1.5mm以下の灰白で光沢があり、1mm以下の半透明で光沢のある鉱物粒 | 橙 | 橙 | 外面 スス付着 頸部三角突帯 |
| 89 | 3区 | IV層 | 壺胴部 | 外面 縦方向にハケ目状のナデの後沈線、その後斜方向のナデ 内面 丁寧なナデと思われる | 6mm以下の灰白で不透明の光沢のある粒 2mm以下の赤褐色の砂粒 | にぶい褐 | にぶい褐 | 内面 一部剥離。部分的に風化している |
| 90 | 3区 | | 壺頸部~胴部 | 外面 斜方向のハケ目状のナデの後沈線、その後横方向及び斜方向に丁寧なナデ? 内面 横方向に丁寧なナデ | 3mm以下の灰白の粒や1mm以下の透明で光沢のある粒及び赤褐色の砂粒を含む | 灰黄褐 | にぶい褐 | 数条の沈線 |
| 91 | 3区 | IV層 | 壺胴部 | 外面 縦方向にハケ目状のナデの後沈線、その後斜方向のナデ 内面 丁寧なナデと思われる | 3~4mm大の灰・黒褐色粒を3個 2mm大の乳白・淡黄色粒 1mm以下の乳白・淡黄・褐色粒 | にぶい黄橙 | 浅黄 暗灰黄 | 数条の沈線 |
| 92 | 3区 | IV層 | 壺底部 | 外・内面 丁寧なナデ | 2mm以下の黒色・褐色・茶色・肌色等の粒、ガラス質に光る細粒 | 灰黄褐 | にぶい黄褐 | 全体的にナデ調整は丁寧であるが、器面に凹凸は残っている |
| 93 | 3区 | | 長頸壺屈曲部 | 外面 横方向のミガキ 内面 横方向のナデ。ハケ目の後に部分的に横ナデ | 1mm以下の黒色・褐色・灰白粒、透明で光沢のある粒 | 褐 | 灰 | 丹塗り |
| 94 | 2区 | IV層 | 壺(突帯付)口縁 | 外面 工具による横ナデ 内面 工具による横方向のナデ | 5mm大の灰色の粒 3mm以下の黒のガラス上の粒を多数 1mm以下の灰白の粒を含む | 明赤褐 | 褐灰 | 内面 全体が黒変 |
| 95 | 2区 | | 口縁~胴部 | 外面 斜方向のハケ目の後、ナデ 内面 指ナデ。斜方向のナデ | 9mm以下の薄青灰色の粒や6mm以下の赤褐色の粒 4mm以下の乳白色光沢粒 2mm以下の透明・黒色光沢粒を多く含む | にぶい褐 | にぶい黄褐 灰黄褐 | 内面 黒変。スス付着痕 刻目突帯(工具痕?) 下城式 |
| 96 | 1区 | IV層 | 壺口縁部 | 外面 横ナデ。ナデの後ハケ目? 内面 ハケ目?の後、丁寧なナデ | 0.5mm以下の白色、茶褐色、白色半透明の粒 | にぶい褐 | 黒褐 | 外面 スス付着 内面 黒変 刻目突帯 下城式 |
| 97 | 3区 | IV層 | 壺底部 | 外面 ハケ目、一部指なで | 4mm以下のにぶい黄褐色粒 2mm以下の灰白色、透明黒色粒、透明白色粒を含む | 橙 | にぶい黄褐 | 内面 炭化物付着 |
| 98 | 2区 | | 壺底部 | 外面 ナデ、横方向のナデ 内面 縦方向の指押さえナデ | 2mm以下の柱状の黒色光沢粒、灰白色粒 微細な透明光沢粒を多く含む | にぶい黄橙 | にぶい褐 | 外面 一部スス付着か |
| 99 | 2区 | SA7 | 壺胴部 | 外面 風化にて調整不明。ミガキか 内面 丁寧なナデ | 3mm以下の灰・灰白・橙・灰黄色・黒色光沢粒を含む | 明赤褐 | 黒褐 | 内面 内黒 |
| 100 | 3区 | IV層 | 壺胴部 | 外面 縦方向のハケ目の後、樹描波状文あり 内面 縦・横方向に工具痕あり | 5mm以下の灰白の粒や4mm以下の柱状黒色光沢粒 1.5mm以下の透明光沢粒を含む | 褐灰 にぶい黄橙 | にぶい黄橙 | 外面 黒変あり 樹描波状文 |
| 101 | 3区 | IV層 | 壺胴部 | 外面 指頭痕あり 内面 縦・横方向に工具痕あり。指頭痕あり | 4mm以下のにぶい黄褐の粒 微細な透明光沢粒を含む | にぶい黄橙 | にぶい黄褐 | 内面 炭化物付着 樹描波状文 |
| 102 | 3区 | | 壺口縁~胴部 | 外面 横ナデ。縦方向のナデ 内面 横ナデ。ナデ | 5mm以下の灰白色、灰色の粒 2mm以下の黒色鋭光沢で角柱状の粒 | にぶい黄褐 | 赤褐 | 外面 わずかにスス付着 5条突帯 粗製 |
| 103 | | | 壺口縁 | 外面 横方向のナデ 内面 ナデ | 5mm以下の灰白色粒 2mm柱状の黒色光沢粒、透明光沢粒を含む | にぶい赤褐 | 褐色 | |
| 104 | 4区 | SC4 | 壺(突帯付)口縁~胴部 | 外面 横方向のナデ。斜方向のハケ目 内面 横方向のナデ。 | 5mm大の灰白、褐色粒 3.5mm以下の黒色光沢粒 3mm以下の灰・褐、灰白色粒 | 黒褐色 | 褐 | 外面 スス付着 5条突帯 粗製 |
| 105 | 4区 | SC4 | 壺胴部 | 外面 横ナデ。縦方向のナデ。 内面 斜方向のナデ | 3mm以下の黒色鋭光沢で角柱状の粒 2mm以下の灰白色、透明な光沢のある粒 | 明褐 | にぶい褐 | 内面 全体スス付着 工字突帯 粗製 |
| 106 | 2区 | | 壺底部 | 外面 縦ナデのようであるが風化著しい 内面 粗いナデ | 2mm以下の黒色光沢で角柱状の粒、半透明の光沢のある粒、黒褐色の粒 1mm以下の灰褐色 | 灰黄褐 | 黒褐 | 外面 全体的にスス付着 工字突帯 粗製 |
| 107 | 2区 | | 壺底部 | 外面 粗いナデ 内面 ナデ。指押さえあり | 3mm以下の灰白色、褐色、乳白色の粒 2mm以下の柱状黒色光沢粒、透明光沢粒を含む | 褐 | にぶい褐 | 外・底面 風化著しい 内面 炭化物付着 粗製 |
| 108 | 3区 | | 壺胴部~底部 | 外面 ナデ 内面 ナデ、粗いナデ | 3.5mm以下の褐色の粒 1.5mm以下の乳白色、透明光沢粒を含む | にぶい褐 にぶい黄橙 | にぶい褐 | 外面 一部スス付着 |
| 109 | 2区 | | 壺口縁~胴部 | 外面 横ナデ。単位ははっきりしないがハケ目か。 内面 横ナデ。指頭痕あり | 2mm以下の灰白の粒、黒・透明の柱状のガラス上の粒を含む | にぶい褐 | 灰黄褐 | 外面 全体が黒変 |
| 110 | 2区 | SA12 | 壺口縁~胴部 | 外面 ナデ。ハケ目 内面 ハケ目 | 8mm以下の灰黄、灰褐、褐色、黒色粒 微細な透明光沢粒を含む | 黒褐 | 浅黄橙 灰黄褐 | 外面 粘土継目 口縁スス付着 |
| 111 | 2区 | | 口縁 | 外・内面 ナデ | 2mm以下の黒色光沢粒 0.5mm以下の褐色、灰白色粒 | 浅黄橙 | 浅黄 | |
| 112 | 2区 | IV層 | 口縁 | 外・内面 ナデ | 微細な灰白、褐、黒色粒 | にぶい黄橙 | にぶい黄橙 | 外・内面 スス付着 |
| 113 | 3区 | | 口縁 | 外・内面 ナデ | 4mm以下の褐色粒や2mm以下の乳白色粒 1.5mm以下の黒色光沢粒 微細な透明光沢粒を多く含む | 灰黄 | 浅黄橙 | 外・内面 スス付着 |
| 114 | 3区 | IV層 | 壺口縁 | 外・内面 横方向のナデ | 2mm以下の黒色粒、茶褐色粒、柱状の黒色光沢粒 1mm以下の透明光沢粒を含む | 浅黄橙 黒褐 | にぶい黄橙 | |
| 115 | 3区 | IV層 | 口縁~頸部 | 外面 横方向のナデ 内面 横方向のナデ。風化しているがナデと思われる | 2mm以下の白色透明粒、黒色柱状粒 1mm以下の黒、乳白色、灰色を含む | 浅黄 | にぶい黄褐 | 外面 部分的にスス付着 内面 部分的にスス付着 黒変あり |
| 116 | 2区 | IV層 | 壺口縁部 | 外面 横ナデ 内面 丁寧な横ナデ | 2mm以下の黒い粒 1mm以下の白色粒、茶褐色粒、半透明の光沢のある粒 | 黒褐 | にぶい黄褐 | 外・内面 スス付着 |
| 117 | 2区 | IV層 | 壺口縁部 | 外・内面 横ナデ | 2mm大の黒曜石 0.5mm以下の無色透明光沢、黒色光沢の粒 | 黒 | にぶい黄橙 | 外面 スス付着 凹線文 瀬戸内系 |
| 118 | 2区 | IV層 | 壺口縁部 | 外・内面 横ナデ | 2mm以下の灰褐色、灰白色の粒 | にぶい黄橙 | 明黄褐 | 凹線文 瀬戸内系 |
| 119 | 2区 | | 高杯? 脚部 | 外面 縦方向にヘラミガキ 内面 丁寧なナデ | 2mm以下の黒褐色、茶褐色の粒 | 浅黄 オリーブ黒 | 橙 浅黄橙 | 外面 ススわずかに残る 凹線文 瀬戸内系 |
| 120 | 2区 | IV層 | 胴部 | 外面 斜方向のタタキ 内面 ナデ | 8mm大の褐色粒を少量と3mm以下の褐、灰白粒を多数含む | 橙 | にぶい黄橙 | |
| 121 | 2区 | IV層 | 蓋体部 | 外・内面 回転ナデ | 1~2mm大の淡黄色粒 微細な透明光沢粒 | にぶい黄橙 | 灰 | 外面 一部スス付着 |
| 122 | 2区 | | 胴部 | 外面 格子目叩き 内面 ナデ | 微細な粒 | 灰 | にぶい黄褐 | |
| 123 | 2区 | SA11 | 壺胴部片 | 外面 格子目タタキ 内面 平行タタキ | 精良 | にぶい黄褐 | 灰白 | 外面 少しスス付着 |
| 124 | 2区 | | 胴部 | 外面 平行タタキ(不定方向) 内面 平行タタキ(斜方向) | 2mm以下の灰白の粒を含む | 灰 | 暗灰黄 | |

第7節 石器

出土石器は530点について図化・掲載している。未図化資料は、チャート製剥片・碎片が大半を占め、膨大な量を占めている。石器の掲載は、整理の都合上、以下のようになっている。

- 1～372 : アカホヤ火山灰上位の包含層(Ⅲ・Ⅳ層)・遺構出土分
- 373～489 : アカホヤ火山灰下位の包含層(Ⅵ・Ⅶ層)・遺構出土分
- 490～530 : 攪乱や表面採集など、出土位置の明確でないもの

1～372は、縄文時代早期の遺物も含まれる可能性があるものの、土器から推して縄文時代後期から晩期、弥生時代中期から後期に相当しよう。373～489は縄文時代早期に相当する。各石器の出土位置・出土層位については、表14の計測表に明記している。

アカホヤ火山灰上位の包含層(Ⅲ・Ⅳ層)・遺構出土分

1～54は磨製石鏃である。平面形は紡錘形や三角～五角形、長楕円形がある。基部はゆるく凹むものが多い。整形に伴う研磨は様々で、刃縁は明確に研ぎ出されている。重量は、最も軽量な0.5gから最も重量のある3.9gのもの、8倍近い開きがある。石材は、赤色頁岩・緑泥片岩・黒色頁岩(オリーブ色頁岩)がある。赤色頁岩製は2・45の2点で、大半は緑泥片岩・黒色頁岩(オリーブ色頁岩)製である。

55～123は磨製石鏃の素材あるいは未製品である。製作工程に応じて、石器形態にバリエーションがある。素材剥片は横長剥片が多い。原材の節理構造を活かして剥離されたものが多い。

124～126は磨製石鏃素材剥片が剥離された石核である。外縁から中心に向かい、節理を活かしながら、素材剥片が剥離される。磨製石鏃の未製品・石核ともに、緑泥片岩・黒色頁岩(オリーブ色頁岩)製で占められる。赤色頁岩製のものはない。

127～135・165・171はⅢ・Ⅳ層中から出土した打製石鏃である。チャート製で小形のものが多い。136～164・166～170・172～182は、アカホヤ降灰以後に形成された遺構の埋土中から出土した打製石鏃である。大半はチャート製で、一部、姫島産黒曜石や安山岩、水晶が利用される。平面形態は様々にあり、重量は0.3～2.0gまでのものが多く、一部、3.0gを超えるものがある。

183・184は尖頭器である。いずれも流紋岩製である。183は使用によるものか、先端から剥離がある。基部は欠損でなく、打面を残す。素材剥片が縦長に近い不定形剥片であったとわかる。184は基部側を欠損する。右側面の先端側には大きく平坦面が残る。最終的に尖頭部を作出予定であり、何らかのアクシデントで基部が欠損、廃棄されたものであろう。

185～200は打製石鏃の未製品と推定されるもの、201～214・221は削器、215～217は楔形石器である。打製石鏃未製品・削器・楔形石器には、いくつか、器種分類が明確でないものが存在した。

打製石鏃未製品と推定されるものには製作の各工程の資料がある。191・192・198・199などは、かなり早い工程の資料である。194の裏面は稜の一部が摩滅している。189は基部付近に突出部が残ることから未製品とした。188などととも、製作の最終工程であろう。

削器は、チャート製のものと、安山岩・凝灰岩製のものが半数ずつ程度ある。201は石鏃未製品の可能性が残る。210・213は打製石斧に多い石材製であり、打製石斧の調整剥片などを削器の素材とした可能性がある。211は超大形の削器で、刃部の作出は粗い。214は、下端に刃部が作出される。正面右の

剥離は整形に伴うものである。

215～217は典型的な楔形石器である。216は石鎌未製品の可能性が残る。

218～220は石匙である。黒曜石製は小さく、チャート製は大形である。刃縁は、218・219が直線的で鋭く、220は搔器の刃部に似て、面的である。220は、つまみの作出も弱い。

222～228は石錐、229～234は搔器である。すべてチャート製。228は石錐と搔器、両方の機能をあわせもった可能性がある。

235・236は黒曜石製の縦長剥片である。これらのほか、図示していないが、チャート製剥片には様々な形態がある。237はチャート製の微細剥離ある剥片である。縦長剥片を素材とする。

238～265は石核である。243は黒曜石、254は安山岩、255は凝灰岩製であるほかは、すべてチャート製である。243は礫面を打面とし、かなり小形の剥片が剥離されたものである。254・255からは、大形の不定形剥片が剥離される。チャート製のものは、厚みのある剥片素材のものが多い。縦長に近い不定形剥片が剥離される。

266は石器全体の一部しか残っていない。ゆるい凹面はやや摩滅しており、図中トーン部分には黒色の付着物がある。

267は黒曜石の原石である。礫面の特徴から佐賀県伊万里市の腰岳産のものと思われる。正面に数回の剥離痕があり、試し割りでもしたのか。

268～273は敲石、274～277は磨石である。268・269はチャート製。268は残核を転用したものである。269は敲打の衝撃で剥落が生じている。272はゴルフボール状の礫を素材とし、全面に敲打痕が残る。271は棒状の礫素材で、端部が剥落する。270・273は楕円礫を素材とし、周縁部に顕著な敲打痕、正面の平坦面にわずかな敲打痕が残る。

278～280は砥石である。278・279は扁平、280は大形の楕円礫を素材とする。278は表裏面ともに顕著な磨面をもち、光沢がある。右側面にもゆるい磨面がある。279も表裏面ともに顕著な磨面をもつ。とくに表面には線状の擦痕がある。裏面は濃い褐色に変色している。280は表裏面に磨面がある。

281はゆるい凹面をもつ。明確に使用痕と言える部分は見当たらない。石皿か。

282～362は打製石斧である。平面形は、短冊状のもの、涙滴形のもの、縦に長い二等辺三角形のもの、長楕円形のもの、肩を有するものなどがある。整形は、まず大きな剥離で成形し、その後、側縁や刃部を中心に細かく調整し行なう場合が多い。319～332は基部側のみ、333～344は刃部側のみ、345～349・352の胴部のみのもものなど、打製石斧の半数近くは全形をとどめていない。

356・357は、厚さ1cmとうすい。356は、両側縁に抉りがある。357は上端に平坦面をもち、対して、下端面は尖っている。石鎌になろうか。358・359・361・362は、基部に抉りをもち、下端部が先細りになる一群である。359・362は結晶片岩・片岩を素材とし、厚さ1cmと、石器全体の大きさに対し、非常にうすい。

363～370は磨製石斧である。363は蛇紋岩製で、小破片であるため、全形は復元できない。364もまた欠損が著しい。裏面にも平坦な研磨面があり、断面かまぼこ形の石斧に復元される。365は基部のみである。全面に敲き潰した痕跡がアバタ状に残される。磨製石斧の未製品であろう。366は小形である。側面は左右とも平坦面がある。367は刃部のみである。使用の衝撃によるものか、裏面は長軸方向に大きく剥落している。368は、側面を中心にアバタ状の敲き潰し痕が残る。367は刃部、そして欠損部付近

の両側面が、ほかの部分と風化度合いが異なり、黒色をしている。刃部のそれは石斧の対象物によるもの、両側面のそれは石斧を柄に装着した痕跡であろう。370は、刃部を用いた敲石として転用されている。

371は円盤状石器とした。扁平な煎餅様の砂岩礫を素材とする。下端部の剥離のある箇所は、表裏面ともに赤変している。

372は砂岩の扁平な礫を素材とする石錘である。3ヶ所に打ち欠きがある。石錘はこの1点のみである。

アカホヤ火山灰下位の包含層（Ⅵ・Ⅶ層）・遺構出土分

373～433は打製石鏃である。大半がチャート製で、安山岩製が3点、姫島産黒曜石製が1点ある。409・410・426は、平面形が相似関係にある。脚部は、抉りの深いものが目立つ。434は、尖頭部が明確に作り出されることから、尖頭器とした。

435～449は打製石鏃の未製品である。製作工程の早い段階にあるものについては、削器などとの区分が不明確なものがある。444は石英製であるが、打製石鏃に石英製のものはない。447は安山岩製で、横長剥片素材とわかる。

450・451は楔形石器である。両端部の潰れは顕著でない。

452は石匙である。素材剥片は「凸」の字形で、剥片形状をそのまま活かしている。

453～463・465は削器である。縦長剥片を素材とするものが多い。チャート・安山岩・ホルンフェルス・流紋岩と、石材は多様である。460は異質である。流紋岩の三角柱状の剥片を素材とし、ほかの削器と比べ、石器全体が異様に長い。

464・466は石錐である。464の錐部は、断面凸レンズ状である。466は錐部に幅があり、またその断面は台形となる。使用による磨耗は464・466ともに観察されない。

467・468は搔器である。チャート製は大形、黒曜石製は小形である。

469は打面再生剥片である。右側面が旧作業面となる。470・471は微細剥離ある剥片である。図示していないが、ほかに大量のチャート製剥片・碎片がある。剥片形状とその数量は、不定形剥片が圧倒的多数を占め、縦長剥片が一定量認められる。

472～476は石核である。472は凝灰岩製、そのほかはチャート製である。472は、かなり厚みのある大形剥片を素材とし、礫打面から、横長に近い不定形剥片が剥離される。473・474・476は厚みのある不定形剥片を素材とし、外縁から中心に向かって、不定形剥片が剥離されたものである。

477～484・486～488は敲石、485は凹石、489は磨石である。敲石は、ゴルフボール状の礫を素材とするものが多い。重量は、50g前後、100g前後、約150gのものに分かれる。487は磨痕をあわせもつ敲石である。485は裏面にもわずかな凹みをもつ。

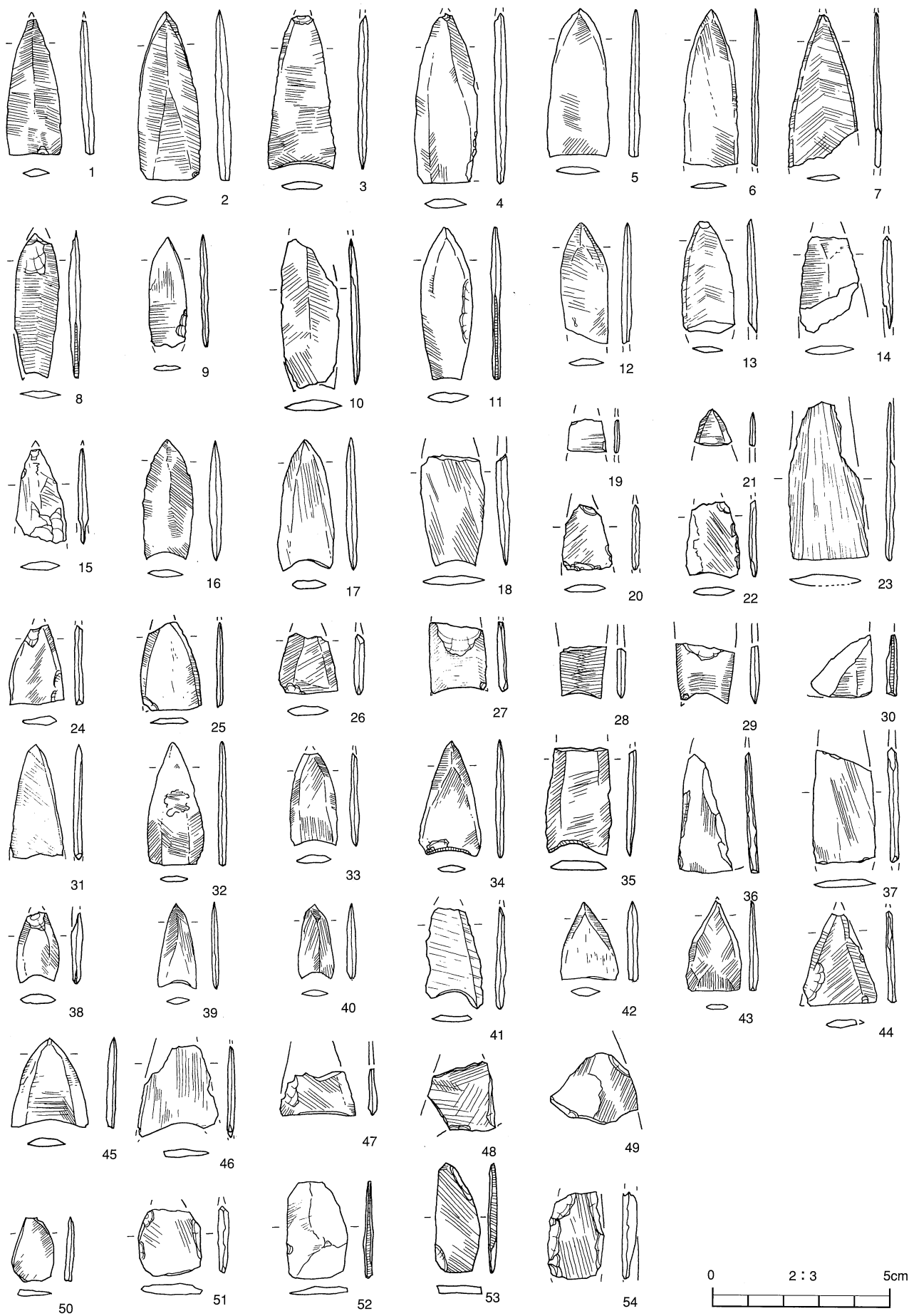
490～530は攪乱から出土したもの、表面採集されたもの、出土位置が明確でないものである。515は異形石鏃である。チャート製の縦長剥片素材。いわゆる異形局部磨製石鏃（トロトロ石器）のように、表裏面に見られる研磨、または磨耗は残されず、稜がやや磨耗しているか、といった程度である。

そのほか、打製石斧の素材を剥離した石核も出土している。

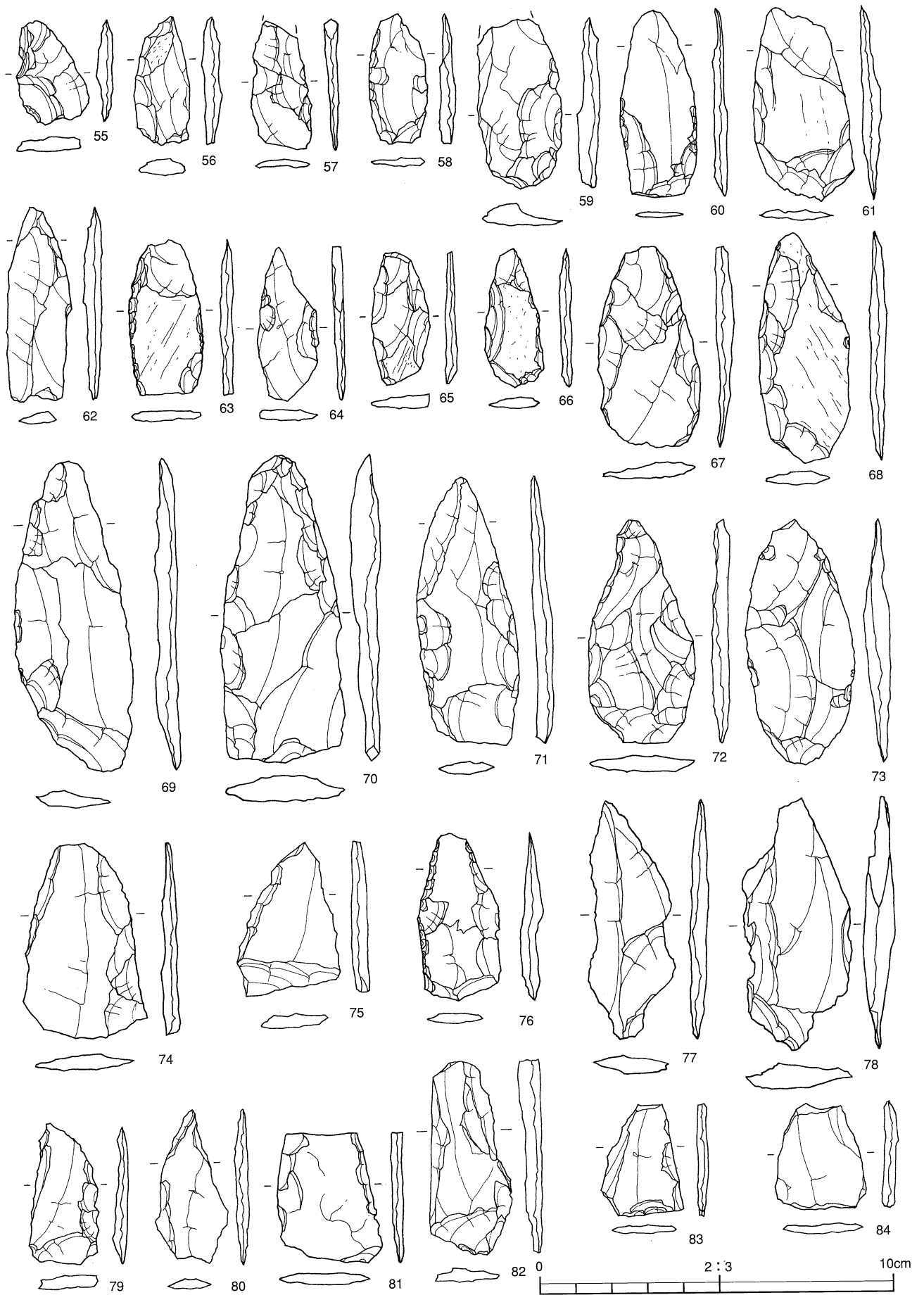
小結

今回の報告では、石器を大きくアカホヤ火山灰上下に分け、器種ごとに報告した。そこで、遺構別・地層別に器種構成を示して結びとしたい。

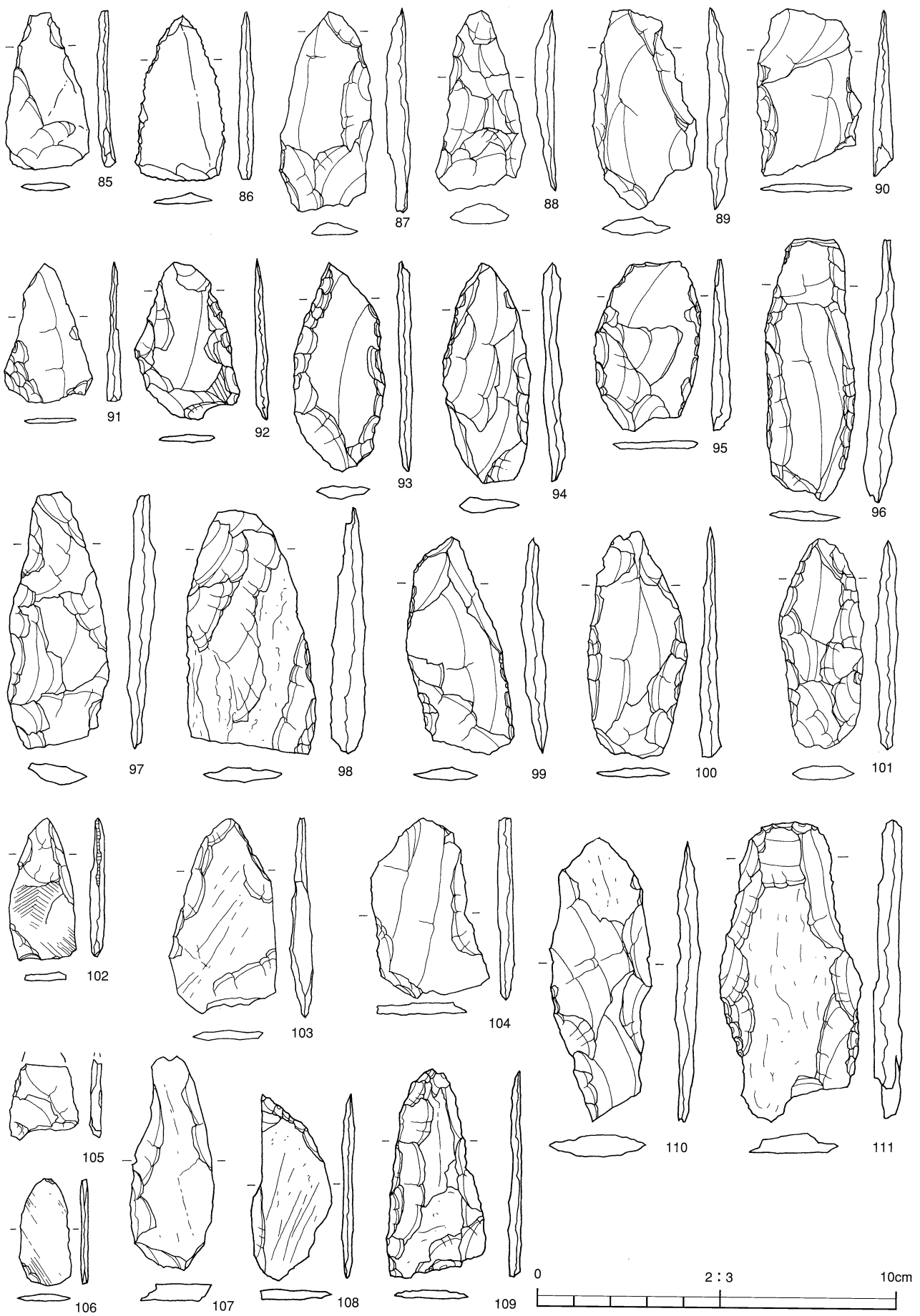
| 遺 構 | 石器組成 (磨製石鏃関連でG=緑, B=黒, R=赤, O=オリーブ色を示す) |
|--------|--|
| 1区SE1 | 打製石鏃・同未製品・削器 |
| 1区SA1 | 打製石斧 |
| 2区SA4 | 磨製石鏃G・同未製品G・打製石斧 |
| 2区SA5 | 打製石斧 |
| 2区SA6 | 石鏃・打製石斧・敲石 |
| 2区SA7 | 磨製石鏃未製品G・石鏃・同未製品・石錐・打製石斧・磨石 |
| 2区SA8 | 磨製石鏃G・R・B・同未製品G・B・石鏃・石錐・削器・Ob剥片・打製石斧・敲石 |
| 2区SA10 | Ob剥片・打製石斧・石斧転用敲石 |
| 2区SA11 | 磨製石鏃G・同未製品B・石鏃・搔器・石核・打製石斧 |
| 2区SA12 | 磨製石鏃G・B・同未製品G・B・石鏃・削器・搔器・楔・打製石斧・敲石 |
| 2区SA13 | 磨製石鏃B |
| 2区SA14 | 磨製石鏃R・同未製品B・石鏃・石核・打製石斧 |
| 2区SA16 | 石鏃・同未製品・石錐・削器・搔器・打製石斧・磨製石斧・砥石・石匙・石核 |
| 2区SA17 | 削器・石核・打製石斧 |
| 2区SA18 | 磨製石鏃G・同未製品G・B・石鏃・同未製品・石匙・打製石斧 |
| 3区SA19 | 石鏃・同未製品・石錐・楔・打製石斧・敲石 |
| 3区SA20 | 磨製石鏃未製品G・石核・打製石斧 |
| 3区SA21 | 磨製石鏃G・石鏃・打製石斧 |
| 3区SA22 | 磨製石鏃G・同未製品G・石鏃・同未製品・石錐・打製石斧・砥石 |
| 3区SA23 | 磨製石鏃G・石鏃・石錐 |
| 3区SA24 | 磨製石鏃G・同未製品G |
| 4区SC3 | 打製石斧・台石 |
| 1区Ⅲ層 | 石鏃 |
| 1区Ⅳ層 | 石鏃・削器 |
| 2区Ⅳ層 | 磨製石鏃B G・同未製品G・石鏃・石鏃未製品・削器・尖頭器・石錐・石核・黒曜石原石・磨石・石皿・打製石斧・磨製石斧・台石 |
| 3区Ⅳ層 | 磨製石鏃G・B・同未製品G・B・同石核O・G・石鏃・打製石斧 |
| 4区Ⅳ層 | 削器・打製石斧 |
| 2区SI4 | 円盤状石器 |
| 2区SI6 | 磨製石鏃O・石鏃・石匙 |
| 2区SI7 | 石鏃 |
| 2区SI11 | 磨製石鏃石核・石鏃・石核 |
| 2区SI19 | 石鏃 |
| 2区SI20 | 石核 |
| 2区SI25 | 削器 |
| 2区SI27 | 削器・石核 |
| 2区SI30 | 削器 |
| 2区Ⅵ層 | 磨製石鏃G・石鏃・石鏃未製品・削器・搔器・打面再生剥片・石核・打製石斧・敲石・台石・石皿 |
| 3区Ⅵ層 | 石鏃・同未製品・石錐・削器・楔・石核・凹石 |
| 2区Ⅶ層 | 磨製石鏃G・石鏃・石匙・楔・削器・微細剥離剥片・石核・打製石斧・敲石・磨石 |
| 2区Ⅷ層 | 石鏃未製品・石核・敲石 |
| 3区Ⅸ層 | 石鏃・尖頭器・削器・搔器・石核・敲石 |



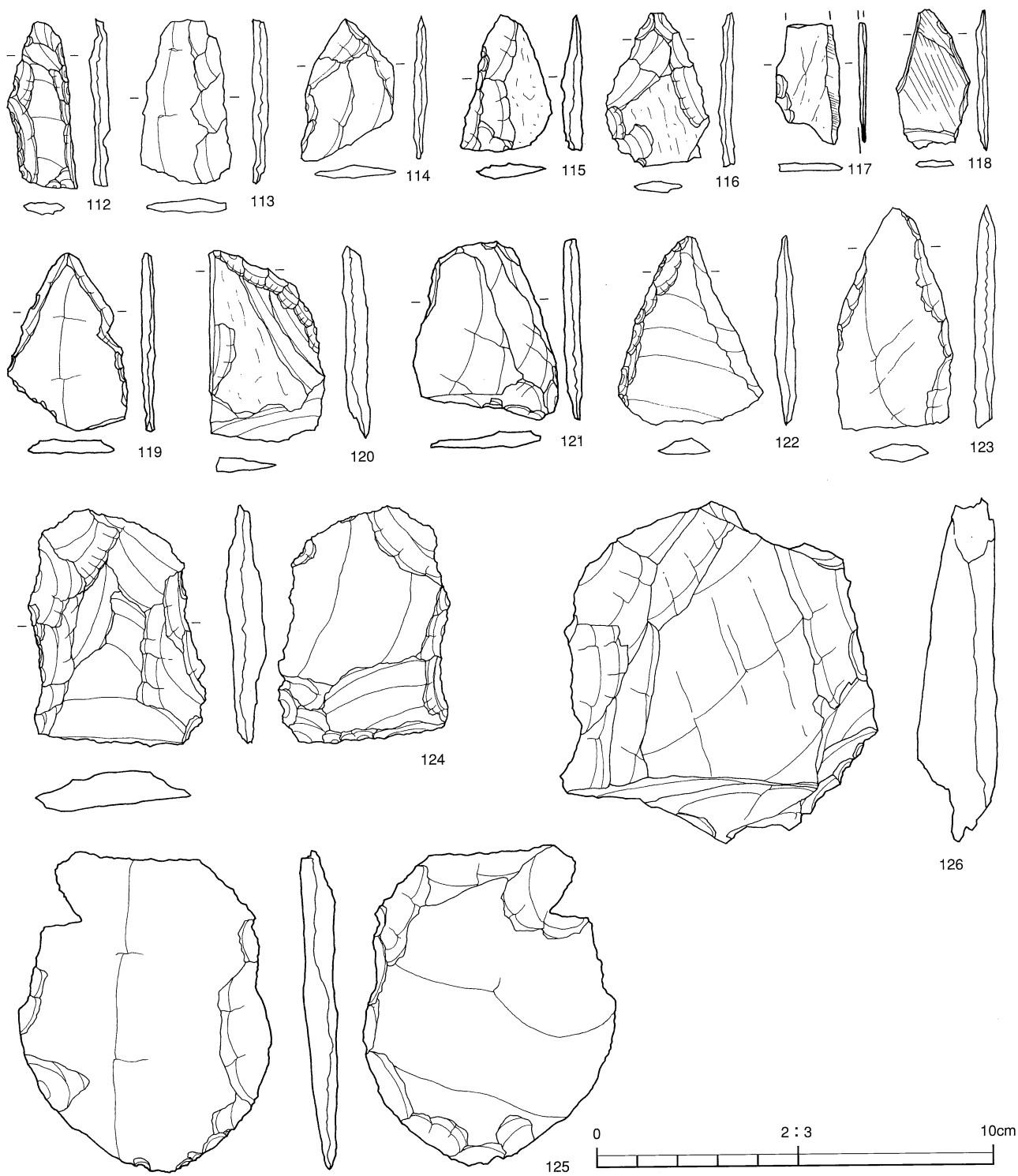
第48图 古城遺跡出土石器実測図(1)



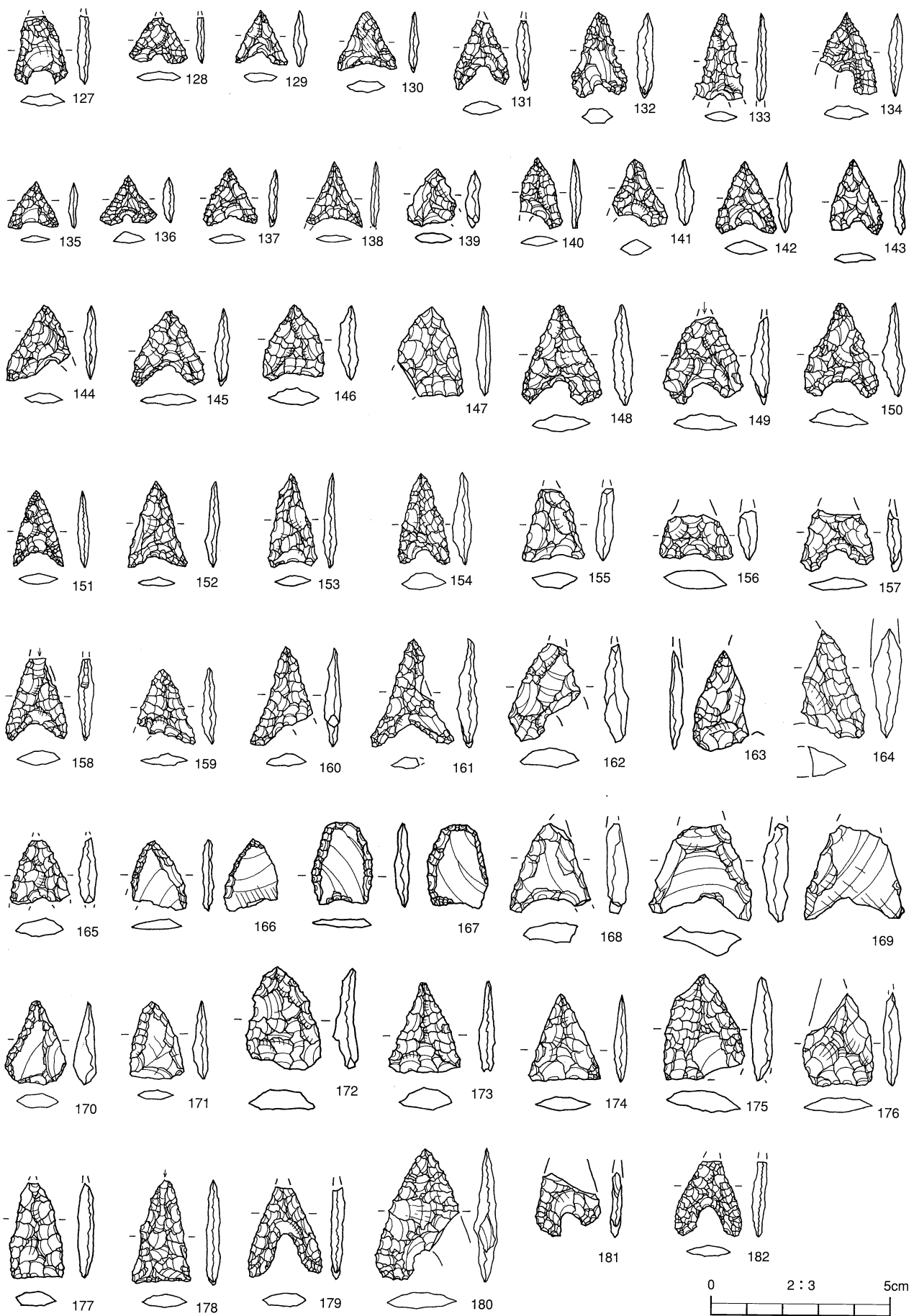
第49图 古城遺跡出土石器実測図 (2)



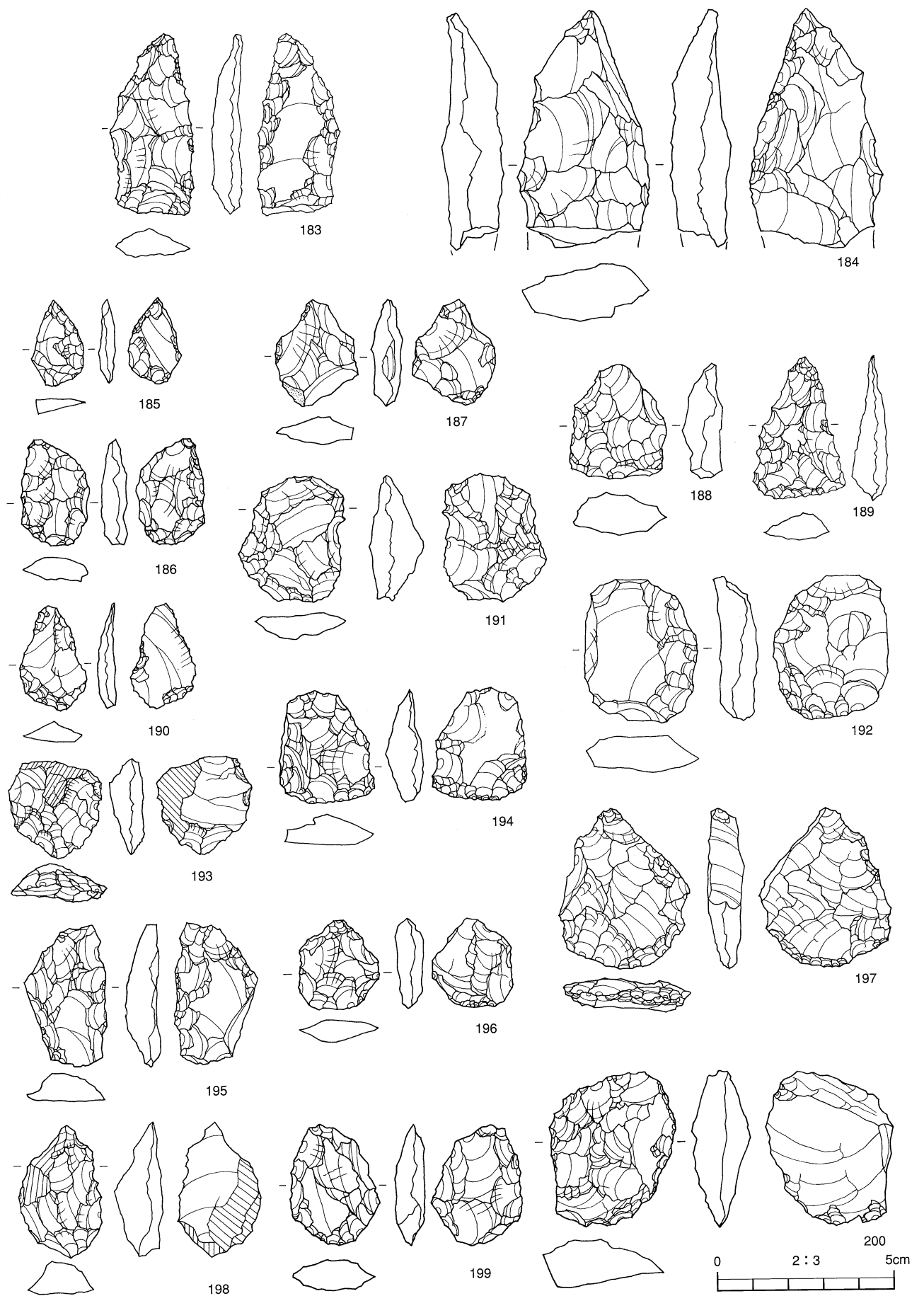
第50图 古城遺跡出土石器実測図(3)



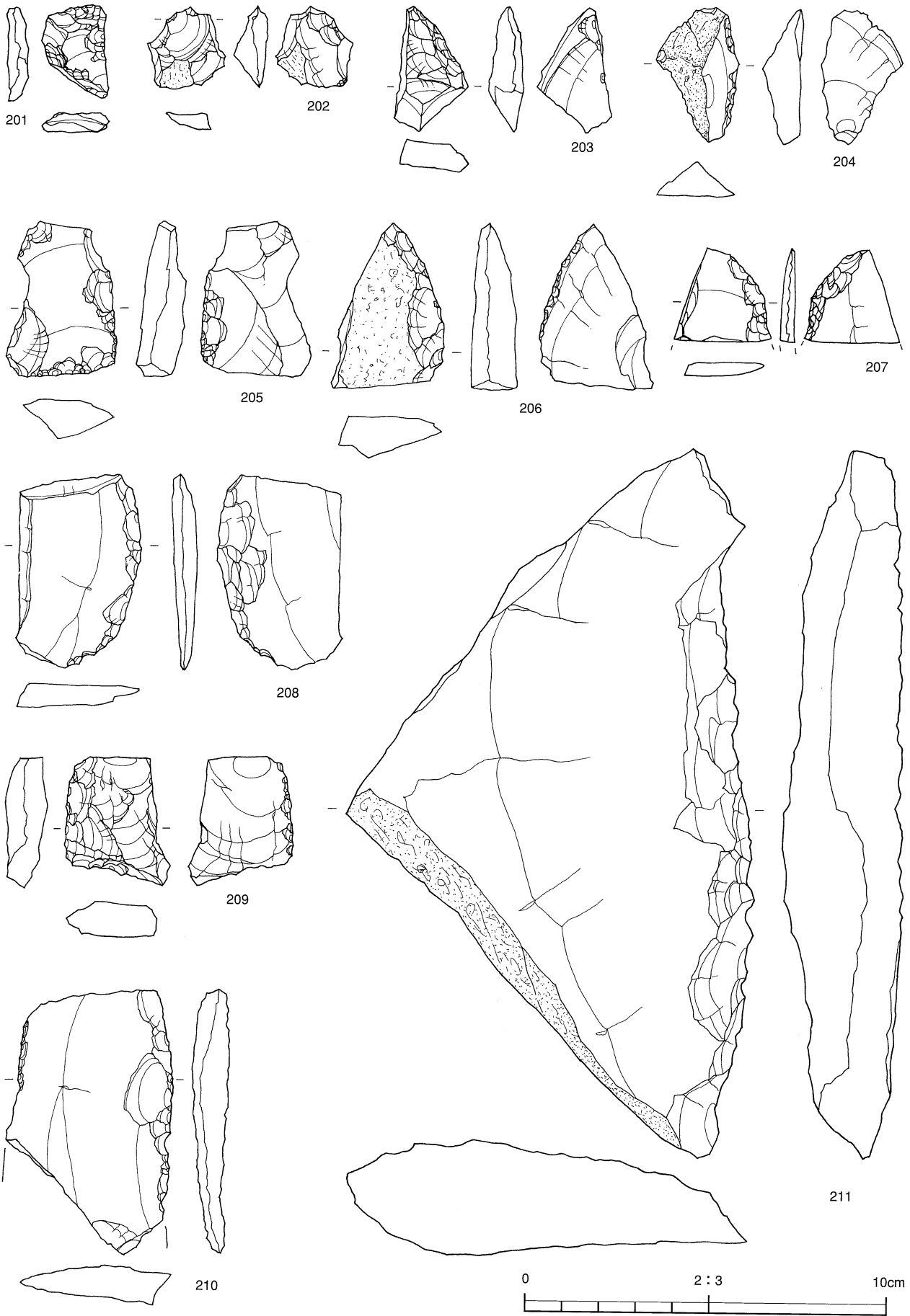
第51图 古城遺跡出土石器実測図(4)



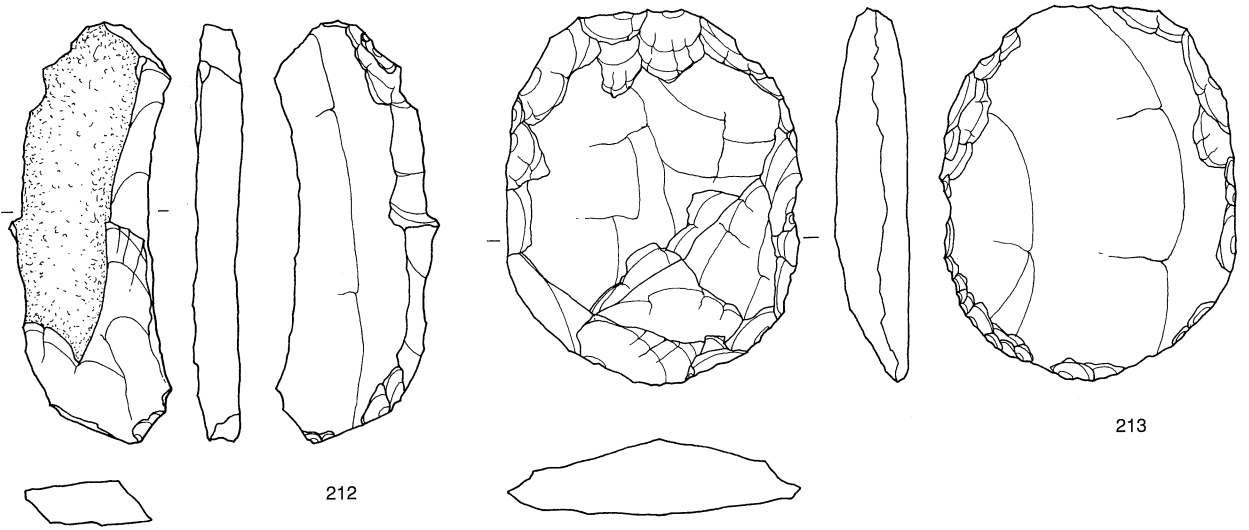
第52图 古城遗迹出土石器实测图(5)



第53图 古城遺跡出土石器実測図(6)

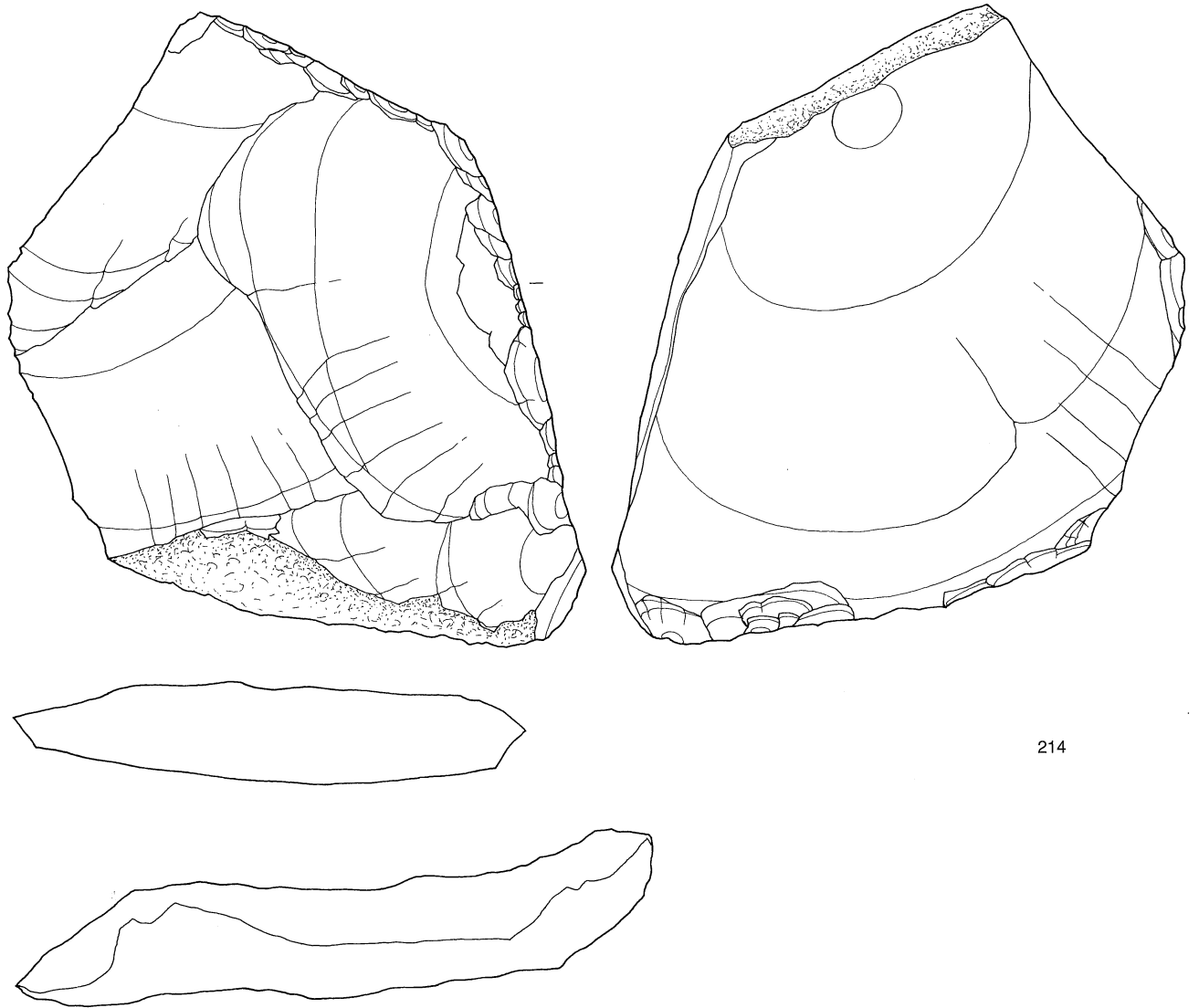


第54图 古城遺跡出土石器実測図（7）

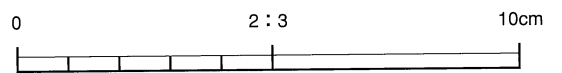


212

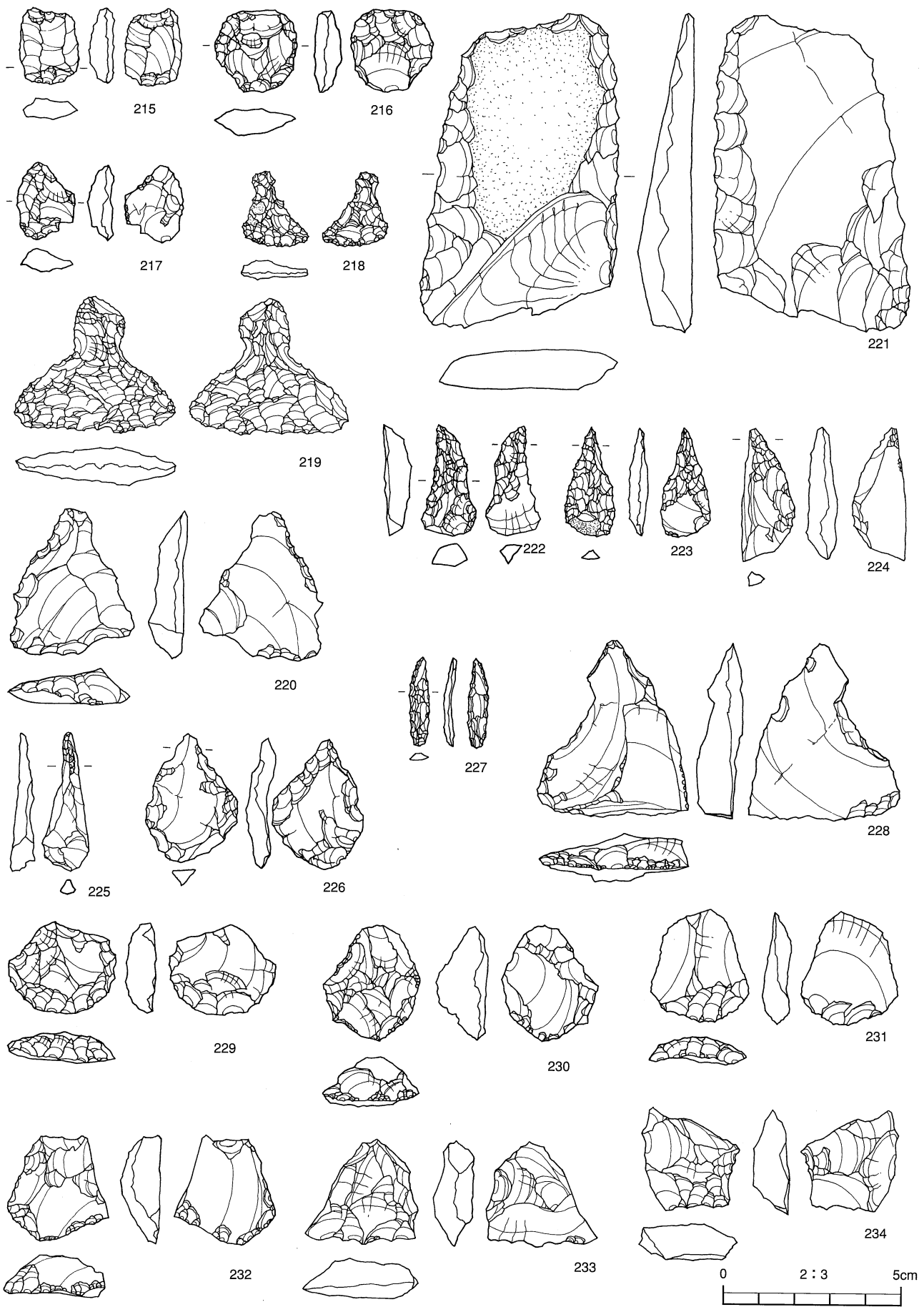
213



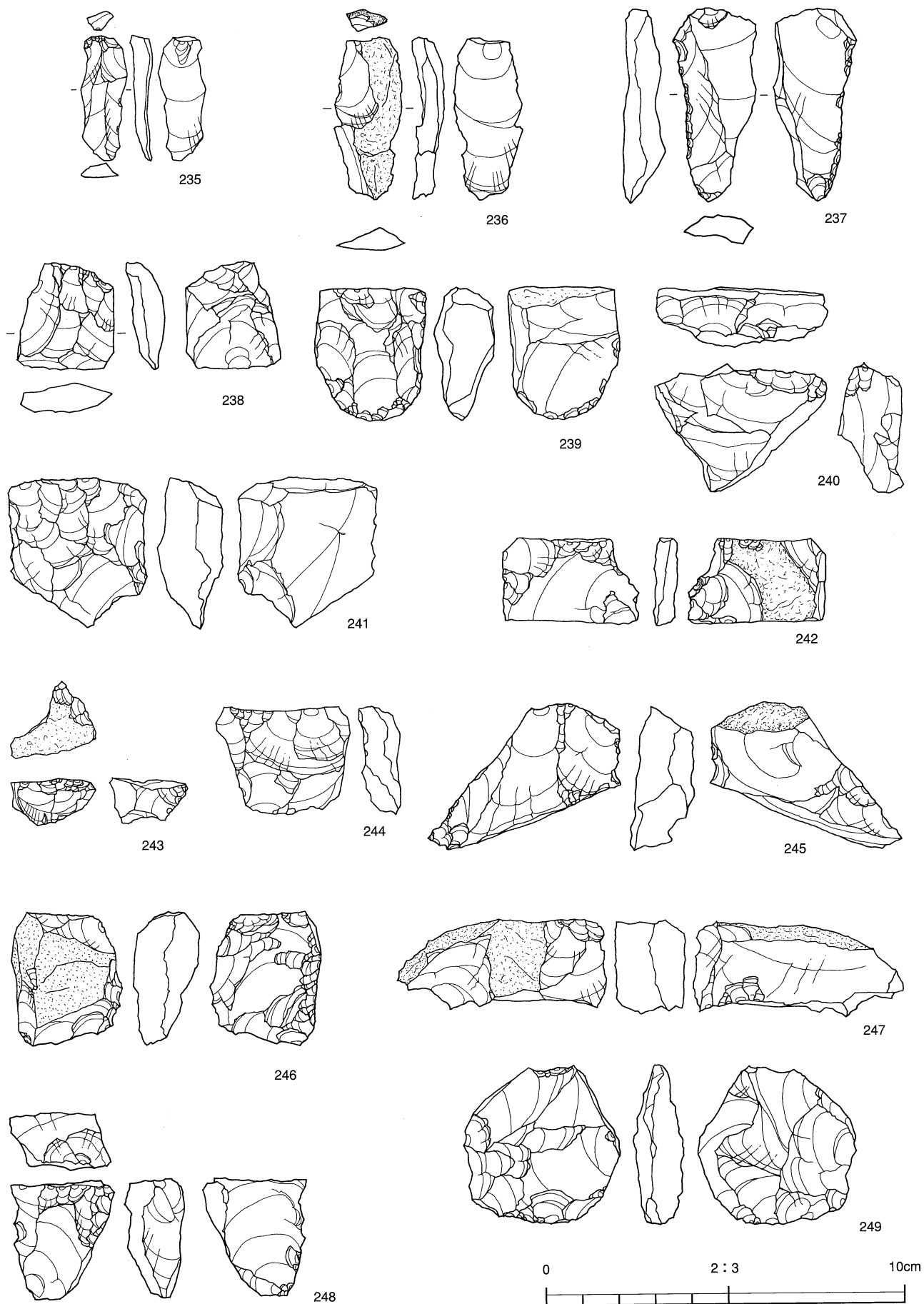
214



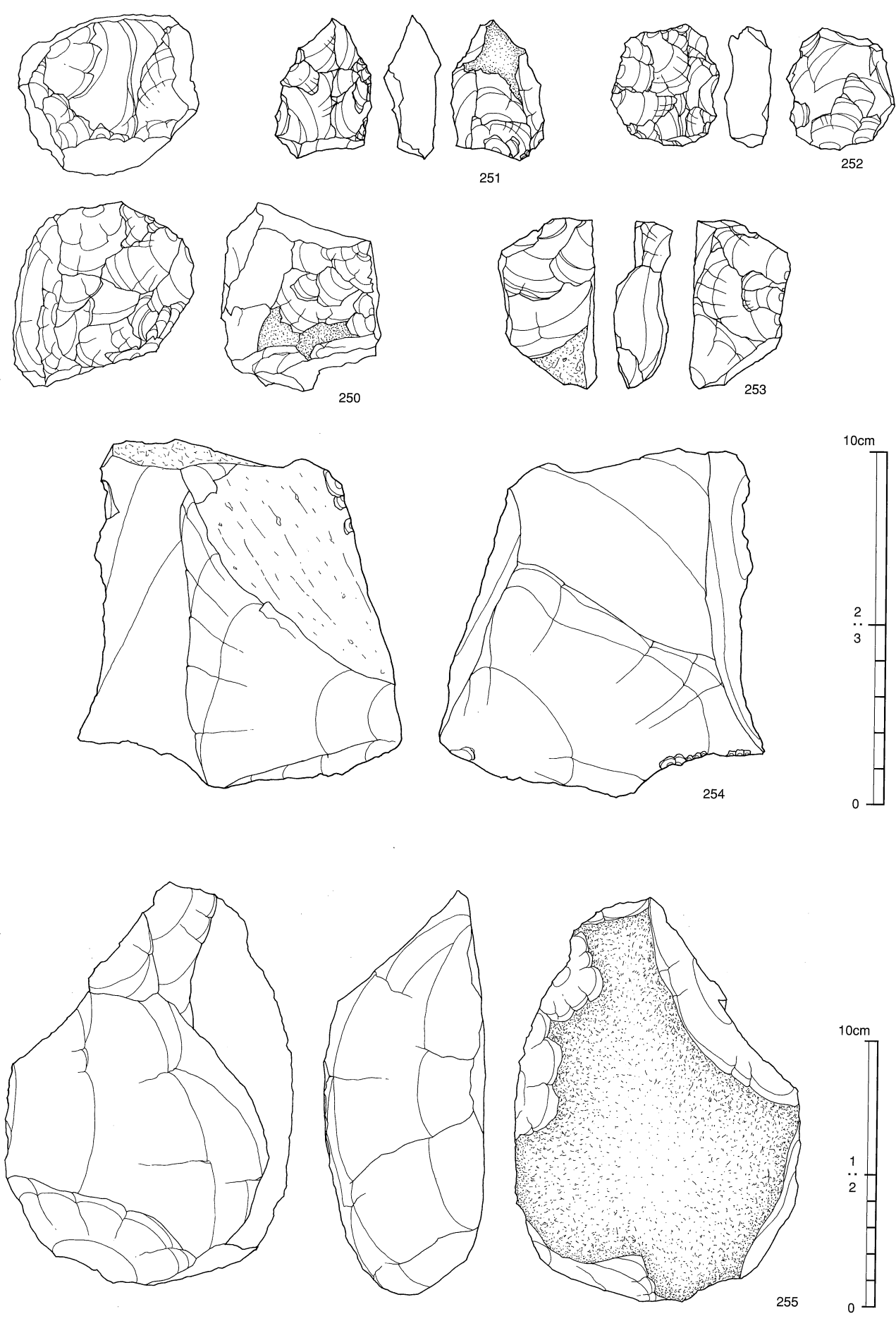
第55图 古城遺跡出土石器実測図(8)



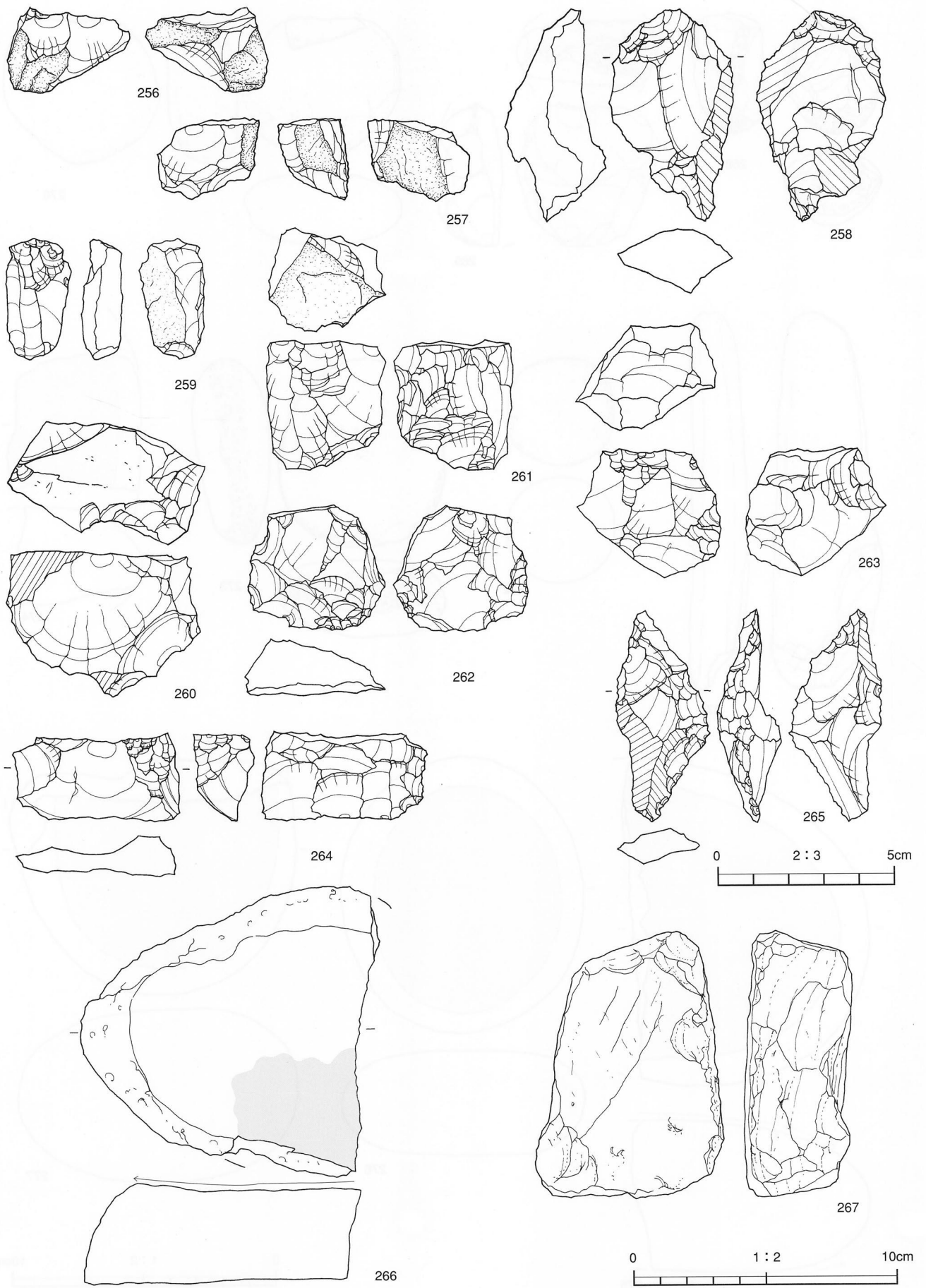
第56图 古城遺跡出土石器実測图 (9)



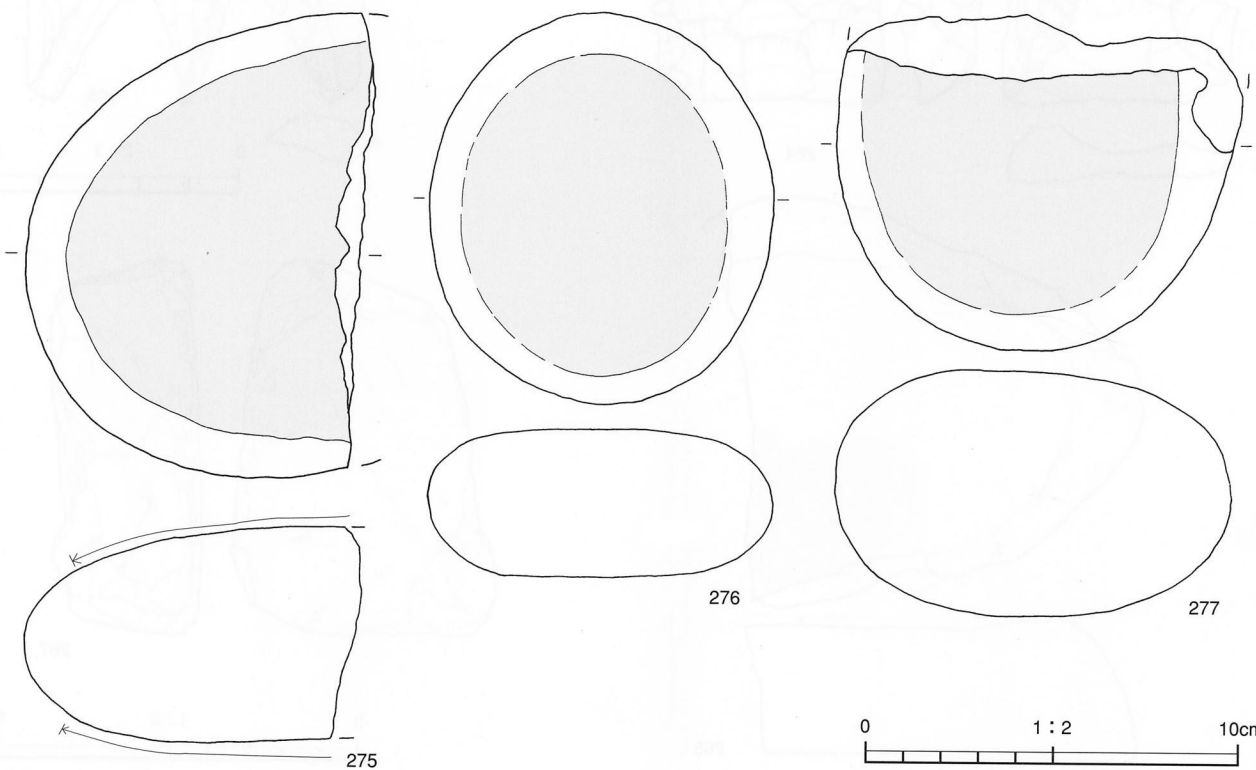
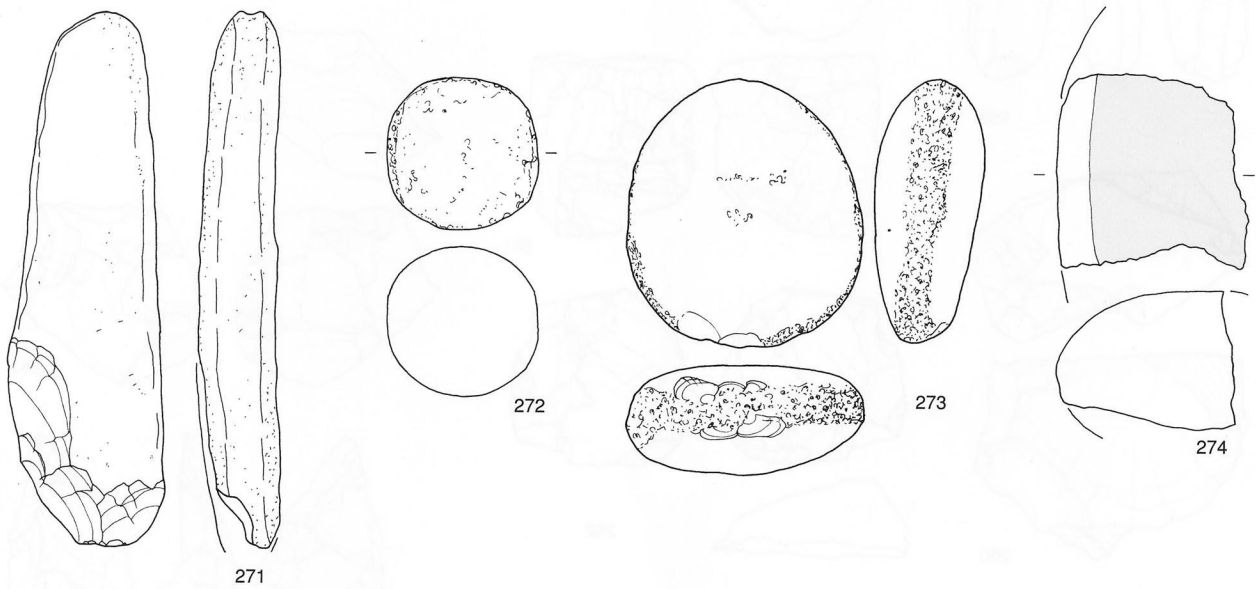
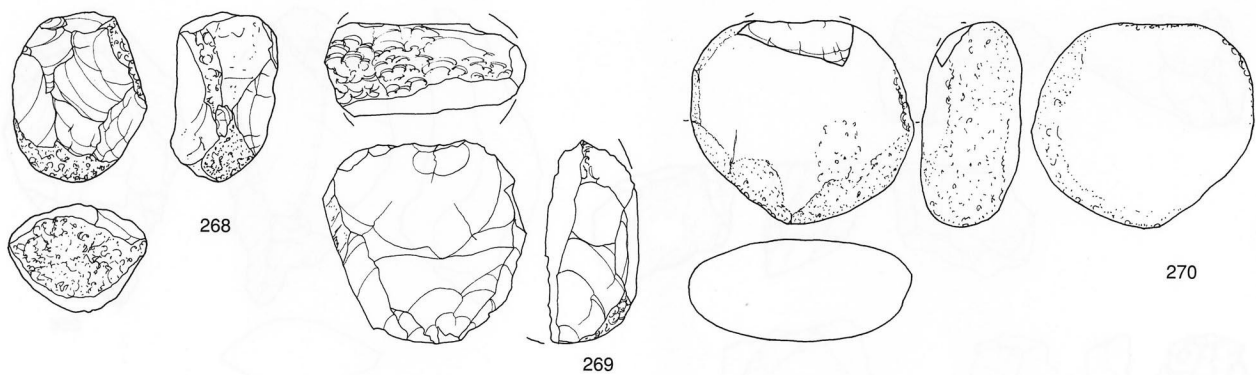
第57图 古城遺跡出土石器実測図(10)



第58图 古城遺跡出土石器実測図(11)

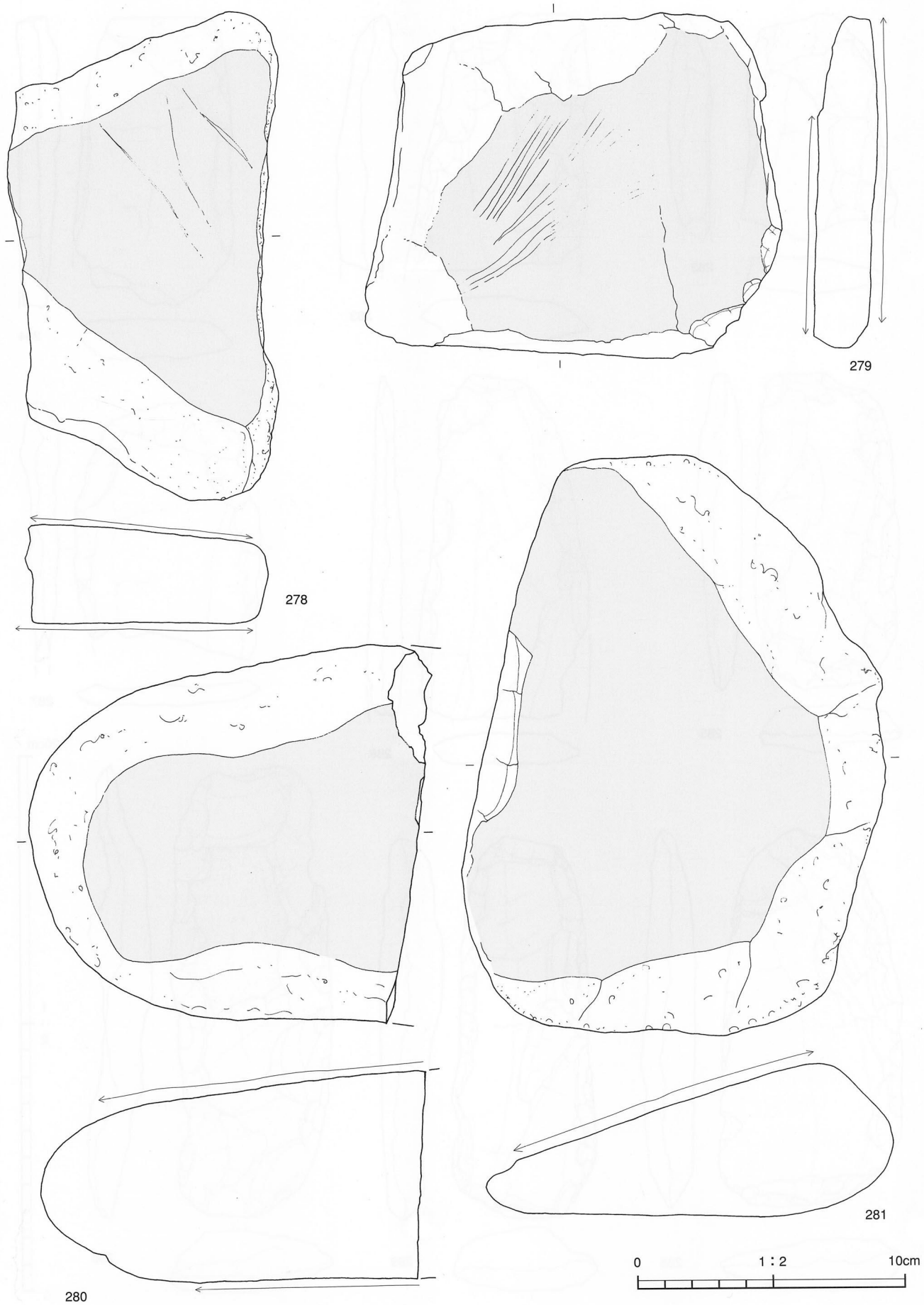


第59图 古城遺跡出土石器実測図 (12)

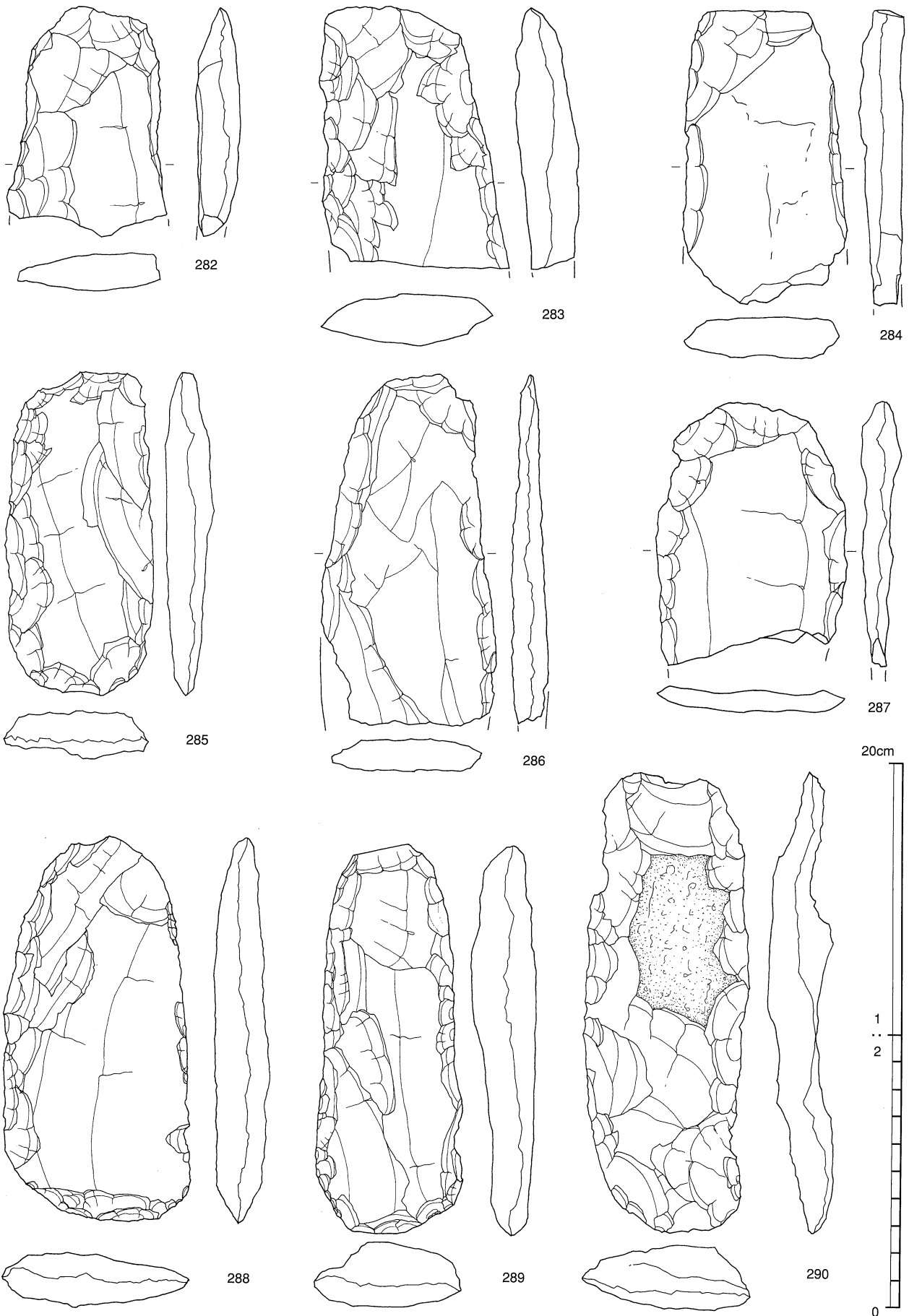


0 1:2 10cm

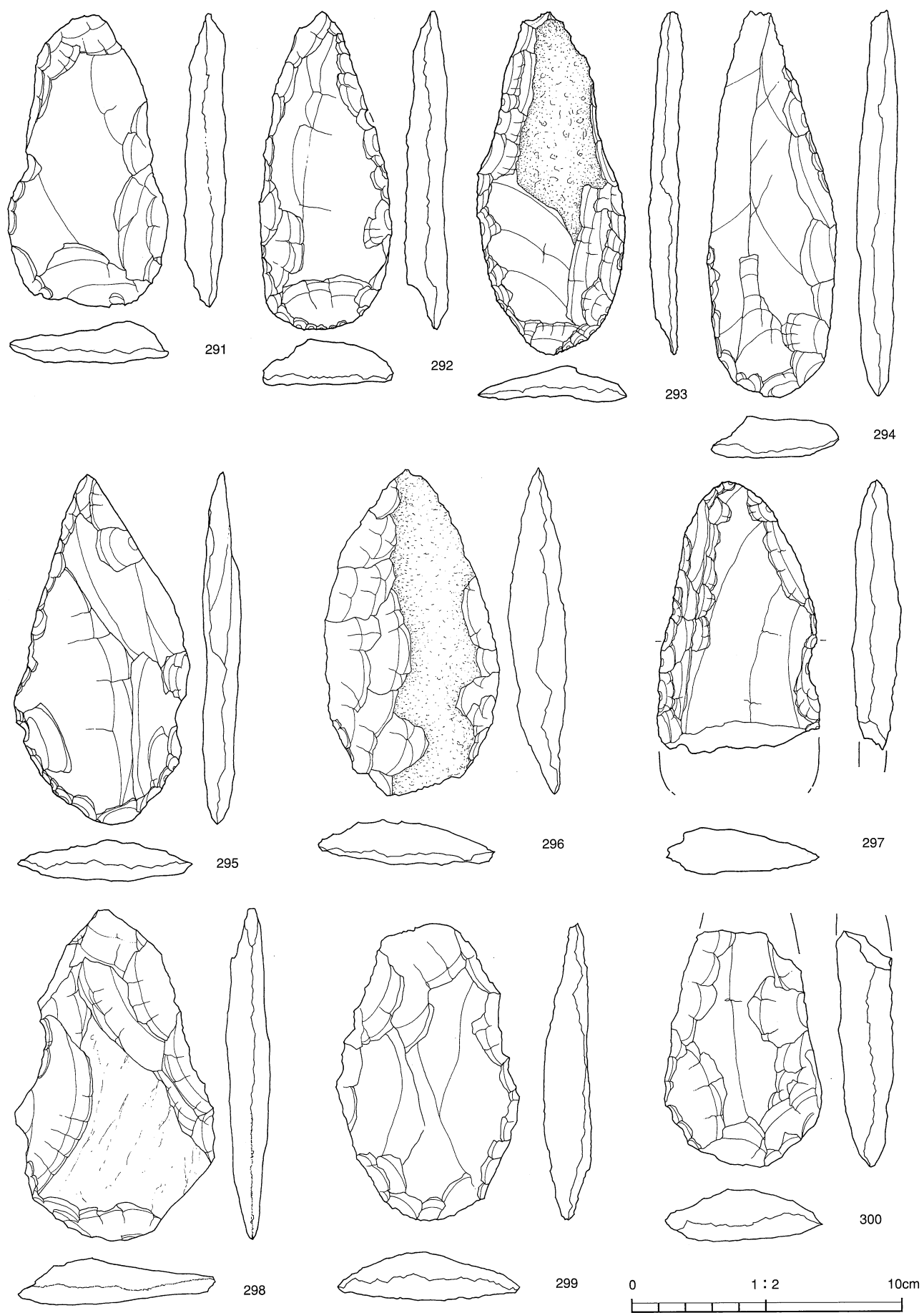
第60图 古城遺跡出土石器実測図 (13)



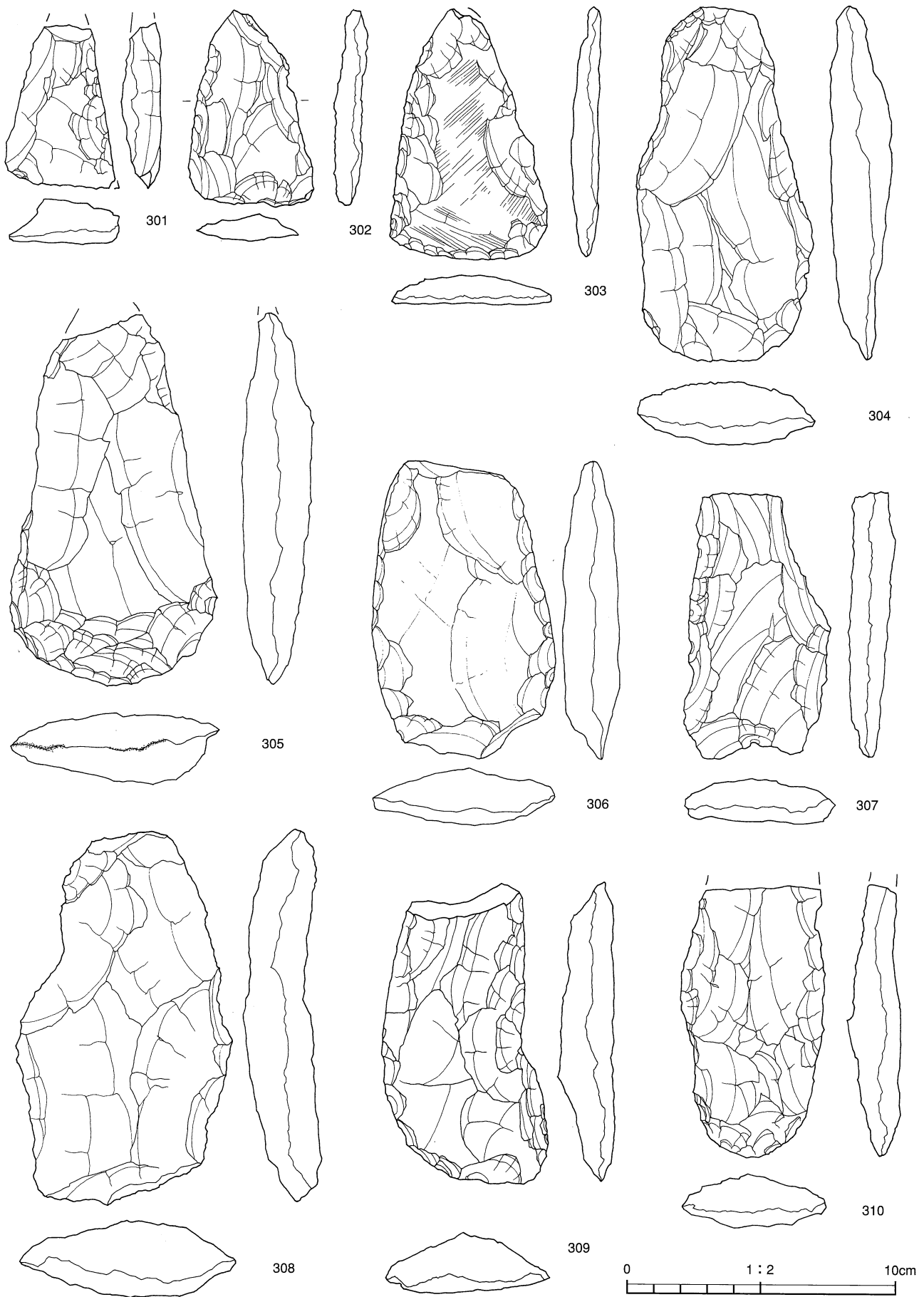
第61図 古城遺跡出土石器実測図（14）



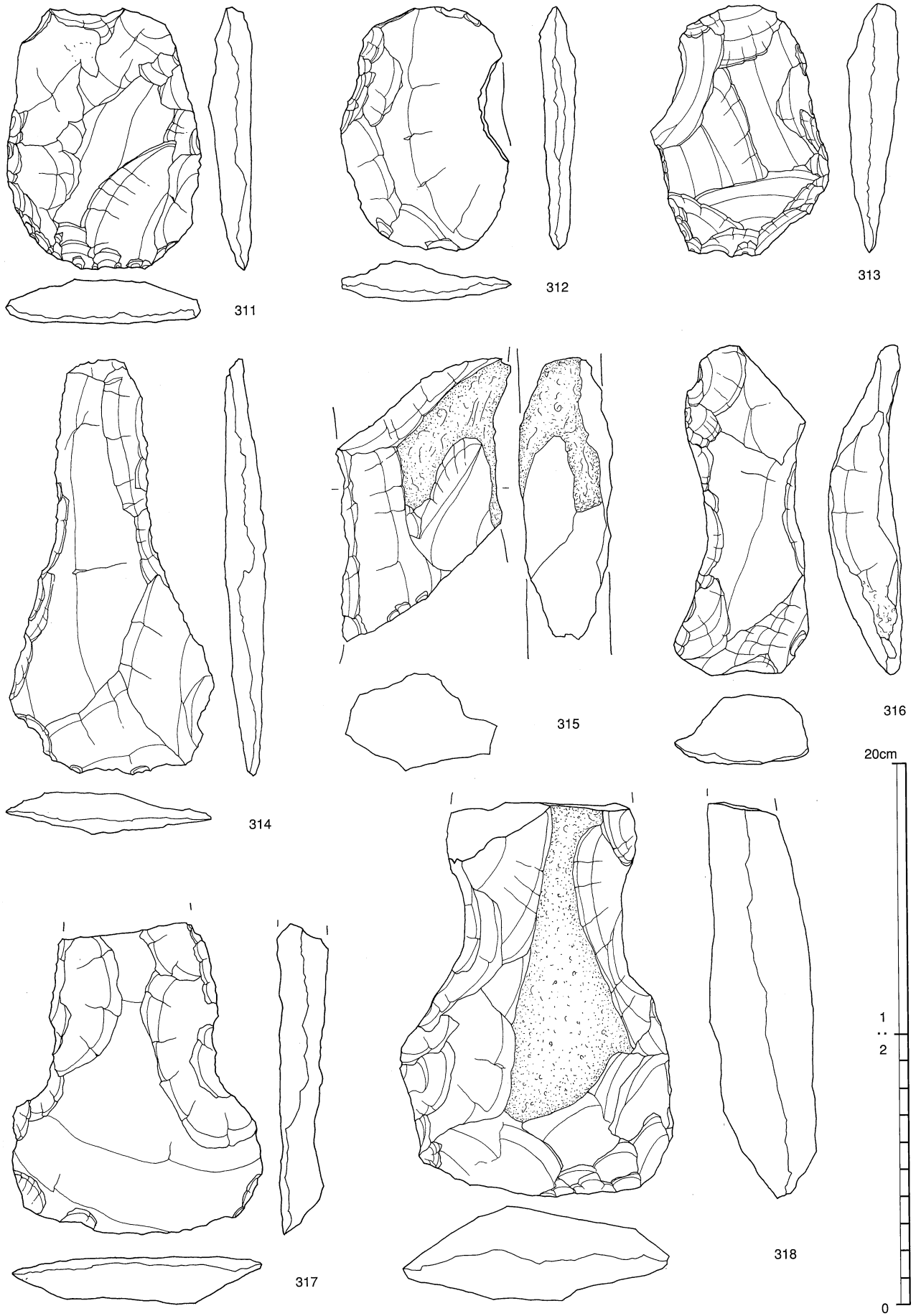
第62图 古城遺跡出土石器実測図 (15)



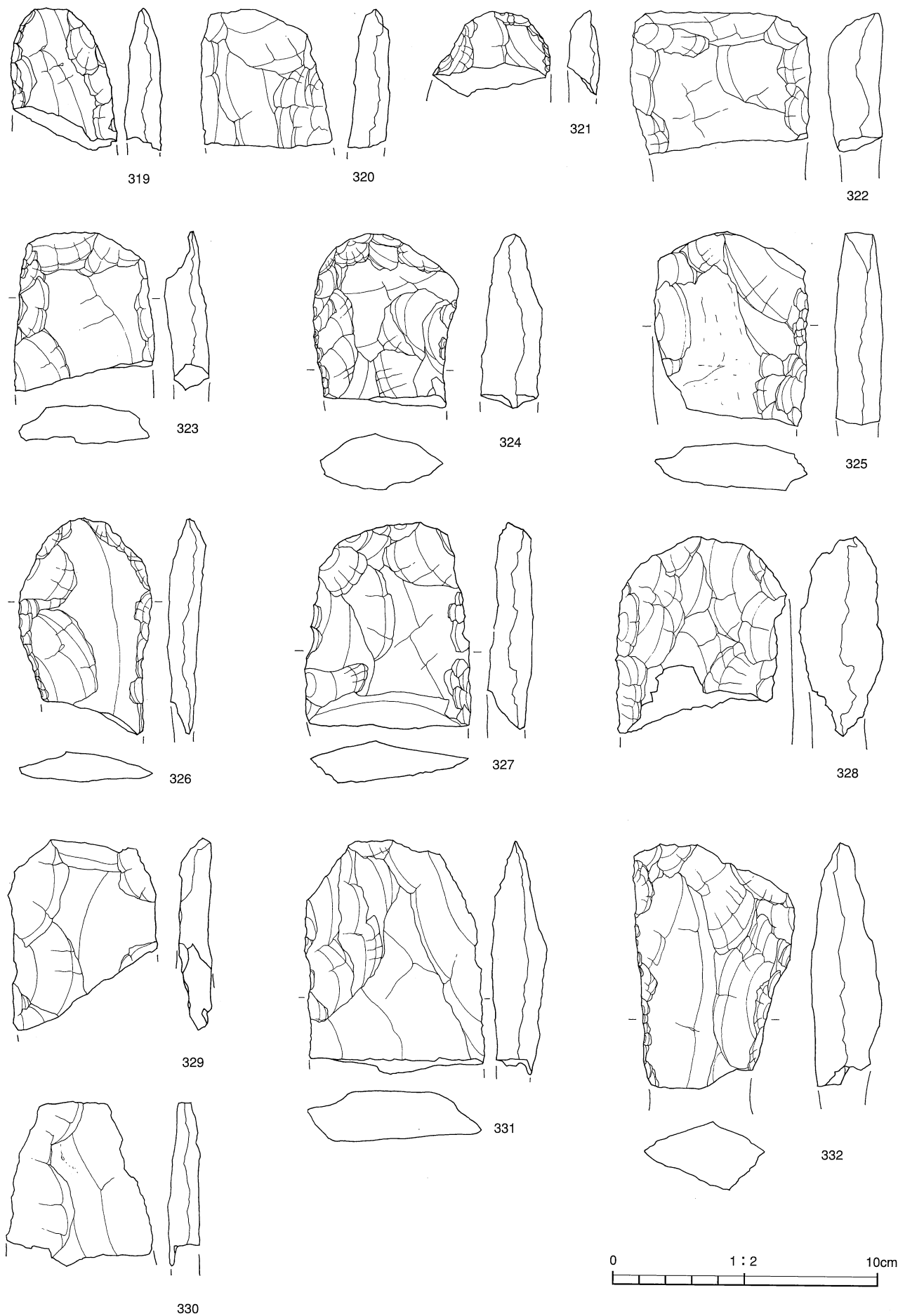
第63图 古城遺跡出土石器實測圖 (16)



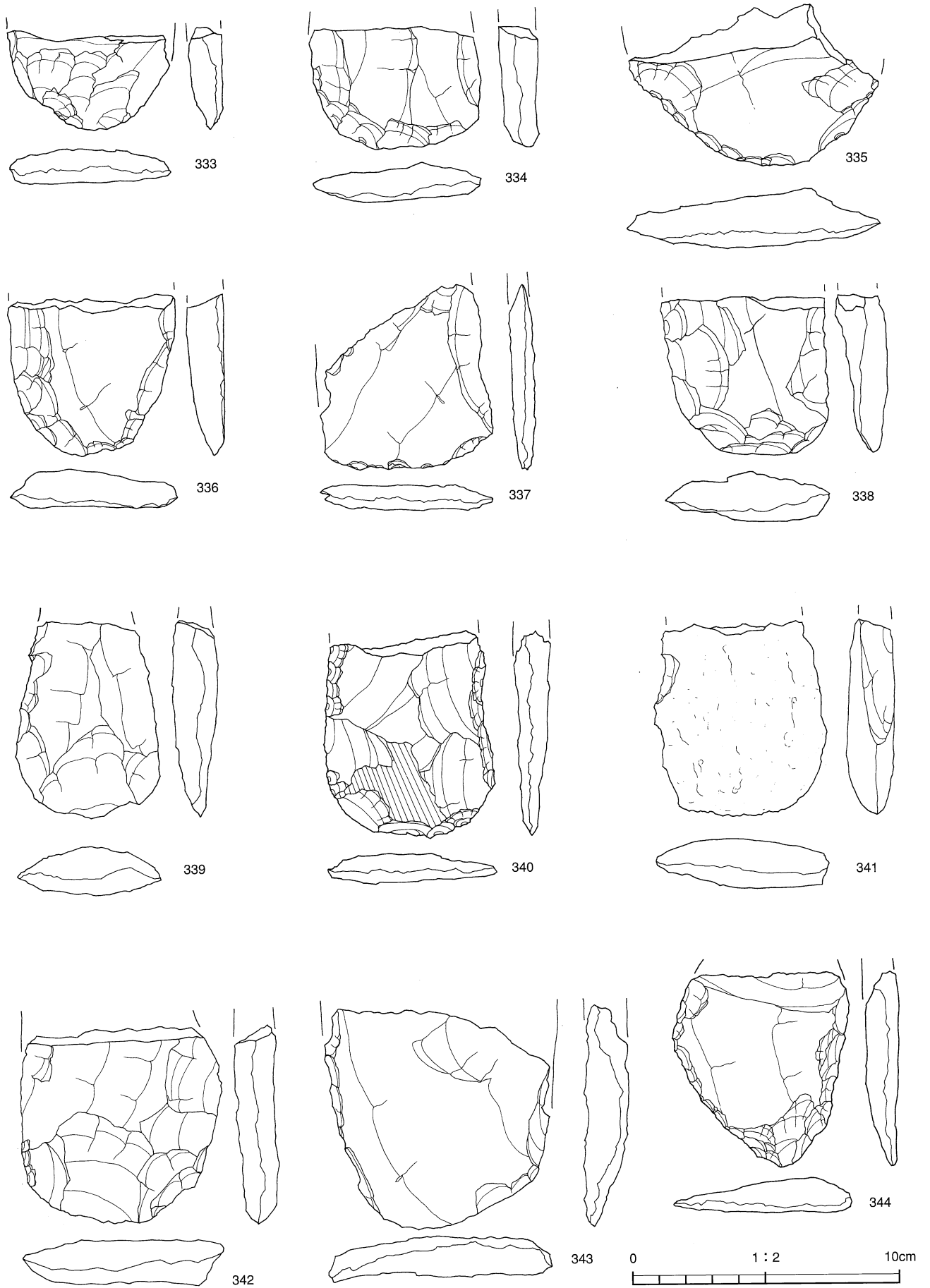
第64图 古城遺跡出土石器実測図 (17)



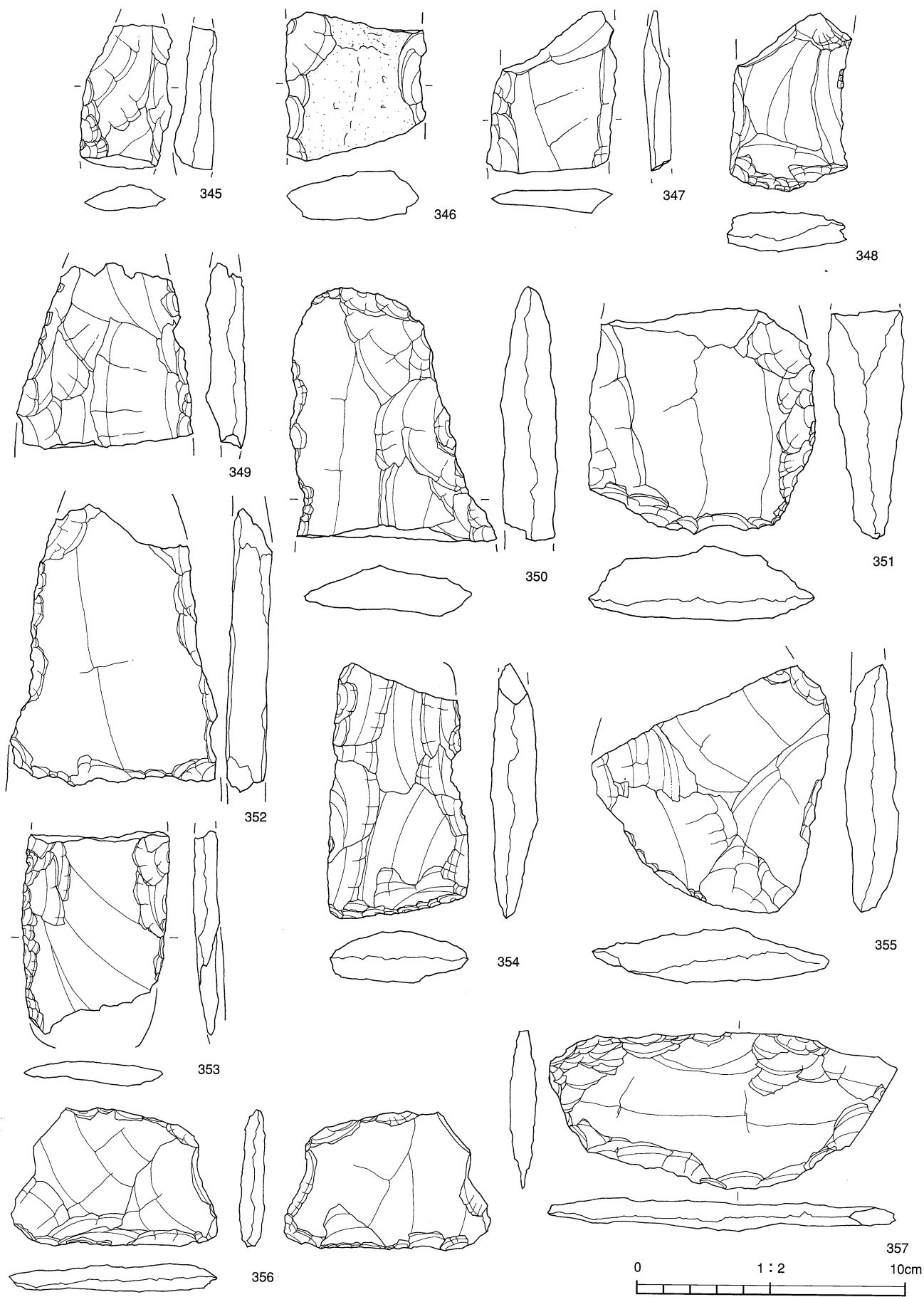
第65图 古城遺跡出土石器実測図（18）



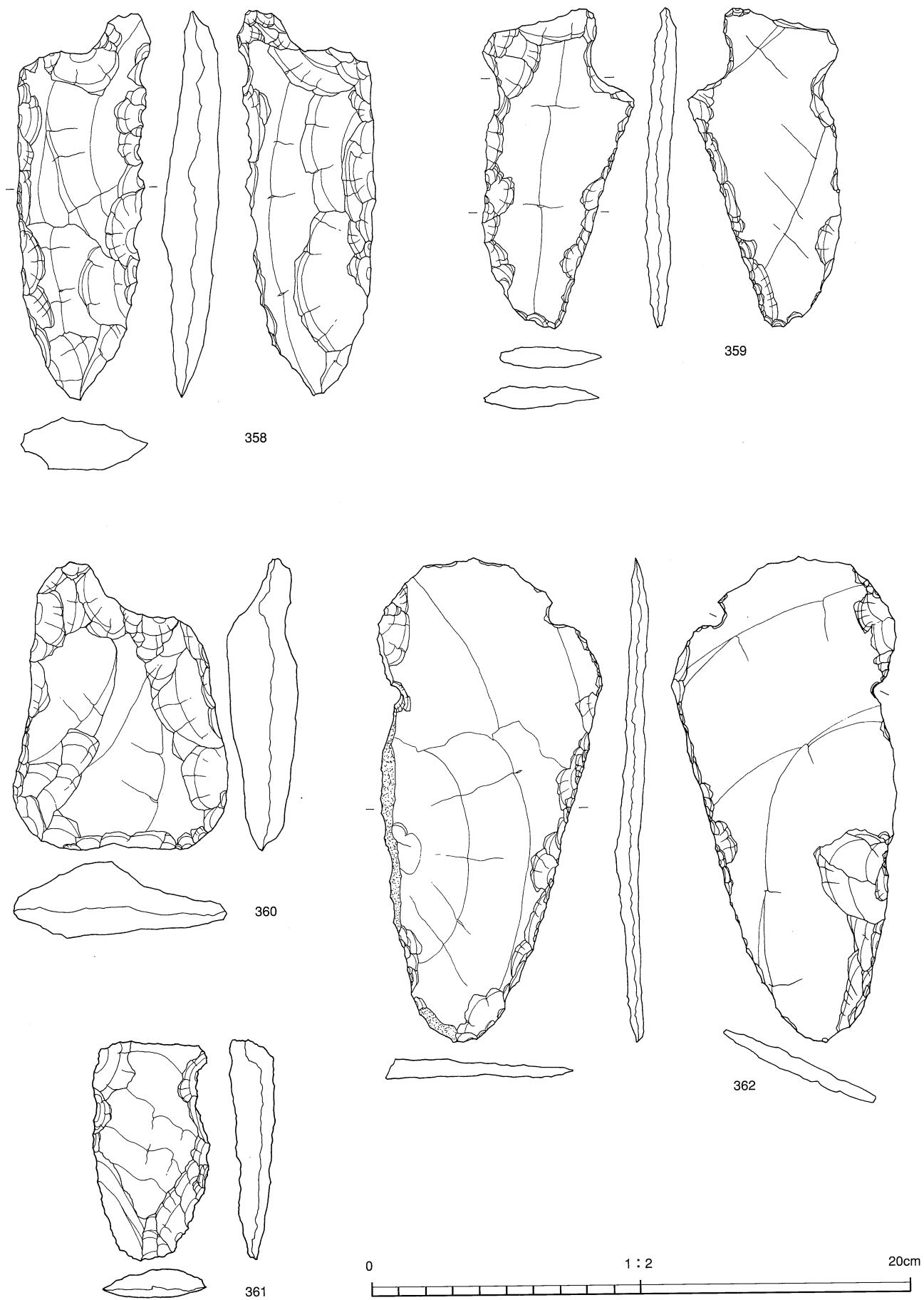
第66图 古城遺跡出土石器実測図 (19)



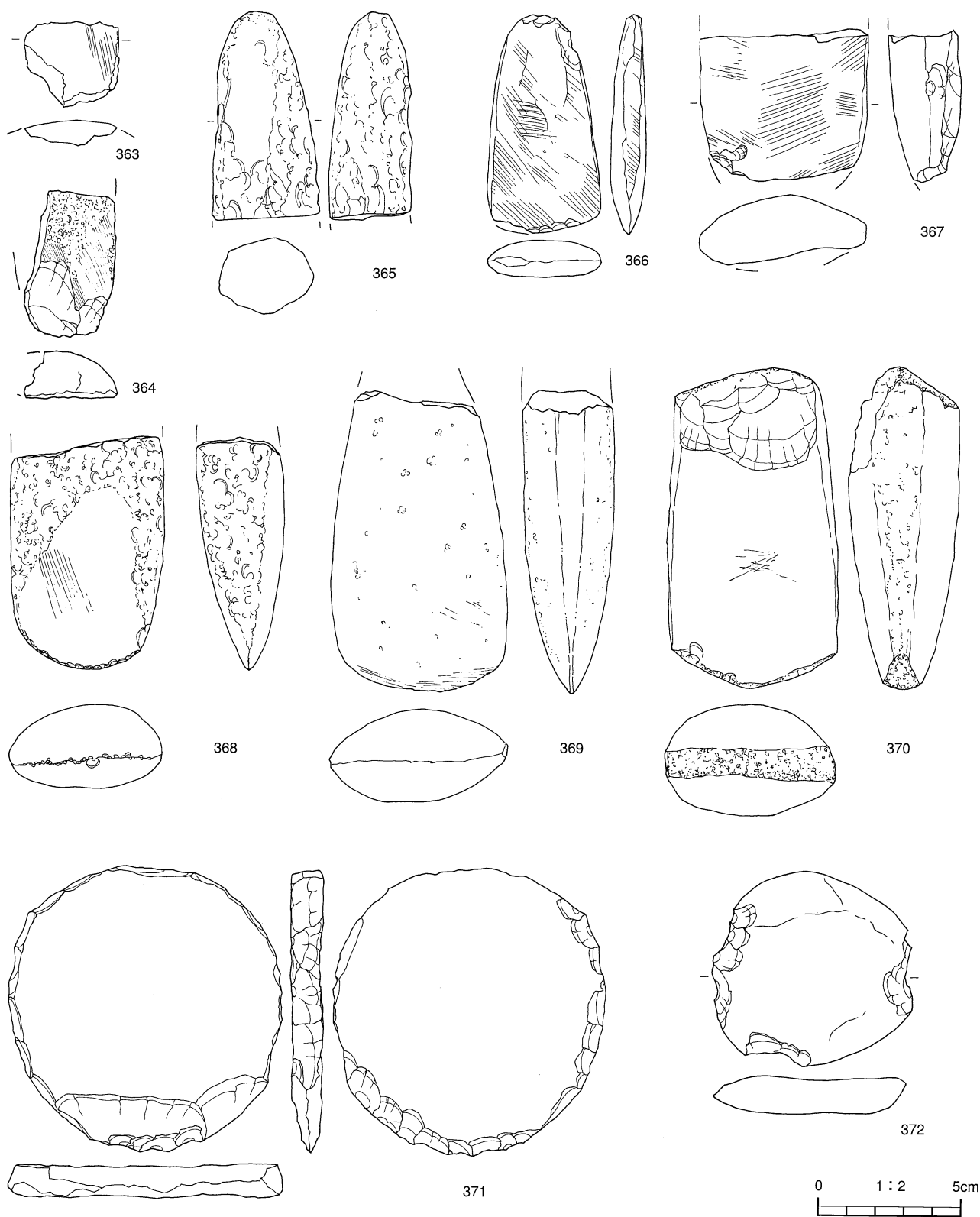
第67图 古城遺跡出土石器実測図 (20)



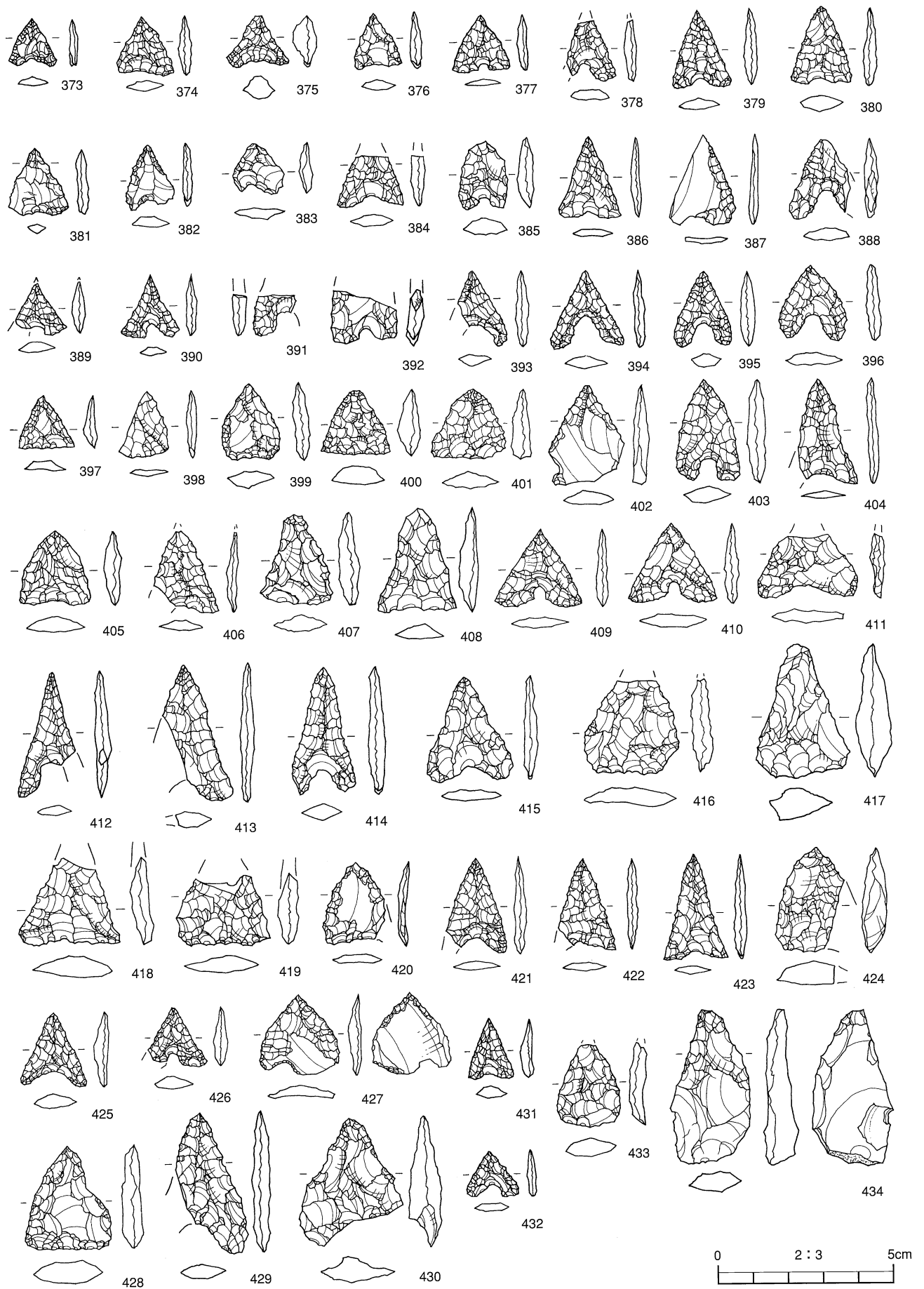
第68図 古城遺跡出土石器実測図(21)



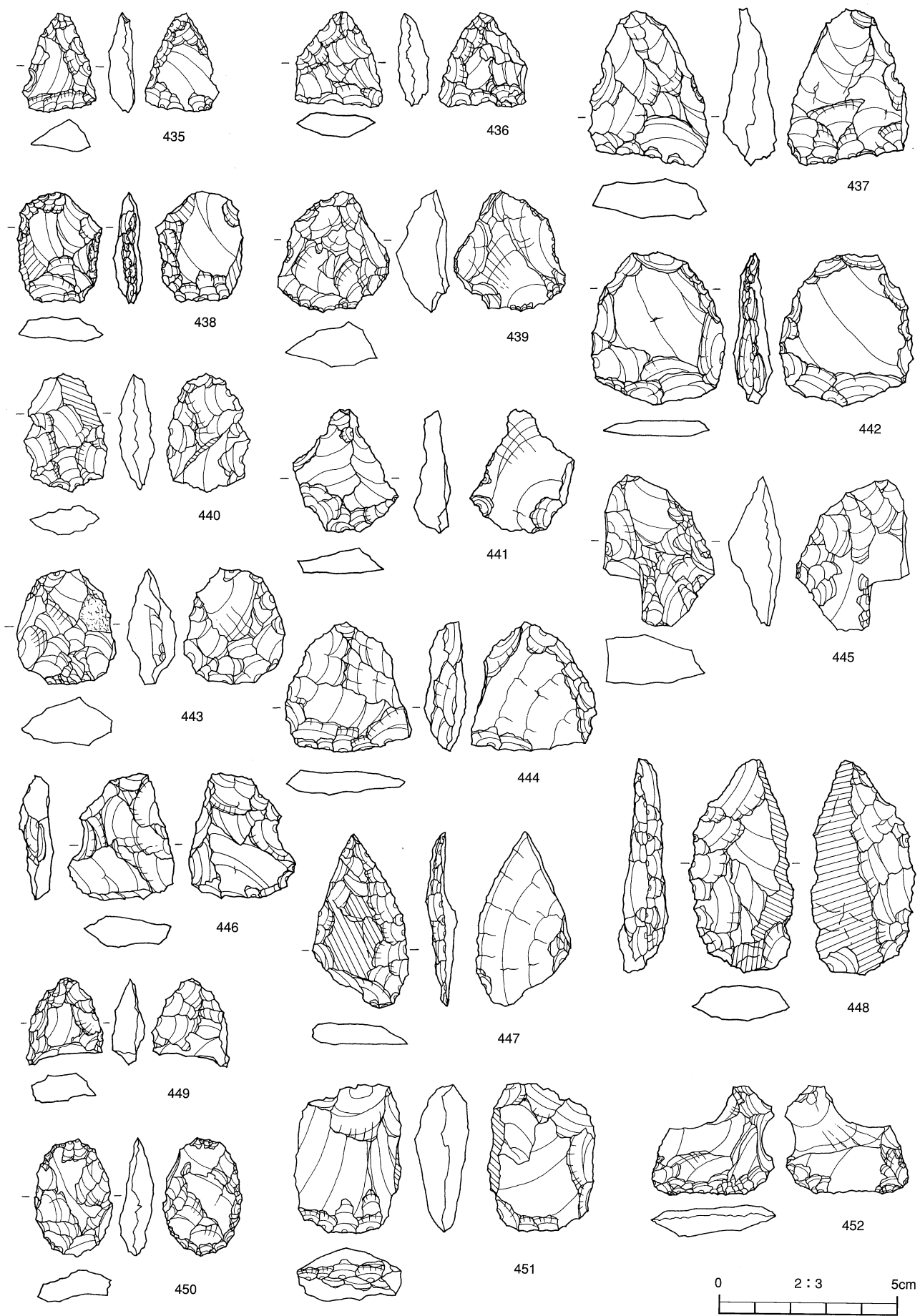
第69图 古城遺跡出土石器実測図 (22)



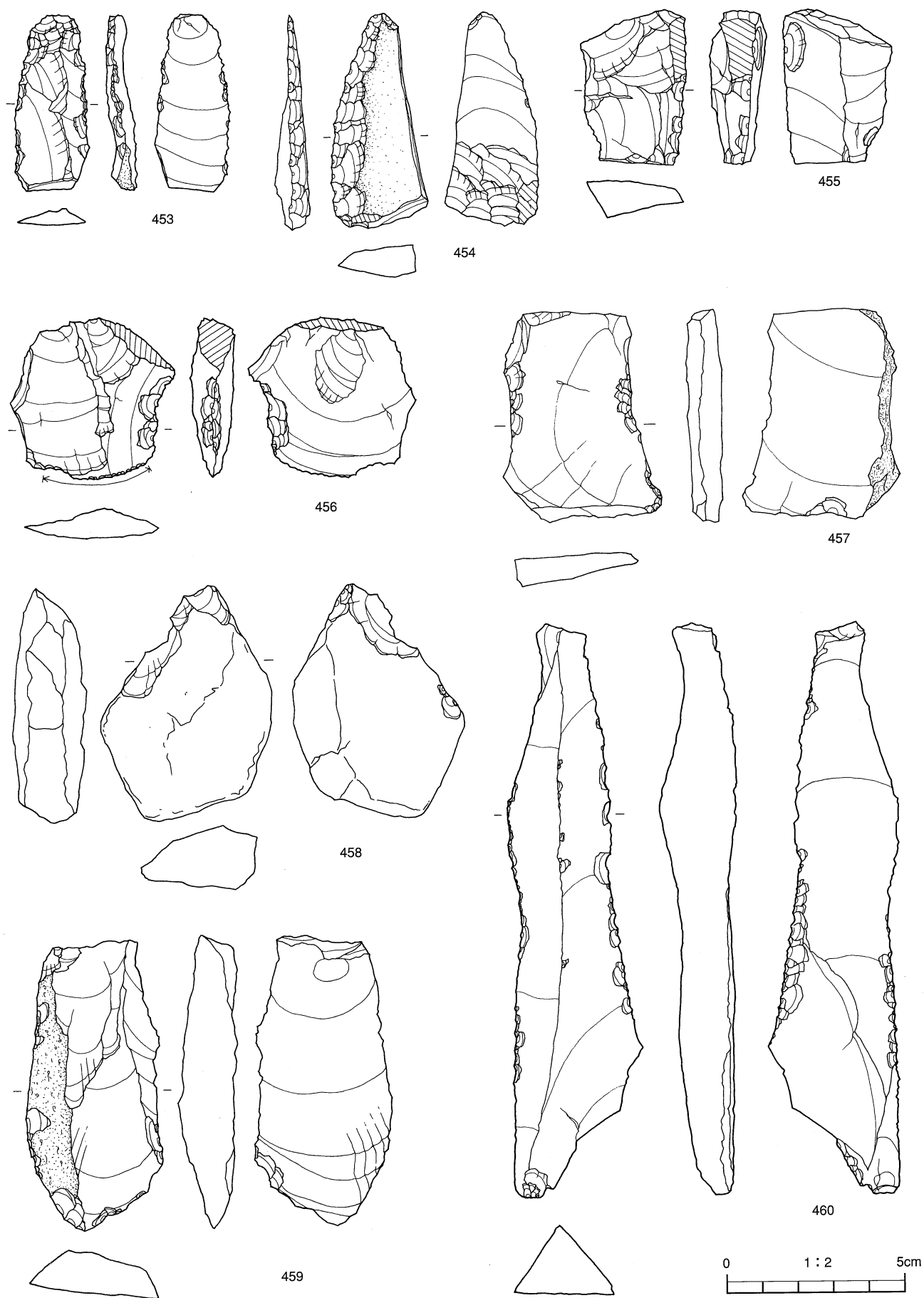
第70图 古城遗迹出土石器实测图 (23)



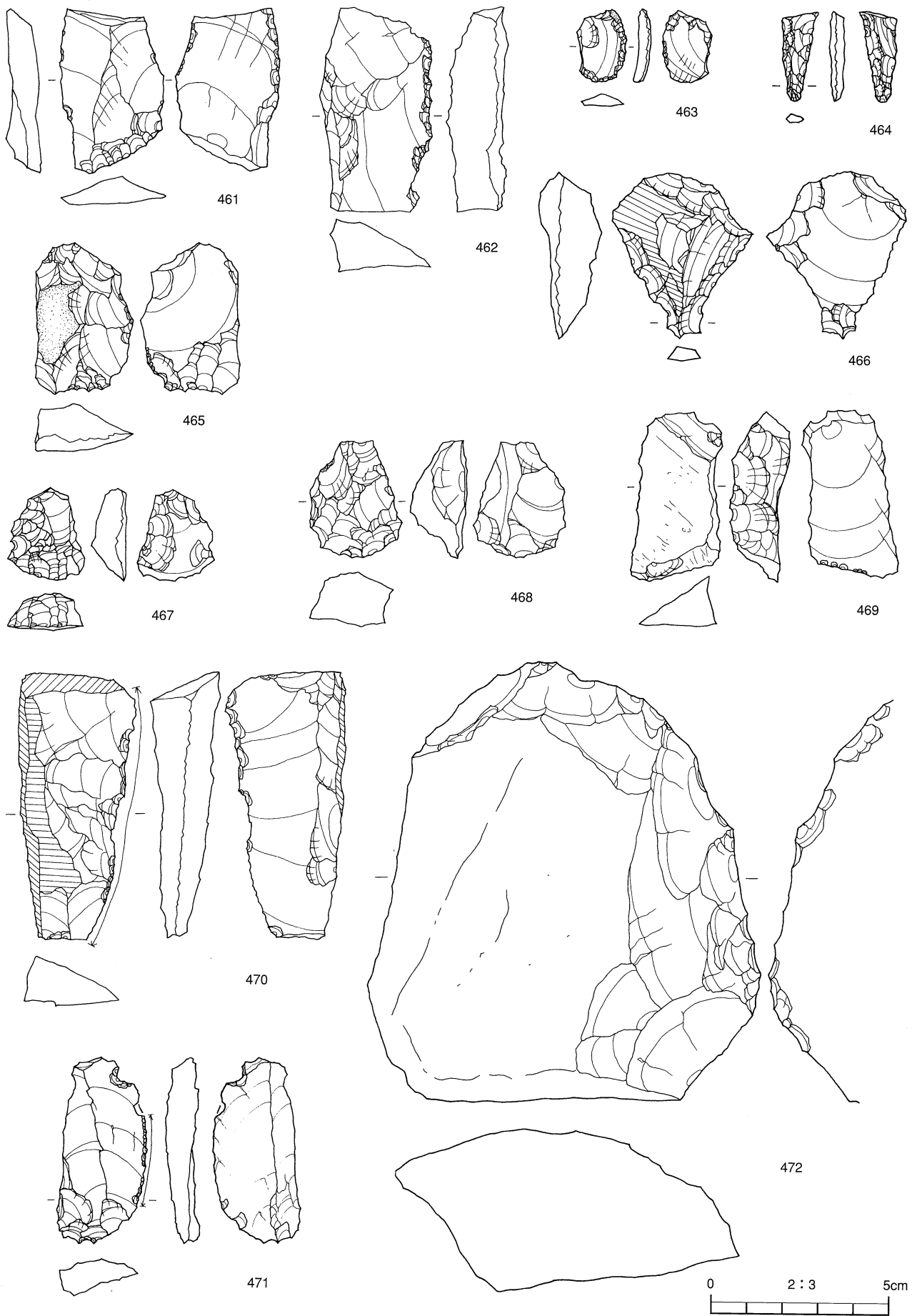
第71图 古城遺跡出土石器実測図 (24)



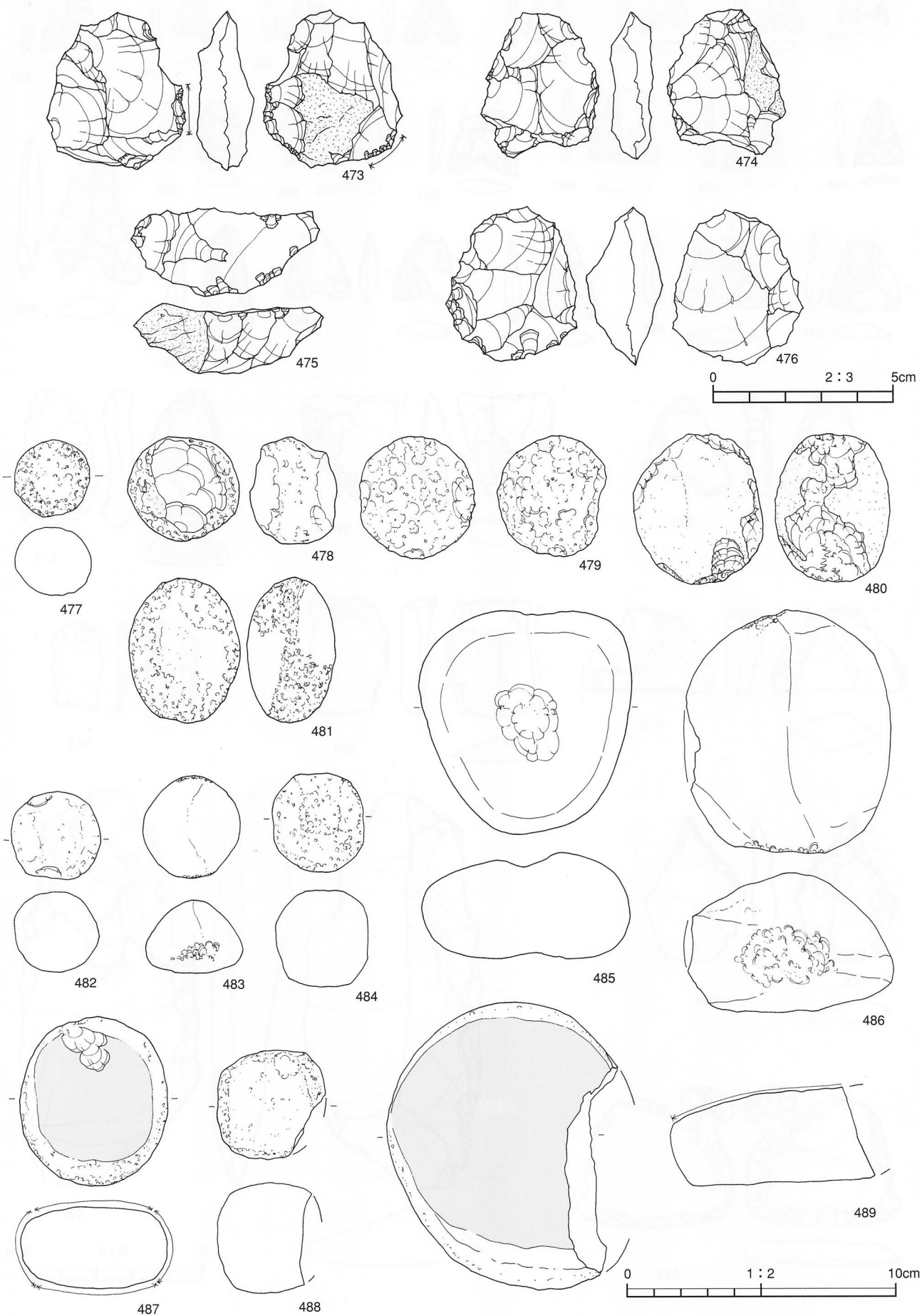
第72图 古城遺跡出土石器実測図 (25)



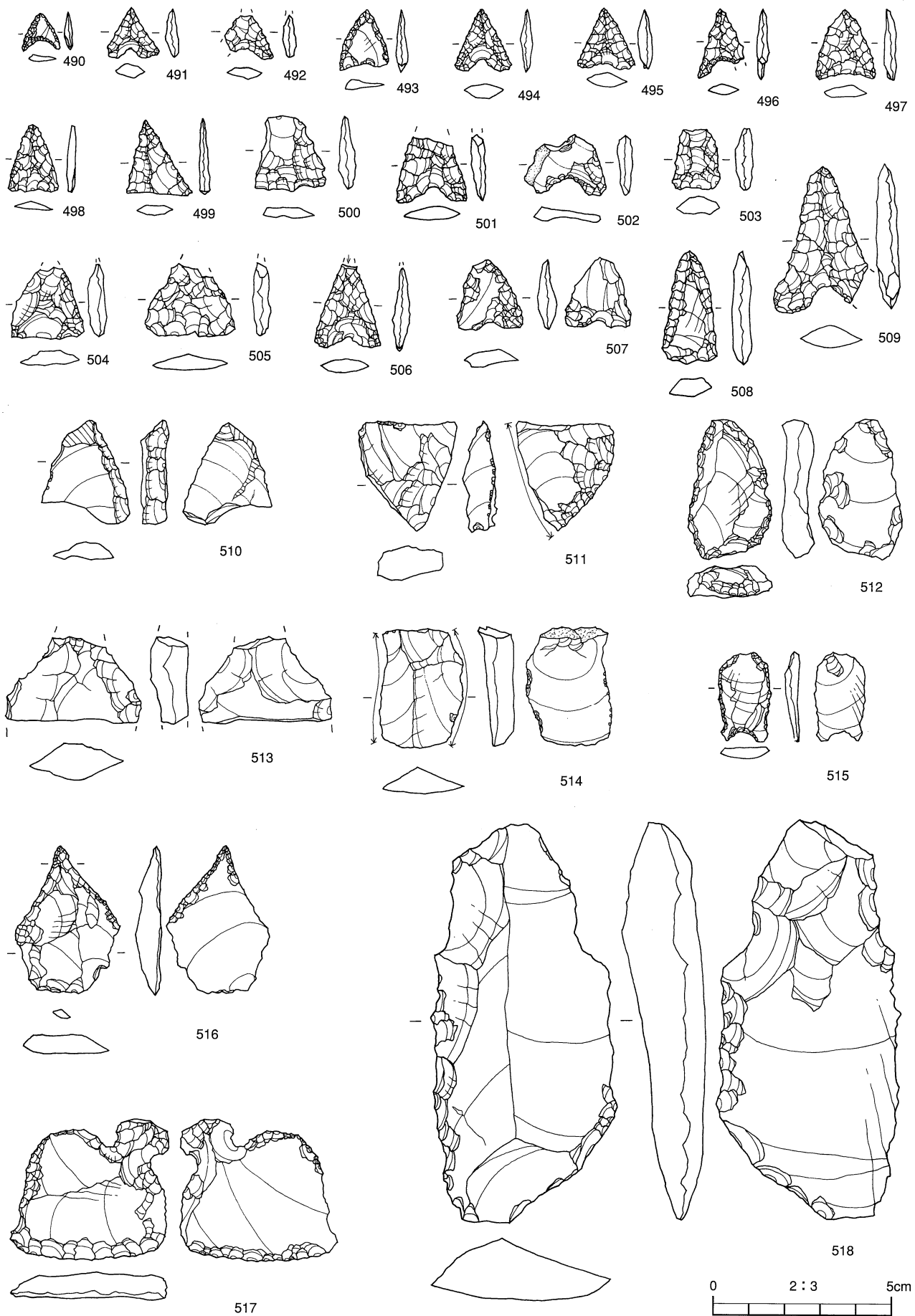
第73图 古城遗迹出土石器实测图 (26)



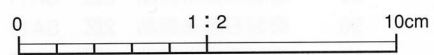
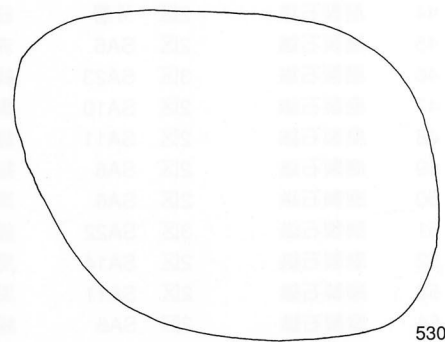
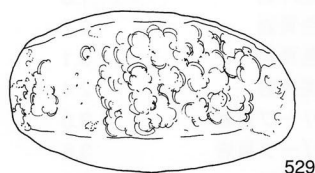
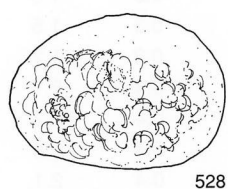
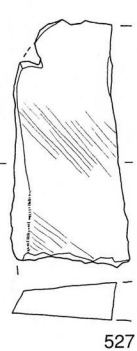
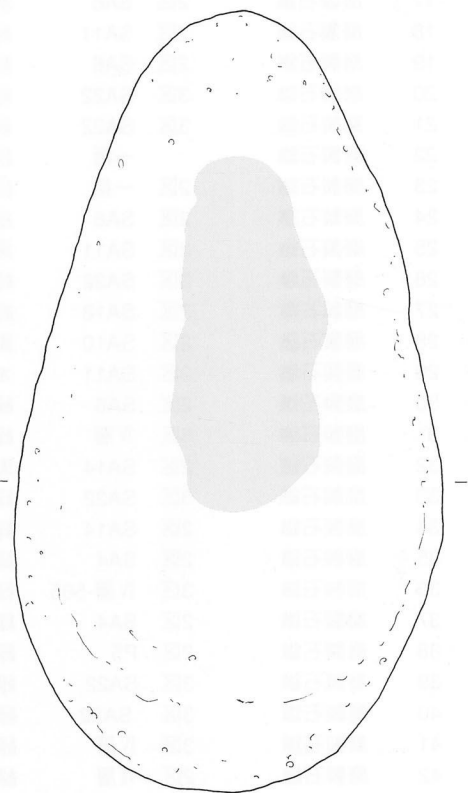
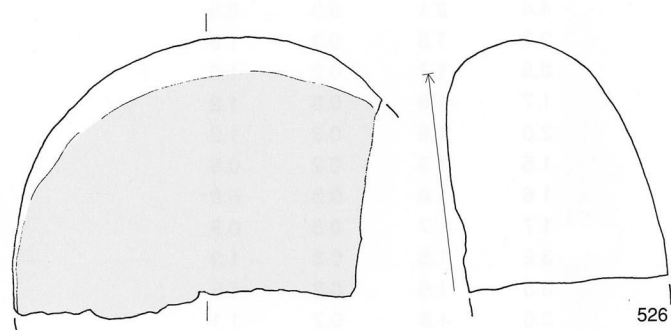
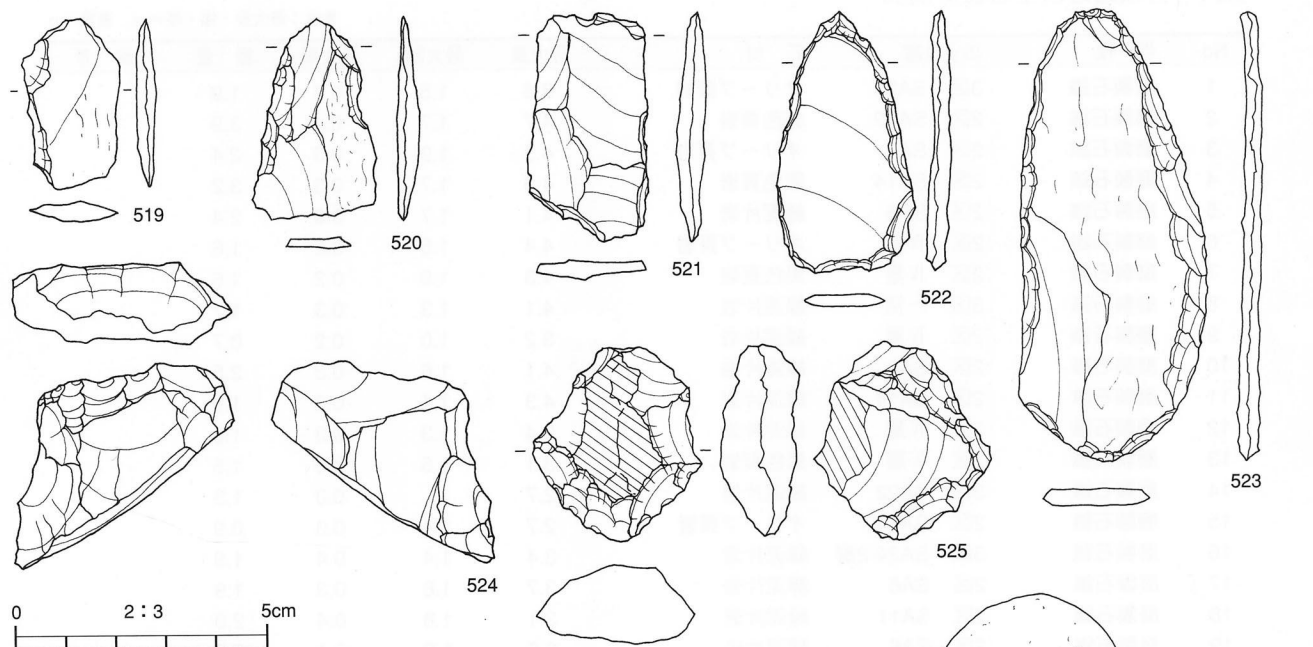
第74图 古城遺跡出土石器実測図 (27)



第75図 古城遺跡出土石器実測図 (28)



第76图 古城遺跡出土石器実測図 (29)



第77图 古城遺跡出土石器実測図 (30)

表14 古城遺跡出土石器計測表

単位：最大長・幅・厚=cm、重量=g

| No | 器種 | 出土位置 | 石材 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重量 | 備考 |
|----|---------|------------|--------|-----|-----|-----|-----|----|
| 1 | 磨製石鏃 | 3区 SA21 | オリーブ頁岩 | 3.8 | 1.5 | 0.4 | 1.9 | |
| 2 | 磨製石鏃 | 2区 SA12 | 赤色頁岩 | 4.7 | 1.7 | 0.4 | 3.9 | |
| 3 | 磨製石鏃 | 2区 SA6 | オリーブ頁岩 | 4.3 | 1.9 | 0.3 | 2.4 | |
| 4 | 磨製石鏃 | 2区 SA14 | 黒色頁岩 | 4.8 | 1.7 | 0.3 | 3.2 | |
| 5 | 磨製石鏃 | 2区 SA6 | 緑泥片岩 | 4.1 | 1.7 | 0.3 | 2.4 | |
| 6 | 磨製石鏃 | 2区 IV層 | オリーブ頁岩 | 4.4 | 1.5 | 0.2 | 1.6 | |
| 7 | 磨製石鏃 | 2区 IV層 | 黒色頁岩 | 4.3 | 1.9 | 0.2 | 1.6 | |
| 8 | 磨製石鏃 | 3区 一括 | 緑泥片岩 | 4.1 | 1.3 | 0.3 | 1.7 | |
| 9 | 磨製石鏃 | 2区 IV層 | 緑泥片岩 | 3.2 | 1.0 | 0.2 | 0.7 | |
| 10 | 磨製石鏃 | 2区 SA9 | 緑泥片岩 | 4.1 | 1.6 | 0.3 | 2.5 | |
| 11 | 磨製石鏃 | 2区 SA14 | 緑泥片岩 | 4.3 | 1.4 | 0.3 | 1.9 | |
| 12 | 磨製石鏃 | 2区 IV層 | 緑泥片岩 | 3.4 | 1.3 | 0.3 | 1.8 | |
| 13 | 磨製石鏃 | 3区 IV層 | 黒色頁岩 | 3.1 | 1.5 | 0.3 | 1.5 | |
| 14 | 磨製石鏃 | 3区 SA22 | 緑泥片岩 | 2.7 | | 0.3 | 1.3 | |
| 15 | 磨製石鏃 | 2区 SA14 | オリーブ頁岩 | 2.7 | 1.4 | 0.3 | 0.9 | |
| 16 | 磨製石鏃 | 3区 SA24-2層 | 緑泥片岩 | 3.4 | 1.4 | 0.4 | 1.9 | |
| 17 | 磨製石鏃 | 2区 SA6 | 緑泥片岩 | 3.7 | 1.6 | 0.3 | 1.9 | |
| 18 | 磨製石鏃 | 2区 SA11 | 緑泥片岩 | 3.1 | 1.8 | 0.4 | 2.0 | |
| 19 | 磨製石鏃 | 2区 SA6 | 緑泥片岩 | 0.9 | 1.0 | 0.1 | 0.3 | |
| 20 | 磨製石鏃 | 3区 SA22 | 緑泥片岩 | 1.8 | 1.8 | 0.2 | 0.8 | |
| 21 | 磨製石鏃 | 3区 SA22 | 緑泥片岩 | 1.0 | 1.0 | 0.1 | 0.1 | |
| 22 | 磨製石鏃 | 一括 | 緑泥片岩 | 2.1 | 1.5 | 0.2 | 0.9 | |
| 23 | 磨製石鏃 | 2区 一括 | 緑泥片岩 | 4.4 | 2.1 | 0.3 | 3.5 | |
| 24 | 磨製石鏃 | 2区 SA6 | 緑泥片岩 | 2.2 | 1.5 | 0.3 | 1.0 | |
| 25 | 磨製石鏃 | 2区 SA11 | 黒色頁岩 | 2.5 | 1.7 | 0.2 | 1.0 | |
| 26 | 磨製石鏃 | 3区 SA22 | 緑泥片岩 | 1.7 | 1.6 | 0.3 | 1.2 | |
| 27 | 磨製石鏃 | 2区 SA18 | 緑泥片岩 | 2.0 | 1.6 | 0.3 | 1.2 | |
| 28 | 磨製石鏃 | 2区 SA10 | 黒色頁岩 | 1.5 | 1.3 | 0.2 | 0.6 | |
| 29 | 磨製石鏃 | 2区 SA11 | オリーブ頁岩 | 1.6 | 1.6 | 0.3 | 0.9 | |
| 30 | 磨製石鏃 | 2区 SA6 | 緑泥片岩 | 1.7 | 1.7 | 0.3 | 0.8 | |
| 31 | 磨製石鏃 | 3区 IV層 | 緑泥片岩 | 3.2 | 1.5 | 0.3 | 1.3 | |
| 32 | 磨製石鏃 | 2区 SA14 | 黒色頁岩 | 3.5 | 1.6 | 0.2 | 1.6 | |
| 33 | 磨製石鏃 | 3区 SA22 | 緑泥片岩 | 2.6 | 1.3 | 0.2 | 1.1 | |
| 34 | 磨製石鏃 | 2区 SA14 | 緑泥片岩 | 3.3 | 1.8 | 0.2 | 1.5 | |
| 35 | 磨製石鏃 | 2区 SA4 | 緑泥片岩 | 3.0 | 1.9 | 0.2 | 1.8 | |
| 36 | 磨製石鏃 | 3区 IV層-565 | 緑泥片岩 | 3.3 | 1.5 | 0.2 | 1.1 | |
| 37 | 磨製石鏃 | 2区 SA4 | 緑泥片岩 | 3.2 | 1.7 | 0.3 | 2.3 | |
| 38 | 磨製石鏃 | 2区 P5 | 緑泥片岩 | 1.9 | 1.2 | 0.3 | 0.8 | |
| 39 | 磨製石鏃 | 3区 SA22 | 緑泥片岩 | 2.4 | 1.1 | 0.2 | 0.6 | |
| 40 | 磨製石鏃 | 3区 SA22 | 緑泥片岩 | 2.1 | 1.0 | 0.3 | 0.5 | |
| 41 | 磨製石鏃 | 3区 IV層 | 緑泥片岩 | 2.8 | 1.6 | 0.3 | 1.2 | |
| 42 | 磨製石鏃 | 2区 VII層 | 緑泥片岩 | 2.2 | 1.6 | 0.3 | 1.4 | |
| 43 | 磨製石鏃 | 一括 | 黒色頁岩 | 2.1 | 1.5 | 0.3 | 1.1 | |
| 44 | 磨製石鏃 | 2区 VI層 | 緑泥片岩 | 2.6 | 2.1 | 0.3 | 1.6 | |
| 45 | 磨製石鏃 | 2区 SA6 | 赤色頁岩 | 2.5 | 2.1 | 0.3 | 1.7 | |
| 46 | 磨製石鏃 | 3区 SA23 | 緑泥片岩 | 2.6 | 2.2 | 0.2 | 1.3 | |
| 47 | 磨製石鏃 | 2区 SA10 | 黒色頁岩 | 1.3 | 2.1 | 0.3 | 0.8 | |
| 48 | 磨製石鏃 | 2区 SA11 | 緑泥片岩 | 2.0 | 1.8 | 0.2 | 0.8 | |
| 49 | 磨製石鏃 | 2区 SA6 | 緑泥片岩 | 2.0 | 2.4 | 0.2 | 1.2 | |
| 50 | 磨製石鏃 | 2区 SA6 | 黒色頁岩 | 1.8 | 1.1 | 0.2 | 0.5 | |
| 51 | 磨製石鏃 | 3区 SA22 | 緑泥片岩 | 1.8 | 1.7 | 0.3 | 1.5 | |
| 52 | 磨製石鏃 | 2区 SA14 | 黒色頁岩 | 2.7 | 1.7 | 0.3 | 1.5 | |
| 53 | 磨製石鏃 | 2区 SA11 | 黒色頁岩 | 3.1 | 1.3 | 0.2 | 1.2 | |
| 54 | 磨製石鏃 | 2区 SA6 | 緑泥片岩 | 2.4 | 1.6 | 0.4 | 2.1 | |
| 55 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA11 | オリーブ頁岩 | 3.0 | 2.0 | 0.4 | 2.3 | |
| 56 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA11 | オリーブ頁岩 | 3.6 | 1.6 | 0.4 | 2.8 | |
| 57 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA11 | 黒色頁岩 | 3.6 | 1.7 | 0.4 | 2.1 | |
| 58 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA11 | オリーブ頁岩 | 3.7 | 1.7 | 0.4 | 2.6 | |

単位：最大長・幅・厚=cm、重量=g

| No | 器種 | 出土位置 | 石材 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重量 | 備考 |
|-----|---------|------------|--------|-----|-----|-----|------|----|
| 59 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA11 | 黒色頁岩 | 4.8 | 2.4 | 0.5 | 6.7 | |
| 60 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA11 | オリーブ頁岩 | 5.3 | 2.2 | 0.4 | 4.2 | |
| 61 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA11 | 緑泥片岩 | 5.5 | 2.9 | 0.5 | 7.7 | |
| 62 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA11 | 緑泥片岩 | 5.5 | 1.8 | 0.5 | 4.7 | |
| 63 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA11 | オリーブ頁岩 | 4.4 | 2.1 | 0.3 | 3.9 | |
| 64 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA11 | オリーブ頁岩 | 4.3 | 1.8 | 0.3 | 2.3 | |
| 65 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA11 | オリーブ頁岩 | 3.8 | 1.7 | 0.4 | 2.4 | |
| 66 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA11 | オリーブ頁岩 | 4.0 | 1.6 | 0.3 | 2.2 | |
| 67 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA11 | オリーブ頁岩 | 5.7 | 2.9 | 0.5 | 8.2 | |
| 68 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA11 | 緑泥片岩 | 6.5 | 2.5 | 0.4 | 7.7 | |
| 69 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA11 | 緑泥片岩 | 8.8 | 3.3 | 0.6 | 17.1 | |
| 70 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA11 | 緑泥片岩 | 8.7 | 3.5 | 0.9 | 24.5 | |
| 71 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA11 | 緑泥片岩 | 7.6 | 2.8 | 0.5 | 11.6 | |
| 72 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA11 | 黒色頁岩 | 6.3 | 3.0 | 0.7 | 13.2 | |
| 73 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA11 | 黒色頁岩 | 6.9 | 3.1 | 0.8 | 13.5 | |
| 74 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA11 | オリーブ頁岩 | 5.5 | 3.0 | 0.5 | 7.9 | |
| 75 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA9 | | 4.3 | 2.9 | 0.4 | 6.5 | |
| 76 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA9 | 黒色頁岩 | 4.8 | 2.3 | 0.6 | 7.0 | |
| 77 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA9 | 黒色頁岩 | 6.8 | 2.4 | 0.5 | 9.0 | |
| 78 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA9 | 黒色頁岩 | 7.1 | 3.0 | 0.8 | 16.5 | |
| 79 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA10 | 黒色頁岩 | 4.0 | 2.0 | 0.4 | 4.5 | |
| 80 | 磨製石鏃未製品 | 3区 SA20 | 緑泥片岩 | 4.3 | 2.1 | 0.4 | 3.0 | |
| 81 | 磨製石鏃未製品 | 3区 SA24 | 緑泥片岩 | 3.7 | 3.0 | 0.3 | 4.4 | |
| 82 | 磨製石鏃未製品 | 2区 IV層 | オリーブ頁岩 | 5.5 | 2.4 | 0.5 | 6.8 | |
| 83 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA14 | 緑泥片岩 | 3.2 | 2.3 | 0.3 | 2.7 | |
| 84 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA7 | 緑泥片岩 | 3.1 | 2.6 | 0.5 | 3.5 | |
| 85 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA6 | 緑泥片岩 | 4.4 | 2.3 | 0.4 | 3.5 | |
| 86 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA6 | 黒色頁岩 | 4.7 | 2.4 | 0.4 | 5.2 | |
| 87 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA6 | 黒色頁岩 | 5.6 | 2.6 | 0.6 | 9.4 | |
| 88 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA6 | 緑泥片岩 | 5.0 | 2.5 | 0.5 | 5.9 | |
| 89 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA6 | 黒色頁岩 | 5.5 | 2.9 | 0.6 | 10.0 | |
| 90 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA6 | 緑泥片岩 | 4.7 | 2.9 | 0.5 | 7.1 | |
| 91 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA6 | 緑泥片岩 | 3.8 | 2.4 | 0.4 | 2.9 | |
| 92 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA12 | 黒色頁岩 | 4.4 | 2.9 | 0.5 | 5.2 | |
| 93 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA12 | 黒色頁岩 | 5.8 | 2.5 | 0.4 | 5.9 | |
| 94 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA12 | 黒色頁岩 | 6.1 | 2.5 | 0.5 | 8.0 | |
| 95 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA12 | 黒色頁岩 | 4.8 | 3.0 | 0.5 | 7.3 | |
| 96 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA12 | 黒色頁岩 | 7.4 | 2.5 | 0.8 | 15.6 | |
| 97 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA12 | 黒色頁岩 | 7.2 | 2.8 | 0.7 | 14.5 | |
| 98 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA12 | 黒色頁岩 | 6.8 | 3.6 | 1.0 | 22.6 | |
| 99 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA12 | 黒色頁岩 | 6.0 | 3.0 | 0.6 | 9.7 | |
| 100 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA12 | 黒色頁岩 | 6.3 | 2.8 | 0.6 | 10.4 | |
| 101 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA12 | 黒色頁岩 | 5.9 | 2.3 | 0.6 | 8.6 | |
| 102 | 磨製石鏃未製品 | 3区 SA22 | 緑泥片岩 | 3.9 | 1.8 | 0.4 | 4.0 | |
| 103 | 磨製石鏃未製品 | 3区 SA22 | オリーブ頁岩 | 5.4 | 2.9 | 0.6 | 9.3 | |
| 104 | 磨製石鏃未製品 | 3区 SA22 | 緑泥片岩 | 5.1 | 3.1 | 0.4 | 8.5 | |
| 105 | 磨製石鏃未製品 | 3区 SA22 | 緑泥片岩 | 2.1 | 1.8 | 0.3 | 1.7 | |
| 106 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA5 | 緑泥片岩 | 3.0 | 1.5 | 0.2 | 1.2 | |
| 107 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA5 | 緑泥片岩 | 6.0 | 2.4 | 0.5 | 9.6 | |
| 108 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA18 | 黒色頁岩 | 5.2 | 2.2 | 0.3 | 4.1 | |
| 109 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA18 | 緑泥片岩 | 5.8 | 2.8 | 0.3 | 9.8 | |
| 110 | 磨製石鏃未製品 | 2区 SA4 | 緑泥片岩 | 7.9 | 2.8 | 0.6 | 15.7 | |
| 111 | 磨製石鏃未製品 | 2区 P30 | 黒色頁岩 | 8.5 | 4.0 | 0.6 | 31.7 | |
| 112 | 磨製石鏃未製品 | 2区 IV層 | 黒色頁岩 | 4.2 | 1.8 | 0.5 | 4.0 | |
| 113 | 磨製石鏃未製品 | 2区 IV層 | 結晶片岩 | 4.1 | 2.2 | 0.4 | 4.6 | |
| 114 | 磨製石鏃未製品 | 2区 IV層 | 緑泥片岩 | 3.6 | 2.4 | 0.3 | 2.6 | |
| 115 | 磨製石鏃未製品 | 3区 IV層-608 | 黒色頁岩 | 3.5 | 2.4 | 0.5 | 3.3 | |
| 116 | 磨製石鏃未製品 | 3区 IV層 | 緑泥片岩 | 3.9 | 2.6 | 0.4 | 4.3 | |
| 117 | 磨製石鏃未製品 | 3区 IV層-505 | 緑泥片岩 | 3.1 | 1.6 | 0.2 | 1.6 | |

単位：最大長・幅・厚=cm、重量=g

| No | 器種 | 出土位置 | 石材 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重量 | 備考 |
|-----|---------|------------|--------|-----|-----|-----|-------|----|
| 118 | 磨製石鏃未製品 | 3区 IV層 | 緑泥片岩 | 3.5 | 1.9 | 0.3 | 2.5 | |
| 119 | 磨製石鏃未製品 | 3区 IV層-525 | 黒色頁岩 | 4.5 | 3.0 | 0.4 | 5.2 | |
| 120 | 磨製石鏃未製品 | 3区 IV層 | 黒色頁岩 | 4.9 | 3.7 | 0.6 | 12.4 | |
| 121 | 磨製石鏃未製品 | 3区 IV層-609 | 黒色頁岩 | 4.6 | 3.6 | 0.4 | 6.9 | |
| 122 | 磨製石鏃未製品 | 2区 IV層 | 凝灰岩 | 4.8 | 3.7 | 0.4 | 7.6 | |
| 123 | 磨製石鏃未製品 | 2区 IV層 | 結晶片岩 | 5.5 | 2.9 | 0.4 | 9.1 | |
| 124 | 石核 | 3区 IV層 | オリーブ頁岩 | 5.9 | 4.6 | 1.0 | 27.5 | |
| 125 | 石核 | 3区 IV層 | 緑泥片岩 | 8.1 | 6.4 | 0.9 | 42.4 | |
| 126 | 石核 | 2区 IV層 | オリーブ頁岩 | 8.7 | 8.0 | 2.0 | 131.9 | |
| 127 | 石鏃 | 1区 III層 | チャート | 2.0 | 1.5 | 0.4 | 0.8 | |
| 128 | 石鏃 | 3区 IV層 | チャート | 1.3 | 1.6 | 0.2 | 0.5 | |
| 129 | 石鏃 | 3区 IV層 | チャート | 1.6 | 1.4 | 0.4 | 0.3 | |
| 130 | 石鏃 | 3区 IV層 | チャート | 1.7 | 1.6 | 0.3 | 0.5 | |
| 131 | 石鏃 | 3区 IV層 | チャート | 2.0 | 1.5 | 0.4 | 0.7 | |
| 132 | 石鏃 | 2区 IV層 | チャート | 2.4 | 1.5 | 0.4 | 1.2 | |
| 133 | 石鏃 | 2区 IV層 | 安山岩 | 2.4 | 1.3 | 0.3 | 0.8 | |
| 134 | 石鏃 | 1区 IV層 | チャート | 2.3 | 1.6 | 0.4 | 0.8 | |
| 135 | 石鏃 | 2区 IV層 | チャート | 1.3 | 1.4 | 0.2 | 0.3 | |
| 136 | 石鏃 | 2区 SA11 | チャート | 1.3 | 1.6 | 0.3 | 0.4 | |
| 137 | 石鏃 | 2区 SA6 | チャート | 1.6 | 1.5 | 0.2 | 0.5 | |
| 138 | 石鏃 | 3区 SA22 | チャート | 1.8 | 1.6 | 0.2 | 0.4 | |
| 139 | 石鏃 | 2区 SA6 | チャート | 1.6 | 1.4 | 0.3 | 0.7 | |
| 140 | 石鏃 | 2区 SC01-3 | チャート | 2.0 | 1.2 | 0.3 | 0.4 | |
| 141 | 石鏃 | 3区 SA21 | チャート | 1.8 | 1.5 | 0.5 | 0.9 | |
| 142 | 石鏃 | 2区 SA6 | チャート | 2.0 | 1.7 | 0.4 | 0.9 | |
| 143 | 石鏃 | 3区 SA22 | チャート | 2.1 | 1.5 | 0.3 | 0.7 | |
| 144 | 石鏃 | 3区 SA23 | 水晶 | 2.0 | 1.8 | 0.3 | 0.9 | |
| 145 | 石鏃 | 2区 SA11 | チャート | 2.1 | 2.0 | 0.4 | 1.1 | |
| 146 | 石鏃 | 3区 SA19 | チャート | 2.1 | 1.5 | 0.6 | 1.6 | |
| 147 | 石鏃 | 2区 SA14 | チャート | 2.5 | 1.8 | 0.4 | 1.6 | |
| 148 | 石鏃 | 2区 SA18 | チャート | 2.8 | 2.2 | 0.5 | 1.8 | |
| 149 | 石鏃 | 2区 SA18 | チャート | 2.5 | 2.2 | 0.5 | 2.0 | |
| 150 | 石鏃 | 2区 SA18 | チャート | 2.6 | 2.1 | 0.6 | 1.7 | |
| 151 | 石鏃 | 2区 SA14 | チャート | 2.1 | 1.4 | 0.3 | 0.5 | |
| 152 | 石鏃 | 2区 SA5 | チャート | 1.9 | 1.6 | 0.3 | 0.9 | |
| 153 | 石鏃 | 2区 SC1 | 安山岩 | 2.7 | 1.4 | 0.3 | 0.8 | |
| 154 | 石鏃 | 3区 SA22 | チャート | 2.6 | 1.5 | 0.6 | 1.3 | |
| 155 | 石鏃 | 3区 SA23 | 安山岩 | 2.0 | 1.7 | 0.5 | 1.3 | |
| 156 | 石鏃 | 3区 SA23 | チャート | 1.4 | 2.0 | 0.5 | 1.3 | |
| 157 | 石鏃 | 3区 SA19 | チャート | 1.7 | 1.9 | 0.4 | 1.2 | |
| 158 | 石鏃 | 2区 SA9 | チャート | 2.3 | 1.7 | 0.4 | 1.2 | |
| 159 | 石鏃 | 2区 SA12 | チャート | 2.1 | 1.6 | 0.4 | 0.8 | |
| 160 | 石鏃 | 2区 SA14 | 姫島Ob | 2.7 | 1.7 | 0.5 | 1.0 | |
| 161 | 石鏃 | 2区 SC1 | チャート | 3.0 | 2.3 | 0.6 | 1.6 | |
| 162 | 石鏃 | 3区 SA19 | チャート | 2.7 | 1.9 | 0.7 | 2.5 | |
| 163 | 石鏃 | 2区 SA18 | チャート | 2.8 | 1.6 | 0.4 | 1.5 | |
| 164 | 石鏃 | 1区 SE1 | 姫島Ob | 3.0 | 1.8 | 0.8 | 2.3 | |
| 165 | 石鏃 | 2区 IV層 | Ob | 1.8 | 1.6 | 0.5 | 1.1 | |
| 166 | 石鏃 | 3区 SA19 | チャート | 1.9 | 1.5 | 0.3 | 0.9 | |
| 167 | 石鏃 | 3区 SA19 | チャート | 2.3 | 1.6 | 0.4 | 1.7 | |
| 168 | 石鏃 | 2区 SA14 | チャート | 2.5 | 2.2 | 0.6 | 2.5 | |
| 169 | 石鏃 | 2区 SA6 | チャート | 2.7 | 2.8 | 0.7 | 3.6 | |
| 170 | 石鏃 | 2区 SA6 | チャート | 2.3 | 1.7 | 0.6 | 1.8 | |
| 171 | 石鏃 | 2区 IV層 | 安山岩 | 2.2 | 1.5 | 0.4 | 1.0 | |
| 172 | 石鏃 | 3区 SA19 | チャート | 2.8 | 1.9 | 0.7 | 3.7 | |
| 173 | 石鏃 | 3区 SA19 | チャート | 2.5 | 1.9 | 0.5 | 1.9 | |
| 174 | 石鏃 | 3区 SA22 | 安山岩 | 2.4 | 2.0 | 0.4 | 1.2 | |
| 175 | 石鏃 | 2区 SA6 | チャート | 2.9 | 2.2 | 0.6 | 3.5 | |
| 176 | 石鏃 | 2区 SA6 | チャート | 2.6 | 1.9 | 0.5 | 2.0 | |

単位：最大長・幅・厚=cm、重量=g

| No | 器種 | 出土位置 | 石材 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重量 | 備考 |
|-----|-------|------------|------|------|------|-----|-------|----|
| 177 | 石鏃 | 2区 SA9 | チャート | 2.6 | 1.5 | 0.5 | 1.9 | |
| 178 | 石鏃 | 2区 SA14 | チャート | 2.9 | 1.6 | 0.4 | 1.5 | |
| 179 | 石鏃 | 2区 SA11 | チャート | 2.5 | 2.0 | 0.4 | 1.3 | |
| 180 | 石鏃 | 1区 SE1 | チャート | 3.8 | 2.3 | 0.6 | 3.1 | |
| 181 | 石鏃 | 2区 SA5 | 姫島Ob | 1.7 | 1.8 | 0.3 | 0.6 | |
| 182 | 石鏃 | 2区 SA12 | チャート | 2.1 | 1.8 | 0.4 | 1.1 | |
| 183 | 尖頭器 | 2区 P14 | 流紋岩 | 5.1 | 2.3 | 0.8 | 9.7 | |
| 184 | 尖頭器 | 2区 IV層 | 流紋岩 | 6.7 | 3.7 | 1.8 | 34.5 | |
| 185 | 石鏃未製品 | 3区 SA22 | チャート | 2.4 | 1.5 | 0.5 | 1.4 | |
| 186 | 石鏃未製品 | 3区 IV層 | チャート | 3.0 | 2.0 | 0.7 | 4.7 | |
| 187 | 石鏃未製品 | 2区 IV層 | チャート | 3.0 | 2.3 | 0.9 | 4.5 | |
| 188 | 石鏃未製品 | 2区 SC01 | チャート | 3.3 | 2.8 | 1.1 | 9.5 | |
| 189 | 石鏃未製品 | 2区 SA5 | チャート | 4.0 | 2.6 | 1.0 | 7.0 | |
| 190 | 石鏃未製品 | 3区 IV層 | チャート | 3.0 | 1.8 | 0.5 | 2.6 | |
| 191 | 石鏃未製品 | 2区 風倒木 | チャート | 3.5 | 3.0 | 1.5 | 13.1 | |
| 192 | 石鏃未製品 | 2区 SA14 | チャート | 4.1 | 3.2 | 1.2 | 18.3 | |
| 193 | 石鏃未製品 | 3区 SA19 | チャート | 2.8 | 2.6 | 1.0 | 6.3 | |
| 194 | 石鏃未製品 | 1区 SE1 | チャート | 3.2 | 2.7 | 0.8 | 7.9 | |
| 195 | 石鏃未製品 | 3区 SA22 | チャート | 4.0 | 2.3 | 1.0 | 8.0 | |
| 196 | 石鏃未製品 | 2区 IV層 | チャート | 2.5 | 2.3 | 0.8 | 4.3 | |
| 197 | 石鏃未製品 | 3区 SA19 | チャート | 4.5 | 3.6 | 1.1 | 16.9 | |
| 198 | 石鏃未製品 | 2区 風倒木 | チャート | 3.8 | 2.3 | 1.4 | 10.8 | |
| 199 | 石鏃未製品 | 2区 SA18 | チャート | 3.4 | 2.6 | 0.9 | 7.3 | |
| 200 | 石鏃未製品 | 3区 IV層 | チャート | 4.4 | 3.6 | 1.6 | 21.8 | |
| 201 | 削器 | 2区 SA6 | チャート | 1.9 | 2.6 | 0.6 | 2.8 | |
| 202 | 削器 | 2区 SA11 | チャート | 2.3 | 2.2 | 0.8 | 3.4 | |
| 203 | 削器 | 1区 SE1 | 安山岩 | 3.5 | 2.0 | 0.7 | 4.9 | |
| 204 | 削器 | 2区 SA14 | 安山岩 | 3.7 | 2.3 | 1.0 | 5.1 | |
| 205 | 削器 | 2区 SA14 | チャート | 4.3 | 3.0 | 1.1 | 14.3 | |
| 206 | 削器 | 2区 SA14 | 安山岩 | 4.6 | 3.1 | 1.2 | 15.7 | |
| 207 | 削器 | 1区 IV層 | 安山岩 | 2.6 | 2.7 | 0.4 | 3.4 | |
| 208 | 削器 | 2区 IV層 | 凝灰岩 | 5.4 | 3.5 | 0.7 | 15.1 | |
| 209 | 削器 | 3区 IV層 | チャート | 3.6 | 2.9 | 1.2 | 13.7 | |
| 210 | 削器 | 2区 SA13 | 凝灰岩 | 7.4 | 4.6 | 0.8 | 29.5 | |
| 211 | 削器 | 2区 SA7 | 凝灰岩 | 19.6 | 11.2 | 3.3 | 569.4 | |
| 212 | 削器 | 2区 IV層 | チャート | 8.4 | 3.2 | 0.9 | 28.6 | |
| 213 | 削器 | 1区 N12W3 | 凝灰岩 | 7.4 | 5.8 | 1.5 | 79.7 | |
| 214 | 削器 | 3区 IV層 | 安山岩 | 13.9 | 12.5 | 3.5 | 462.1 | |
| 215 | 楔形石器 | 3区 SA19 | チャート | 2.1 | 1.6 | 0.7 | 2.8 | |
| 216 | 楔形石器 | 3区 IV層-494 | チャート | 2.3 | 2.3 | 0.8 | 4.3 | |
| 217 | 楔形石器 | 2区 SA11 | チャート | 2.1 | 1.6 | 0.6 | 1.9 | |
| 218 | 石匙 | 2区 SA18 | 黒Ob | 1.8 | 2.1 | 0.6 | 1.2 | |
| 219 | 石匙 | 2区 SA16炉址 | チャート | 4.4 | 3.8 | 1.1 | 11.9 | |
| 220 | 石匙 | 2区 IV層 | チャート | 4.2 | 3.4 | 1.0 | 9.7 | |
| 221 | 削器 | 4区 IV層 | 流紋岩 | 8.8 | 5.5 | 1.5 | 67.3 | |
| 222 | 石錐 | 3区 SA22 | チャート | 3.1 | 1.5 | 0.8 | 2.7 | |
| 223 | 石錐 | 2区 SA5 | チャート | 3.0 | 1.4 | 0.6 | 1.8 | |
| 224 | 石錐 | 2区 SA14 | チャート | 3.7 | 1.5 | 0.8 | 3.8 | |
| 225 | 石錐 | 2区 IV層 | チャート | 3.9 | 1.4 | 0.7 | 2.9 | |
| 226 | 石錐 | 2区 SA6 | チャート | 3.6 | 2.5 | 0.8 | 5.4 | |
| 227 | 石錐 | 3区 SA23 | チャート | 2.5 | 5.5 | 0.3 | 0.4 | |
| 228 | 石錐 | 2区 SA5 | チャート | 5.0 | 4.2 | 1.1 | 18.7 | |
| 229 | 搔器 | 2区 SA9 | チャート | 2.5 | 3.0 | 0.8 | 6.0 | |
| 230 | 搔器 | 2区 SA11 | チャート | 3.2 | 2.7 | 1.3 | 8.8 | |
| 231 | 搔器 | 2区 SA9 | チャート | 2.7 | 2.7 | 0.8 | 5.0 | |
| 232 | 搔器 | 2区 SA14 | チャート | 3.0 | 2.8 | 1.1 | 8.2 | |
| 233 | 搔器 | 2区 IV層 | チャート | 2.9 | 3.1 | 1.1 | 9.5 | |
| 234 | 搔器 | 2区 SA14 | チャート | 2.9 | 2.8 | 1.0 | 7.0 | |
| 235 | 剥片 | 2区 SA6 | 黒Ob | 3.5 | 1.3 | 0.6 | 1.8 | |

単位：最大長・幅・厚=cm、重量=g

| No | 器種 | 出土位置 | 石材 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重量 | 備考 |
|-----|--------|-----------|-------|------|------|-----|---------|----|
| 236 | 剥片 | 2区 IV層 | 黒Ob | 4.4 | 1.8 | 0.9 | 5.1 | |
| 237 | 微細剥離剥片 | 3区 IV層 | チャート | 5.4 | 2.3 | 1.2 | 11.7 | |
| 238 | 石核 | 2区 IV層 | チャート | 3.0 | 2.7 | 1.1 | 8.0 | |
| 239 | 石核 | 2区 IV層 | チャート | 3.7 | 3.1 | 1.7 | 22.6 | |
| 240 | 石核 | 2区 IV層 | チャート | 3.5 | 4.8 | 1.7 | 23.8 | |
| 241 | 石核 | 2区 IV層 | チャート | 4.2 | 3.9 | 1.8 | 27.1 | |
| 242 | 石核 | 2区 IV層 | チャート | 2.4 | 3.8 | 0.7 | 7.9 | |
| 243 | 石核 | 2区 SA16炉址 | Ob | 1.3 | 2.4 | 2.2 | 3.6 | |
| 244 | 石核 | 2区 IV層 | チャート | 3.0 | 3.7 | 1.2 | 12.5 | |
| 245 | 石核 | 2区 SA12 | チャート | 4.1 | 5.3 | 1.7 | 27.2 | |
| 246 | 石核 | 2区 SA11 | チャート | 3.8 | 3.1 | 1.8 | 22.2 | |
| 247 | 石核 | 2区 SA11 | チャート | 2.6 | 5.8 | 1.8 | 34.4 | |
| 248 | 石核 | 2区 SA11 | チャート | 3.3 | 2.9 | 1.4 | 15.7 | |
| 249 | 石核 | 2区 IV層 | チャート | 4.4 | 4.3 | 1.4 | 23.4 | |
| 250 | 石核 | 2区 SA7 | チャート | 5.2 | 5.0 | 4.5 | 136.3 | |
| 251 | 石核 | 2区 SA11 | チャート | 4.0 | 2.6 | 1.4 | 14.6 | |
| 252 | 石核 | 3区 SA20 | チャート | 3.4 | 3.1 | 1.3 | 14.2 | |
| 253 | 石核 | 2区 IV層 | チャート | 4.8 | 2.8 | 1.6 | 19.7 | |
| 254 | 石核 | 2区 SA13 | 安山岩 | 9.9 | 9.1 | 2.3 | 220.0 | |
| 255 | 石核 | 2区 SA9 | 凝灰岩 | 15.1 | 10.8 | 6.1 | 988.6 | |
| 256 | 石核 | 2区 IV層 | チャート | 2.4 | 3.4 | 1.3 | 6.2 | |
| 257 | 石核 | 3区 IV層-39 | チャート | 2.3 | 2.8 | 2.0 | 13.0 | |
| 258 | 石核 | 2区 IV層 | チャート | 6.0 | 3.5 | 2.9 | 35.7 | |
| 259 | 石核 | 2区 IV層 | チャート | 3.4 | 1.8 | 1.0 | 6.7 | |
| 260 | 石核 | 2区 IV層 | チャート | 4.0 | 5.5 | 3.4 | 63.4 | |
| 261 | 石核 | 2区 IV層 | チャート | 3.7 | 3.4 | 3.0 | 35.4 | |
| 262 | 石核 | 2区 IV層 | チャート | 3.6 | 3.8 | 1.6 | 22.0 | |
| 263 | 石核 | 2区 IV層 | チャート | 3.7 | 4.1 | 2.9 | 35.4 | |
| 264 | 石核 | 2区 IV層 | チャート | 2.5 | 4.6 | 1.8 | 17.6 | |
| 265 | 石核 | 2区 IV層 | チャート | 5.9 | 2.6 | 1.7 | 14.0 | |
| 266 | 台石 | 2区 SC01 | 安山岩 | 11.0 | 11.3 | 3.9 | 632.6 | |
| 267 | 原石 | 2区 IV層 | 黒Ob | 10.0 | 7.0 | 3.8 | 383.3 | |
| 268 | 敲石 | 2区 SA6 | チャート | 4.5 | 3.5 | 2.8 | 54.3 | |
| 269 | 敲石 | 2区 SA7 | チャート | 5.4 | 5.4 | 2.5 | 91.6 | |
| 270 | 敲石 | 2区 SC1 | 砂岩 | 5.5 | 6.0 | 2.6 | 121.3 | |
| 271 | 敲石 | 2区 SA7 | 結晶片岩 | 14.2 | 4.2 | 2.2 | 174.1 | |
| 272 | 敲石 | 3区 SA19 | 砂岩 | 4.1 | 4.1 | 4.0 | 94.7 | |
| 273 | 敲石 | 2区 SA11 | 砂岩 | 7.1 | 6.3 | 0.3 | 180.1 | |
| 274 | 磨石 | 2区 IV層 | 安山岩 | 5.2 | 5.1 | 3.8 | 145.7 | |
| 275 | 磨石 | 2区 IV層 | 尾鈴酸性岩 | 12.4 | 9.2 | 5.8 | 990.0 | |
| 276 | 磨石 | 2区 SA5-1 | 安山岩 | 10.5 | 9.1 | 4.0 | 588.0 | |
| 277 | 磨石 | 2区 SA5-2 | 安山岩 | 9.9 | 10.8 | 6.5 | 950.0 | |
| 278 | 砥石 | 2区 SA22-1 | 砂岩 | 18.2 | 10.1 | 4.0 | 1,104.0 | |
| 279 | 砥石 | 2区 SA14 | 砂岩 | 15.6 | 12.9 | 2.5 | 747.1 | |
| 280 | 砥石 | 4区 SA22-2 | 礫岩 | 14.2 | 15.6 | 8.5 | 2,500.0 | |
| 281 | 石皿 | 3区 IV層 | 礫岩 | 21.8 | 15.9 | 5.8 | 2,595.0 | |
| 282 | 打製石斧 | 2区 SA12 | 凝灰岩 | 8.5 | 5.9 | 1.6 | 89.9 | |
| 283 | 打製石斧 | 2区 SA6 | 凝灰岩 | 9.7 | 7.0 | 2.2 | 156.1 | |
| 284 | 打製石斧 | 2区 SA20 | 片岩 | 10.9 | 6.0 | 1.6 | 150.0 | |
| 285 | 打製石斧 | 2区 IV層 | 凝灰岩 | 11.9 | 5.4 | 1.7 | 119.3 | |
| 286 | 打製石斧 | 2区 SA6 | 片岩 | 10.3 | 6.4 | 1.1 | 115.0 | |
| 287 | 打製石斧 | 2区 SA4 | 凝灰岩 | 9.7 | 7.0 | 1.1 | 87.4 | |
| 288 | 打製石斧 | 2区 SA6 | 凝灰岩 | 14.0 | 6.8 | 1.9 | 209.5 | |
| 289 | 打製石斧 | 2区 SA6 | 凝灰岩 | 14.3 | 5.4 | 2.4 | 190.9 | |
| 290 | 打製石斧 | 3区 SA21 | 凝灰岩 | 16.9 | 6.1 | 2.3 | 181.7 | |
| 291 | 打製石斧 | 2区 SA13 | 凝灰岩 | 10.8 | 5.9 | 1.6 | 112.3 | |
| 292 | 打製石斧 | 2区 SC01 | 凝灰岩 | 11.3 | 4.9 | 1.6 | 89.1 | |
| 293 | 打製石斧 | 3区 IV層 | 凝灰岩 | 12.7 | 5.5 | 1.1 | 82.2 | |
| 294 | 打製石斧 | 3区 IV層 | 凝灰岩 | 14.3 | 4.8 | 1.5 | 98.2 | |

単位：最大長・幅・厚=cm、重量=g

| No | 器種 | 出土位置 | 石材 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重量 | 備考 |
|-----|------|------------|------|------|------|-----|-------|----|
| 295 | 打製石斧 | 2区 SA18 | 玄武岩 | 13.0 | 6.5 | 1.3 | 108.6 | |
| 296 | 打製石斧 | 2区 IV層 | 凝灰岩 | 12.1 | 6.5 | 2.0 | 132.3 | |
| 297 | 打製石斧 | 3区 IV層 | 砂岩 | 10.1 | 6.1 | 1.9 | 122.8 | |
| 298 | 打製石斧 | 3区 一括 | 片岩 | 13.3 | 7.4 | 1.7 | 121.3 | |
| 299 | 打製石斧 | 3区 SA22 | 凝灰岩 | 10.1 | 6.7 | 1.8 | 127.4 | |
| 300 | 打製石斧 | 2区 SA9 | 凝灰岩 | 8.8 | 5.7 | 2.1 | 106.6 | |
| 301 | 打製石斧 | 2区 IV層 | 凝灰岩 | 6.1 | 4.1 | 1.6 | 38.2 | |
| 302 | 打製石斧 | 2区 IV層 | 片岩 | 7.4 | 4.6 | 1.2 | 37.4 | |
| 303 | 打製石斧 | 2区 IV層 | 凝灰岩 | 9.3 | 5.8 | 1.2 | 56.6 | |
| 304 | 打製石斧 | 2区 IV層-63 | 凝灰岩 | 13.2 | 6.6 | 2.3 | 191.9 | |
| 305 | 打製石斧 | 2区 VI層 | 凝灰岩 | 13.8 | 7.7 | 2.7 | 270.9 | |
| 306 | 打製石斧 | 2区 SA11 | 凝灰岩 | 11.2 | 6.9 | 2.1 | 193.1 | |
| 307 | 打製石斧 | 2区 攪乱 | 凝灰岩 | 9.9 | 5.3 | 1.7 | 88.6 | |
| 308 | 打製石斧 | 2区 VI層-67 | 凝灰岩 | 13.9 | 8.0 | 2.8 | 251.7 | |
| 309 | 打製石斧 | 3区 SA19 | 凝灰岩 | 11.2 | 6.1 | 2.0 | 143.9 | |
| 310 | 打製石斧 | 2区 IV層 | 凝灰岩 | 10.1 | 5.3 | 2.0 | 96.8 | |
| 311 | 打製石斧 | 3区 IV層 | 凝灰岩 | 9.6 | 7.1 | 1.6 | 114.7 | |
| 312 | 打製石斧 | 2区 IV層 | 凝灰岩 | 9.0 | 6.1 | 1.3 | 63.6 | |
| 313 | 打製石斧 | 2区 一括 | 凝灰岩 | 9.2 | 6.5 | 2.0 | 121.3 | |
| 314 | 打製石斧 | 2区 IV層 | 片岩 | 15.3 | 7.5 | 1.6 | 133.7 | |
| 315 | 打製石斧 | 2区 IV層 | 凝灰岩 | 10.5 | 6.3 | 3.5 | 232.1 | |
| 316 | 打製石斧 | 3区 SA19 | 凝灰岩 | 12.2 | 4.9 | 2.4 | 155.6 | |
| 317 | 打製石斧 | 4区 IV層 | 凝灰岩 | 11.5 | 9.2 | 1.7 | 196.8 | |
| 318 | 打製石斧 | 1区 SA1 | 凝灰岩 | 14.6 | 10.0 | 3.8 | 608.0 | |
| 319 | 打製石斧 | 2区 SA13 | 凝灰岩 | 5.4 | 3.4 | 1.4 | 34.7 | |
| 320 | 打製石斧 | 2区 SA6 | 凝灰岩 | 5.3 | 5.0 | 1.3 | 46.4 | |
| 321 | 打製石斧 | 2区 SA9 | 凝灰岩 | 3.2 | 4.4 | 1.2 | 11.3 | |
| 322 | 打製石斧 | 3区 IV層-591 | 凝灰岩 | 5.4 | 6.8 | 2.1 | 103.6 | |
| 323 | 打製石斧 | 2区 SA11 | 凝灰岩 | 6.0 | 5.3 | 1.5 | 53.2 | |
| 324 | 打製石斧 | 2区 SA01-25 | 凝灰岩 | 6.6 | 5.6 | 2.2 | 89.0 | |
| 325 | 打製石斧 | 2区 SA9 | 砂岩 | 7.3 | 5.7 | 1.8 | 112.6 | |
| 326 | 打製石斧 | 2区 SA5 | 凝灰岩 | 8.2 | 5.0 | 1.2 | 52.0 | |
| 327 | 打製石斧 | 3区 IV層 | 凝灰岩 | 7.8 | 6.3 | 1.7 | 89.3 | |
| 328 | 打製石斧 | 2区 IV層 | 凝灰岩 | 7.5 | 6.3 | 3.1 | 118.5 | |
| 329 | 打製石斧 | 2区 SA6 | 凝灰岩 | 7.3 | 5.6 | 1.2 | 43.5 | |
| 330 | 打製石斧 | 2区 SA13 | 凝灰岩 | 6.3 | 5.5 | 1.1 | 395.0 | |
| 331 | 打製石斧 | 2区 SC1 | 砂岩 | 8.9 | 6.8 | 1.8 | 137.1 | |
| 332 | 打製石斧 | 2区 IV層 | 凝灰岩 | 9.2 | 6.1 | 2.6 | 149.3 | |
| 333 | 打製石斧 | 2区 IV層 | 凝灰岩 | 3.8 | 6.0 | 1.2 | 29.4 | |
| 334 | 打製石斧 | 2区 SA6 | 凝灰岩 | 4.6 | 6.3 | 1.5 | 46.3 | |
| 335 | 打製石斧 | 2区 SA9 | 凝灰岩 | 6.0 | 9.3 | 1.9 | 72.3 | |
| 336 | 打製石斧 | 2区 SA6 | 凝灰岩 | 6.1 | 6.3 | 1.4 | 47.0 | |
| 337 | 打製石斧 | 2区 SA6 | 片岩 | 6.9 | 6.5 | 1.0 | 43.9 | |
| 338 | 打製石斧 | 2区 SA6 | 凝灰岩 | 5.9 | 6.2 | 1.9 | 61.0 | |
| 339 | 打製石斧 | 2区 SA14 | 凝灰岩 | 7.5 | 5.4 | 1.7 | 72.1 | |
| 340 | 打製石斧 | 2区 IV層 | 緑泥片岩 | 7.8 | 6.4 | 1.4 | 142.2 | |
| 341 | 打製石斧 | 2区 P2 | 凝灰岩 | 7.4 | 6.5 | 1.8 | 105.5 | |
| 342 | 打製石斧 | 3区 IV層上面 | 凝灰岩 | 7.4 | 7.6 | 1.6 | 111.7 | |
| 343 | 打製石斧 | 2区 SA7 | 結晶片岩 | 8.3 | 8.3 | 1.7 | 104.5 | |
| 344 | 打製石斧 | 2区 IV層 | 凝灰岩 | 7.3 | 6.7 | 1.2 | 65.2 | |
| 345 | 打製石斧 | 2区 SA9 | 凝灰岩 | 5.4 | 3.4 | 1.5 | 23.3 | |
| 346 | 打製石斧 | 2区 SA13 | 凝灰岩 | 5.5 | 5.2 | 2.0 | 71.9 | |
| 347 | 打製石斧 | 2区 SA6 | 凝灰岩 | 6.0 | 4.9 | 1.0 | 27.1 | |
| 348 | 打製石斧 | 2区 IV層 | 凝灰岩 | 6.7 | 4.4 | 1.4 | 49.6 | |
| 349 | 打製石斧 | 2区 IV層 | 凝灰岩 | 7.0 | 6.5 | 1.5 | 71.7 | |
| 350 | 打製石斧 | 2区 IV層 | 凝灰岩 | 9.5 | 7.7 | 2.1 | 142.1 | |
| 351 | 打製石斧 | 2区 SA6 | 凝灰岩 | 8.4 | 8.5 | 2.8 | 217.5 | |
| 352 | 打製石斧 | 2区 IV層 | 結晶片岩 | 10.6 | 7.6 | 1.5 | 155.5 | |
| 353 | 打製石斧 | 2区 一括 | 凝灰岩 | 7.6 | 5.2 | 1.1 | 55.5 | |

単位：最大長・幅・厚=cm、重量=g

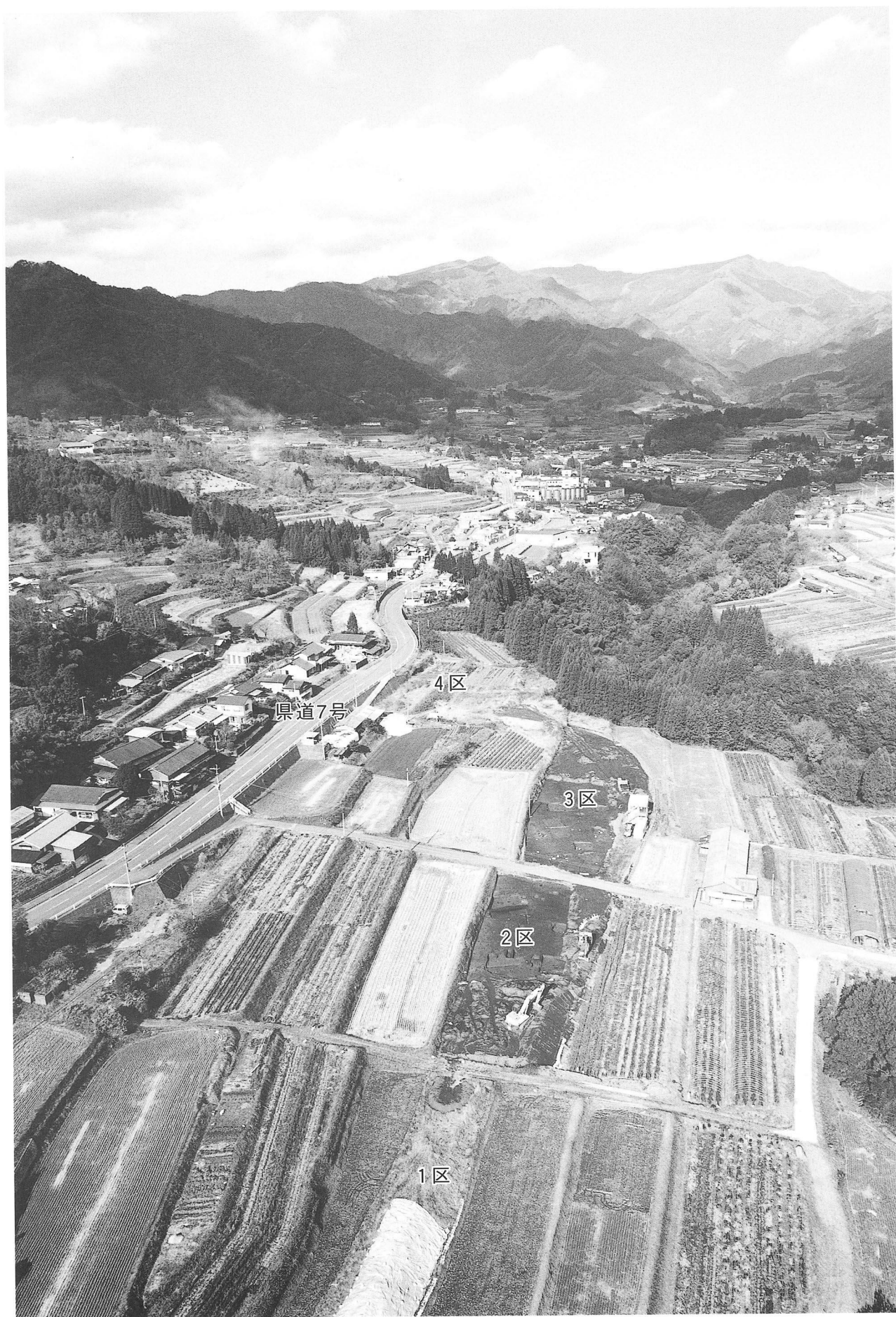
| No | 器種 | 出土位置 | 石材 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重量 | 備考 |
|-----|-------|------------|------|------|-----|-----|-------|-------|
| 354 | 打製石斧 | 2区 P35 | 凝灰岩 | 9.5 | 5.3 | 1.8 | 96.6 | |
| 355 | 打製石斧 | 2区 SA9 | 凝灰岩 | 9.2 | 8.7 | 2.0 | 137.3 | |
| 356 | 打製石斧 | 3区 SA19 | 結晶片岩 | 5.1 | 7.7 | 1.0 | 43.1 | |
| 357 | 打製石斧 | 2区 SA7 | 片岩 | 13.0 | 5.8 | 1.1 | 81.1 | |
| 358 | 打製石斧 | 2区 SA6 | 凝灰岩 | 14.3 | 4.9 | 2.2 | 124.2 | |
| 359 | 打製石斧 | 4区 SC4 | 結晶片岩 | 11.9 | 5.7 | 0.9 | 61.9 | |
| 360 | 打製石斧 | 3区 | 凝灰岩 | 10.8 | 8.0 | 2.6 | 179.3 | |
| 361 | 打製石斧 | 3区 IV層 | 凝灰岩 | 8.2 | 4.4 | 1.7 | 67.2 | |
| 362 | 打製石斧 | 2区 IV層 | 片岩 | 18.1 | 8.3 | 1.0 | 131.3 | |
| 363 | 磨製石斧 | 2区 SA7 | 蛇紋岩 | 3.0 | 3.3 | 0.8 | 11.7 | |
| 364 | 磨製石斧 | 2区 攪乱 | 砂岩 | 5.2 | 3.2 | 1.6 | 32.8 | |
| 365 | 磨製石斧 | 2区 IV層 | 凝灰岩 | 7.3 | 3.8 | 2.9 | 112.8 | |
| 366 | 磨製石斧 | 2区 SA14 | 砂岩 | 7.6 | 4.0 | 1.2 | 52.2 | |
| 367 | 磨製石斧 | 3区 一括 | 砂岩 | 5.3 | 5.9 | 2.5 | 107.7 | |
| 368 | 磨製石斧 | 2区 IV層 | 凝灰岩 | 8.1 | 5.3 | 3.0 | 188.1 | |
| 369 | 磨製石斧 | 2区 IV層 | 砂岩 | 10.5 | 6.1 | 3.2 | 282.0 | |
| 370 | 磨製石斧 | 2区 IV層 | 砂岩 | 11.2 | 6.0 | 3.8 | 406.9 | 敲石へ転用 |
| 371 | 円盤状石器 | 2区 IV層 | 砂岩 | 10.0 | 9.6 | 1.2 | 181.9 | |
| 372 | 打欠石錘 | 3区 IV層 | 砂岩 | 6.8 | 7.0 | 1.4 | 81.7 | |
| 373 | 石鏃 | 2区 IV層 | チャート | 1.4 | 1.3 | 0.3 | 0.3 | |
| 374 | 石鏃 | 3区 VI層-103 | チャート | 1.7 | 1.6 | 0.4 | 0.7 | |
| 375 | 石鏃 | 2区 VI層 | チャート | 1.5 | 1.8 | 0.7 | 1.0 | |
| 376 | 石鏃 | 2区 VI層 | チャート | 1.1 | 1.4 | 0.3 | 0.5 | |
| 377 | 石鏃 | 2区 VI層 | チャート | 1.6 | 1.7 | 0.3 | 0.5 | |
| 378 | 石鏃 | 2区 VI層 | チャート | 1.7 | 1.4 | 0.4 | 0.6 | |
| 379 | 石鏃 | 2区 VI層-39 | チャート | 2.2 | 1.7 | 0.4 | 1.0 | |
| 380 | 石鏃 | 2区 VI層G6 | チャート | 2.2 | 1.6 | 0.4 | 1.1 | |
| 381 | 石鏃 | 2区 VI層-245 | チャート | 1.8 | 1.7 | 0.3 | 0.8 | |
| 382 | 石鏃 | 2区 VI層G57 | チャート | 1.8 | 1.3 | 0.3 | 0.7 | |
| 383 | 石鏃 | 3区 VI層 | チャート | 1.4 | 1.4 | 0.4 | 0.6 | |
| 384 | 石鏃 | 2区 VI層 | チャート | 1.5 | 1.9 | 0.5 | 1.0 | |
| 385 | 石鏃 | 2区 VI層 | チャート | 2.0 | 1.4 | 0.5 | 1.3 | |
| 386 | 石鏃 | 2区 VI層 | チャート | 2.3 | 1.8 | 0.3 | 1.0 | |
| 387 | 石鏃 | 2区 VI層 | チャート | 2.6 | 1.8 | 0.3 | 0.8 | |
| 388 | 石鏃 | 2区 VI層-649 | チャート | 2.3 | 1.7 | 0.4 | 1.1 | |
| 389 | 石鏃 | 2区 VI層 | チャート | 1.5 | 1.5 | 0.4 | 0.4 | |
| 390 | 石鏃 | 2区 VI層 | チャート | 1.8 | 1.6 | 0.4 | 0.5 | |
| 391 | 石鏃 | 2区 VI層 | チャート | 1.2 | 1.2 | 0.4 | 0.4 | |
| 392 | 石鏃 | 2区 VI層 | チャート | 1.6 | 1.9 | 0.5 | 1.1 | |
| 393 | 石鏃 | 3区 VI層 | チャート | 2.1 | 1.4 | 0.4 | 0.8 | |
| 394 | 石鏃 | 3区 VI層 | チャート | 2.2 | 2.1 | 0.3 | 0.8 | |
| 395 | 石鏃 | 2区 VI層 | チャート | 2.2 | 1.7 | 0.4 | 1.1 | |
| 396 | 石鏃 | 2区 VI層 | チャート | 2.2 | 1.9 | 0.4 | 1.3 | |
| 397 | 石鏃 | 3区 VI層 | チャート | 1.5 | 1.6 | 0.4 | 0.6 | |
| 398 | 石鏃 | 3区 VI層 | チャート | 1.9 | 1.3 | 0.3 | 0.6 | |
| 399 | 石鏃 | 3区 VI層下面 | チャート | 2.2 | 1.5 | 0.5 | 1.6 | |
| 400 | 石鏃 | 2区 VI層-124 | チャート | 1.9 | 1.9 | 0.6 | 1.7 | |
| 401 | 石鏃 | 3区 VI層 | チャート | 2.0 | 2.1 | 0.6 | 1.2 | |
| 402 | 石鏃 | 3区 VI層-365 | チャート | 2.8 | 2.2 | 0.5 | 2.4 | |
| 403 | 石鏃 | 2区 VI層 | チャート | 2.9 | 1.8 | 0.5 | 2.1 | |
| 404 | 石鏃 | 2区 VI層 | 安山岩 | 3.1 | 1.7 | 0.3 | 1.1 | |
| 405 | 石鏃 | 2区 VI層 | チャート | 2.1 | 2.0 | 0.5 | 1.7 | |
| 406 | 石鏃 | 3区 VI層-449 | チャート | 2.3 | 1.8 | 0.3 | 1.2 | |
| 407 | 石鏃 | 3区 VI層 | 安山岩 | 2.6 | 2.1 | 0.6 | 2.1 | |
| 408 | 石鏃 | 2区 VI層 | 安山岩 | 3.0 | 2.2 | 0.6 | 2.5 | |
| 409 | 石鏃 | 3区 VI層 | チャート | 2.2 | 2.5 | 0.3 | 1.2 | |
| 410 | 石鏃 | 3区 VI層 | チャート | 2.3 | 2.5 | 0.4 | 1.6 | |
| 411 | 石鏃 | 2区 S17 | チャート | 1.8 | 2.8 | 0.4 | 2.0 | |
| 412 | 石鏃 | 2区 VI層 | チャート | 3.6 | 1.6 | 0.5 | 1.2 | |

単位：最大長・幅・厚=cm、重量=g

| No | 器種 | 出土位置 | 石材 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重量 | 備考 |
|-----|--------|------------|---------|------|-----|-----|------|------|
| 413 | 石鏃 | 2区 VI層 | チャート | 3.9 | 2.0 | 0.4 | 1.9 | |
| 414 | 石鏃 | 3区 VI層下面 | チャート | 3.6 | 1.7 | 0.5 | 2.1 | |
| 415 | 石鏃 | 2区 VI層-744 | チャート | 2.9 | 2.4 | 0.4 | 2.0 | |
| 416 | 石鏃 | 2区 VI層G76 | チャート | 2.6 | 2.7 | 0.6 | 4.1 | |
| 417 | 石鏃 | 3区 VI層-34 | チャート | 3.7 | 2.7 | 1.0 | 6.6 | |
| 418 | 石鏃 | 3区 VI層-170 | チャート | 2.5 | 2.9 | 0.7 | 3.3 | |
| 419 | 石鏃 | 2区 VI層 | チャート | 2.0 | 2.7 | 0.6 | 2.9 | |
| 420 | 石鏃 | 2区 VII層 | チャート | 2.3 | 1.8 | 0.4 | 1.3 | |
| 421 | 石鏃 | 2区 VII層 | チャート | 2.7 | 1.7 | 0.4 | 1.2 | |
| 422 | 石鏃 | 2区 VII層 | チャート | 2.6 | 1.6 | 0.3 | 1.0 | |
| 423 | 石鏃 | 2区 VII層 | チャート | 3.0 | 1.8 | 0.4 | 1.3 | |
| 424 | 石鏃 | 2区 VII層 | チャート | 3.0 | 1.9 | 0.7 | 3.6 | |
| 425 | 石鏃 | 2区 VII層 | 姫島Ob | 2.1 | 1.9 | 0.5 | 0.9 | |
| 426 | 石鏃 | 2区 VII層 | チャート | 1.6 | 1.7 | 0.4 | 0.6 | |
| 427 | 石鏃 | 2区 VII層 | チャート | 2.2 | 2.2 | 0.4 | 1.2 | |
| 428 | 石鏃 | 2区 VII層 | チャート | 3.0 | 2.4 | 0.6 | 4.1 | |
| 429 | 石鏃 | 2区 VII層 | チャート | 4.0 | 2.0 | 0.5 | 2.8 | |
| 430 | 石鏃 | 2区 VII層 | チャート | 3.8 | 2.9 | 0.9 | 5.7 | |
| 431 | 石鏃 | 3区 VIII層上面 | チャート | 1.7 | 1.3 | 0.4 | 0.6 | |
| 432 | 石鏃 | 3区 VIII層上面 | チャート | 1.3 | 1.5 | 0.3 | 0.4 | |
| 433 | 石鏃 | 3区 VIII層上面 | チャート | 2.4 | 1.8 | 0.5 | 1.8 | |
| 434 | 尖頭器 | 3区 VIII層上面 | チャート | 4.4 | 2.3 | 1.0 | 8.6 | |
| 435 | 石鏃未製品 | 3区 VI層下面 | チャート | 2.7 | 2.0 | 0.8 | 3.5 | |
| 436 | 石鏃未製品 | 2区 VI層-363 | チャート | 2.6 | 2.4 | 0.9 | 5.0 | |
| 437 | 石鏃未製品 | 2区 VI層G43 | チャート | 4.4 | 3.3 | 1.5 | 19.1 | |
| 438 | 石鏃未製品 | 2区 VI層G41 | チャート | 3.1 | 2.4 | 0.8 | 6.2 | |
| 439 | 石鏃未製品 | 2区 VI層下面 | チャート | 3.4 | 3.1 | 1.5 | 11.7 | |
| 440 | 石鏃未製品 | 3区 VI層 | チャート | 3.2 | 2.3 | 1.0 | 6.9 | |
| 441 | 石鏃未製品 | 2区 VI層-176 | チャート | 3.4 | 3.0 | 1.1 | 7.2 | |
| 442 | 石鏃未製品 | 2区 VI層G48 | 玄武岩 | 4.2 | 3.7 | 1.1 | 13.7 | |
| 443 | 石鏃未製品 | 2区 VI層-242 | チャート | 3.2 | 2.7 | 1.4 | 9.0 | |
| 444 | 石鏃未製品 | 2区 VI層 | 石英 | 3.6 | 3.5 | 1.2 | 13.8 | |
| 445 | 石鏃未製品 | 2区 VI層 | チャート | 4.1 | 3.1 | 1.5 | 13.1 | |
| 446 | 石鏃未製品 | 2区 VI層G39 | チャート | 3.5 | 3.0 | 1.0 | 8.1 | |
| 447 | 石鏃未製品 | 3区 VI層-411 | 安山岩 | 4.9 | 2.7 | 0.9 | 7.8 | |
| 448 | 石鏃未製品 | 3区 VI層-441 | チャート | 5.9 | 2.9 | 1.4 | 21.2 | |
| 449 | 石鏃未製品 | 2区 VIII層 | チャート | 2.4 | 2.2 | 0.9 | 4.2 | |
| 450 | 楔形石器 | 2区 VII層 | チャート | 3.3 | 2.2 | 1.0 | 5.4 | |
| 451 | 楔形石器 | 3区 VI層下面 | 石英 | 4.0 | 2.9 | 1.6 | 19.9 | |
| 452 | 石匙 | 2区 VII層 | チャート | 3.4 | 3.0 | 0.8 | 5.8 | |
| 453 | 削器 | 3区 VI層-72 | チャート | 5.0 | 2.1 | 0.9 | 6.6 | |
| 454 | 削器 | 3区 VI層下面 | 安山岩 | 6.1 | 2.7 | 1.0 | 14.2 | |
| 455 | 削器 | 3区 レキ群G3 | チャート | 4.3 | 2.9 | 1.6 | 19.9 | |
| 456 | 削器 | 2区 VI層-416 | チャート | 4.4 | 4.3 | 1.2 | 22.3 | |
| 457 | 削器 | 2区 SI27 | チャート | 5.8 | 4.4 | 1.0 | 26.3 | |
| 458 | 削器 | 2区 SI30 | チャート | 6.6 | 4.7 | 2.1 | 69.8 | |
| 459 | 削器 | 2区 VI層-505 | ホルンフェルス | 8.1 | 3.7 | 1.7 | 46.5 | |
| 460 | 削器 | 3区 VI層-381 | 流紋岩 | 16.0 | 3.6 | 2.1 | 79.1 | |
| 461 | 削器 | 2区 SI25 | チャート | 4.6 | 2.9 | 1.0 | 10.9 | |
| 462 | 削器 | 2区 VII層 | チャート | 5.7 | 3.1 | 1.7 | 29.2 | |
| 463 | 削器 | 3区 VIII層上面 | Ob | 2.0 | 1.4 | 0.5 | 1.0 | |
| 464 | 石錐 | 3区 SA19 | 安山岩 | 2.5 | 1.0 | 0.4 | 0.9 | |
| 465 | 削器 | 3区 VIII層上面 | チャート | 4.2 | 2.7 | 1.3 | 14.6 | |
| 466 | 石錐 | 3区 VI層-127 | チャート | 4.7 | 3.9 | 1.8 | 20.6 | |
| 467 | 搔器 | 2区 VI層 | 阿蘇Ob | 2.5 | 2.2 | 1.0 | 4.1 | |
| 468 | 搔器 | 3区 VIII層上面 | チャート | 3.3 | 2.6 | 1.6 | 11.0 | |
| 469 | 剥片 | 2区 VI層G76 | チャート | 4.8 | 2.4 | 1.6 | 16.2 | 打面再生 |
| 470 | 微細剥離剥片 | 3区 VI層 | チャート | 7.5 | 3.1 | 2.0 | 37.5 | |
| 471 | 微細剥離剥片 | 2区 VII層 | チャート | 5.2 | 2.5 | 1.1 | 11.3 | |

単位：最大長・幅・厚=cm、重量=g

| No | 器種 | 出土位置 | 石材 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重量 | 備考 |
|-----|---------|-------------|--------|------|------|-----|---------|----|
| 472 | 石核 | 2区 VI層-700 | 凝灰岩 | 12.2 | 10.9 | 4.4 | 752.0 | |
| 473 | 石核 | 2区 VII層 | チャート | 4.4 | 3.9 | 1.6 | 21.3 | |
| 474 | 石核 | 2区 VIII層 | チャート | 4.0 | 3.3 | 1.2 | 14.7 | |
| 475 | 石核 | 3区 VIII層上面 | チャート | 2.0 | 5.3 | 2.5 | 20.9 | |
| 476 | 石核 | 2区 VIII層 | チャート | 4.3 | 3.7 | 2.1 | 22.9 | |
| 477 | 敲石 | 3区 VI層 | 安山岩 | 2.9 | 2.8 | 2.8 | 30.0 | |
| 478 | 敲石 | 2区 VI層 G 66 | 安山岩 | 4.0 | 4.2 | 3.3 | 68.8 | |
| 479 | 敲石 | 2区 VI層-408 | 安山岩 | 4.5 | 4.2 | 4.0 | 99.7 | |
| 480 | 敲石 | 2区 VI層-443 | 凝灰岩 | 5.6 | 4.8 | 4.3 | 153.3 | |
| 481 | 敲石 | 2区 VI層 G 41 | 安山岩 | 5.4 | 4.2 | 3.2 | 94.1 | |
| 482 | 敲石 | 2区 VIII層 | 安山岩 | 3.3 | 3.3 | 3.0 | 49.5 | |
| 483 | 敲石 | 2区 VII層 | 砂岩 | 3.8 | 3.6 | 2.7 | 46.6 | |
| 484 | 敲石 | 2区 VII層 | 安山岩 | 3.7 | 3.4 | 3.7 | 69.4 | |
| 485 | 凹石 | 3区 VI層-139 | 砂岩 | 8.4 | 7.9 | 4.2 | 380.8 | |
| 486 | 敲石 | 2区 VI層 | 安山岩 | 9.1 | 7.6 | 5.2 | 504.7 | |
| 487 | 敲石・磨石 | 2区 VII層 | 安山岩 | 6.2 | 5.5 | 3.1 | 196.8 | |
| 488 | 敲石 | 3区 VIII層 | 安山岩 | 4.1 | 4.0 | 4.0 | 91.5 | |
| 489 | 磨石 | 2区 VII層 | 安山岩 | 10.7 | 8.6 | 3.5 | 504.6 | |
| 490 | 石鏃 | 一括 | チャート | 1.1 | 1.1 | 0.2 | 0.1 | |
| 491 | 石鏃 | 2区 一括 | チャート | 1.4 | 1.5 | 0.4 | 0.5 | |
| 492 | 石鏃 | 2区 一括 | 姫島Ob | 1.2 | 1.3 | 0.4 | 0.4 | |
| 493 | 石鏃 | 3区 廃土 | チャート | 1.7 | 1.3 | 0.4 | 0.4 | |
| 494 | 石鏃 | 2区 廃土 | チャート | 1.8 | 1.6 | 0.4 | 0.7 | |
| 495 | 石鏃 | 一括 | チャート | 1.7 | 1.6 | 0.4 | 0.7 | |
| 496 | 石鏃 | 一括 | チャート | 1.9 | 1.3 | 0.3 | 0.4 | |
| 497 | 石鏃 | 一括 | チャート | 2.0 | 1.6 | 0.4 | 0.8 | |
| 498 | 石鏃 | 一括 | チャート | 1.9 | 1.3 | 0.2 | 0.5 | |
| 499 | 石鏃 | 2区 一括 | チャート | 2.1 | 1.7 | 0.4 | 0.8 | |
| 500 | 石鏃 | 2区 一括 | チャート | 2.1 | 2.0 | 0.4 | 1.7 | |
| 501 | 石鏃 | 一括 | チャート | 1.8 | 2.0 | 0.4 | 1.1 | |
| 502 | 石鏃 | 2区 一括 | チャート | 1.7 | 2.3 | 0.4 | 1.6 | |
| 503 | 石鏃 | 2区 攪乱 | Ob | 1.7 | 1.3 | 0.4 | 1.1 | |
| 504 | 石鏃 | 3区 廃土 | チャート | 2.1 | 2.0 | 0.5 | 2.2 | |
| 505 | 石鏃 | 一括 | チャート | 2.0 | 2.5 | 0.5 | 2.1 | |
| 506 | 石鏃 | 2区 3トレ | チャート | 2.3 | 1.8 | 0.5 | 1.5 | |
| 507 | 石鏃 | 一括 | チャート | 1.9 | 1.8 | 0.5 | 1.3 | |
| 508 | 石鏃 | 一括 | チャート | 3.1 | 1.5 | 0.5 | 2.3 | |
| 509 | 石鏃 | 一括 | チャート | 4.1 | 2.6 | 0.6 | 4.8 | |
| 510 | 石鏃未製品 | 2区 廃土 | チャート | 2.9 | 2.5 | 0.6 | 3.9 | |
| 511 | 石鏃未製品 | 2区 第3T | チャート | 3.1 | 2.7 | 0.9 | 7.1 | |
| 512 | 搔器 | 表採 | チャート | 3.9 | 2.3 | 0.9 | 8.2 | |
| 513 | 削器 | 一括 | チャート | 2.4 | 3.7 | 1.1 | 8.3 | |
| 514 | 微細剥離剥片 | 2区 攪乱 | Ob | 3.4 | 2.4 | 0.8 | 5.5 | |
| 515 | 異形石鏃 | 一括 | チャート | 2.5 | 1.4 | 0.4 | 1.2 | |
| 516 | 石錐 | 一括 | チャート | 4.1 | 2.9 | 0.7 | 5.3 | |
| 517 | 石匙 | 一括 | 姫島Ob | 3.9 | 4.3 | 0.7 | 11.2 | |
| 518 | 削器 | 一括 | 流紋岩 | 11.0 | 5.0 | 2.3 | 104.3 | |
| 519 | 磨製石鏃未製品 | 一括 | 緑泥片岩 | 3.3 | 1.9 | 0.4 | 2.5 | |
| 520 | 磨製石鏃未製品 | 2区 一括 | オリーブ頁岩 | 4.0 | 2.5 | 0.4 | 3.8 | |
| 521 | 磨製石鏃未製品 | 2区 一括 | オリーブ頁岩 | 4.5 | 2.4 | 0.6 | 6.6 | |
| 522 | 磨製石鏃未製品 | 2区 攪乱 | 緑泥片岩 | 5.1 | 2.7 | 0.4 | 8.0 | |
| 523 | 石鏃 | 2区 攪乱 | 黒色頁岩 | 11.9 | 4.9 | 0.5 | 53.3 | |
| 524 | 石核 | 2区 T | 凝灰岩 | 4.0 | 4.4 | 1.6 | 23.6 | |
| 525 | 石核 | 2区 一括 | チャート | 3.8 | 3.9 | 1.5 | 19.6 | |
| 526 | 敲石・磨石 | 2区 一括 | 砂岩 | 9.7 | 7.5 | 5.4 | 585.1 | |
| 527 | 砥石 | 2区 廃土 | 砂岩 | 6.5 | 3.2 | 1.3 | 29.3 | |
| 528 | 敲石 | 2区 攪乱 | 砂岩 | 9.0 | 5.6 | 4.1 | 331.7 | |
| 529 | 敲石・磨石 | 2区 廃土 | 安山岩 | 13.0 | 7.5 | 4.3 | 695.0 | |
| 530 | 台石 | 一括 | 砂岩 | 20.6 | 11.3 | 8.6 | 2,070.0 | |



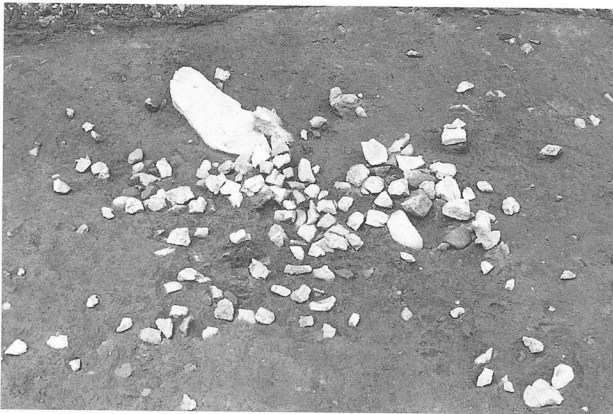
古城遺跡全景



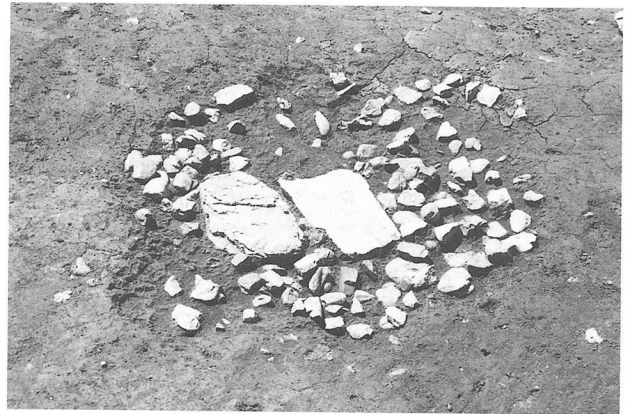
集石遺構分布状況 (K21グリッド付近)



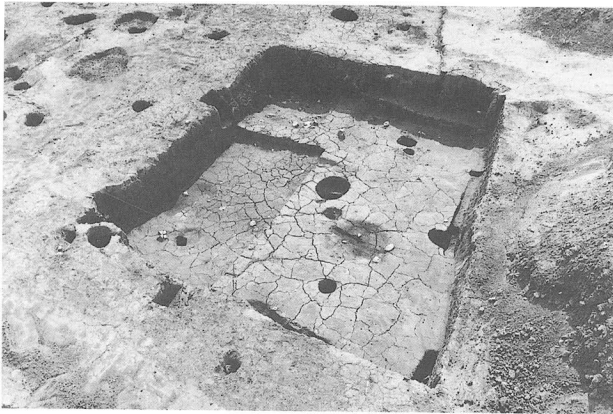
1号集石遺構 (SI1)



46号集石遺構 (SI46)



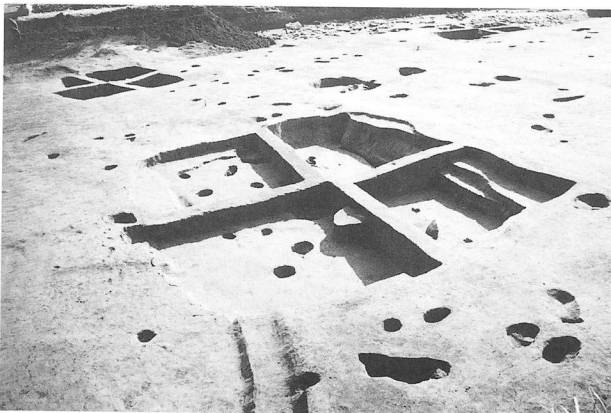
48号集石遺構 (SI48)



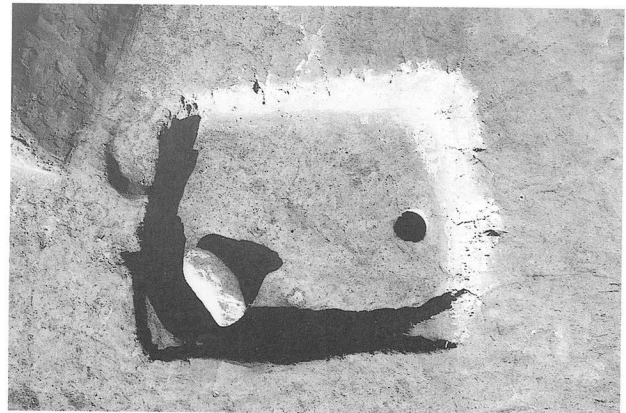
5号竪穴住居跡 (SA5)



10号、11号竪穴住居跡 (SA10、SA11)

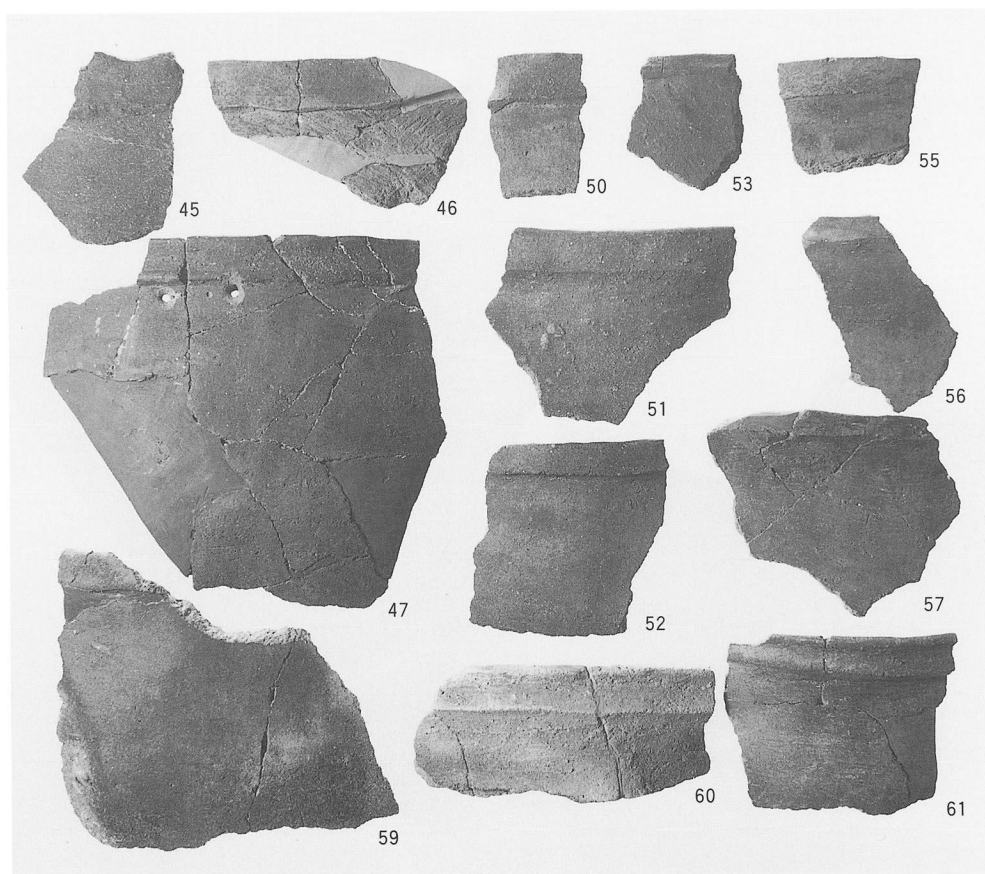
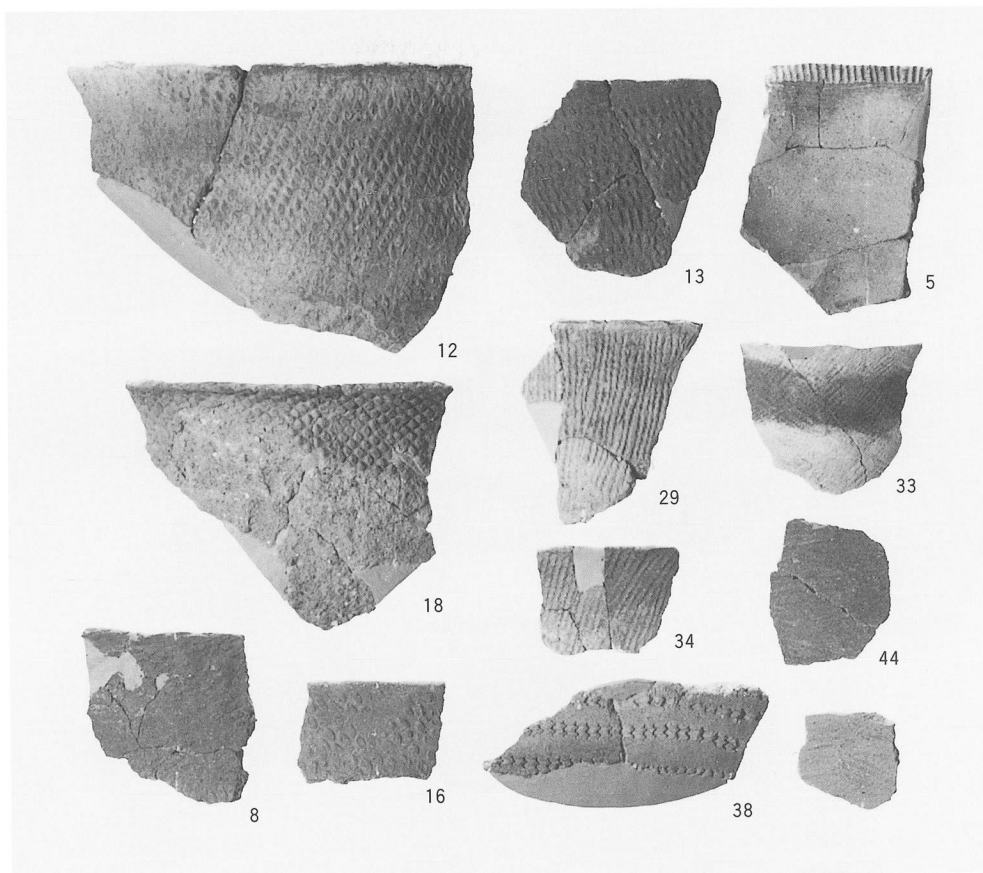


22号(SA22)、23号(SA23) 竪穴住居跡 (奥がSA23)

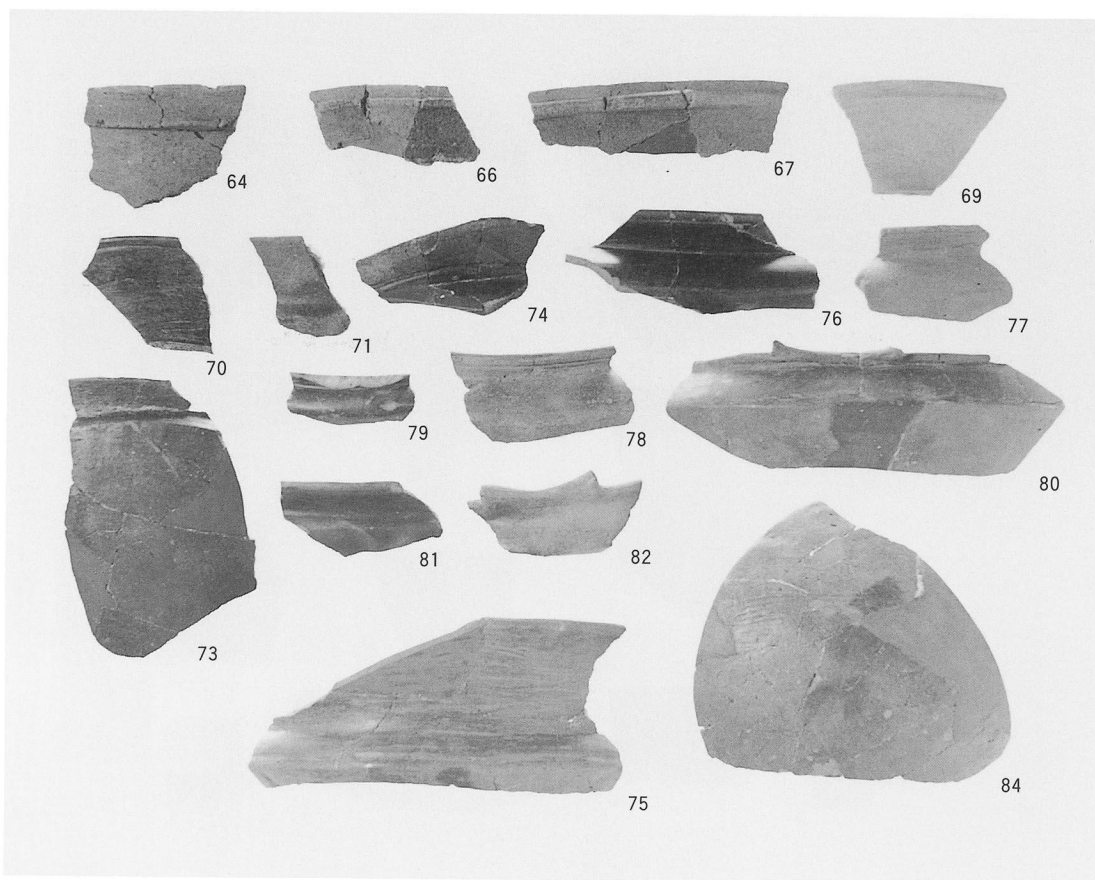


4号土坑 (SC4)

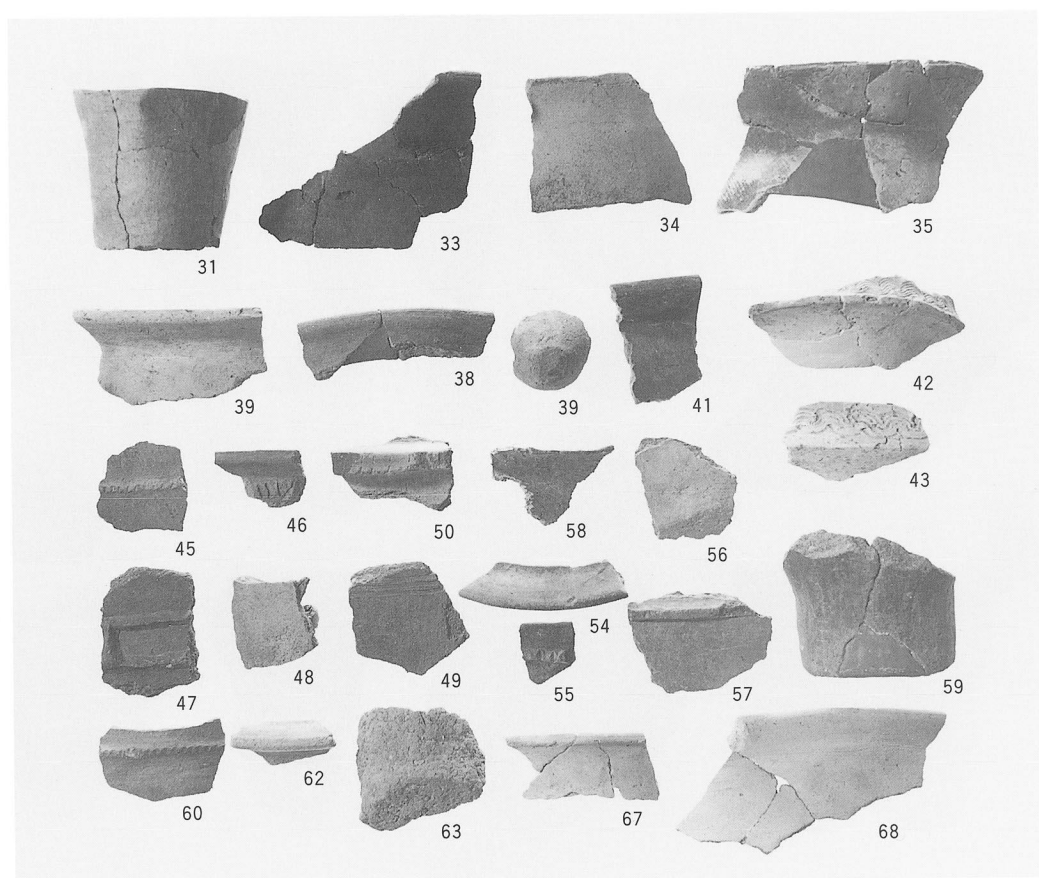
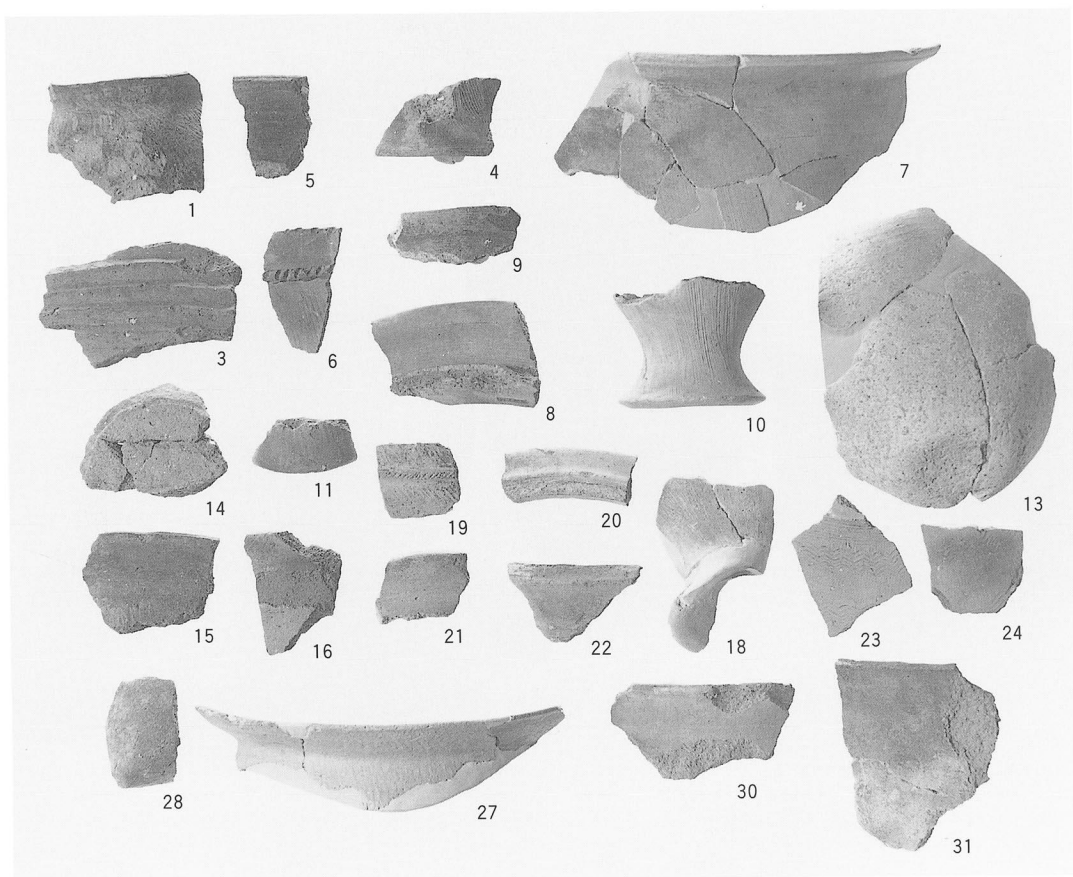
古城遺跡集石遺構／竪穴住居跡／土坑



古城遺跡出土繩文土器（1）



古城遺跡出土縄文土器 (2)



古城遺跡出土遺物 (1)